目　　次

ライフプランニング総合学科1年

総合演習Ⅰ …… 1
総合演習Ⅱ …… 2
必修科目 …… 3
教養科目　1期・2期 …… 9
教養科目　3期・4期 …… 28
指定科目 …… 37
一般事務指定科目 …… 38
医療事務指定科目 …… 45
事務系関連科目 …… 50
ブライダル指定科目 …… 53
観光指定科目 …… 55
ファッション・ビューティー指定科目 …… 60
サービス系関連科目 …… 66
インテリア指定科目 …… 73
CG・Webデザイン指定科目 …… 77
クリエイティブデザイン系関連科目 …… 82
資格・検定支援科目 …… 83
地域創生 …… 91
チャレンジ科目 …… 93

ライフプランニング総合学科2年

総合演習Ⅲ …… 119
総合演習Ⅳ …… 120
必修科目 …… 121
教養科目　1期・2期 …… 123
教養科目　3期・4期 …… 141
事務系共通科目 …… 151
一般事務指定科目 …… 155
医療事務指定科目 …… 163
公務員指定科目 …… 167
事務系関連科目 …… 172
サービス系共通科目 …… 183
観光・ブライダル指定科目 …… 185
ファッション指定科目 …… 188
サービス系関連科目 …… 192
クリエイティブデザイン系共通科目 …… 208
インテリア指定科目 …… 210
CG・Webデザイン指定科目 …… 217
クリエイティブデザイン系関連科目 …… 223
資格・編入支援科目 …… 229
チャレンジ科目 …… 237

香蘭女子短期大学　建学の精神・3つのポリシー

■ 香蘭女子短期大学建学の精神

「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

■ 教育理念としての学訓

「創意・自立・敬愛」

■ 本学の使命（教育目標）

「建学の精神のもと、社会の中堅として、指導的役割を果たす有為な女性の育成」

〇教育目的・目標

・自己をよく知ると同時に、他者との関係において自らの適性を見出し、豊かな未来の設計図（ライフプランニング）を描ける人材を育成する。

・地域の歴史や産業との関わりを理解し、地域で活躍するための知識や技能を磨き、様々な状況に応じてコミュニケーション力を発揮できる人材を育成する。

・多様な分野の学習から得られる幅広い教養をもとに、確固とした人生観を形成し、自らのキャリアについて認識を深め、社会において有益な情報を発信できる人材を育成する。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマ・ポリシーを満たした人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

「創意・自立・敬愛」の学訓の精神を涵養し、専門知識および技能を身につける。学訓の精神は教養科目と専門科目に渡って涵養する。履修した授業科目の学習成果は、筆記試験、レポート、実技、作品、またはこれらの組み合わせにより評価・査定する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学の学訓が「創意・自立・敬愛」であることを十分に理解したうえで、入学後、本学の学生としての教養と専門知識および技能を身につける意欲がある人の入学を求める。高等学校卒業までに修得した学習成果は、下記の表により判断・判定する。

	望まれる高等学校までの学習成果	判定指標	AO入試	推薦選考	試験選考
基礎的な知識・技能	高等学校で履修した教科について基礎的な知識を有している	調査書または筆記試験・小論文、面接・面談	〇	〇	◎
思考力・判断力・表現力	自分の考えを他者に分かるように表現できる	面接・面談または筆記試験・小論文	◎	◎	△
	ある事象に対し多面的に考え、自分の考えをまとめ表現することができる	面接・面談または筆記試験・小論文	〇	〇	△
主体的に取り組む態度	身近な課題や問題に関心を持ち、解決しようとする意欲がある	面接・面談または筆記試験・小論文および調査書	◎	〇	△

◎ ： 特に重視する、　〇 ： やや重視する、　△ ： あまり重視しない

■ 短期大学としての学習成果

『建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけている』

ライフプランニング総合学科　教育の基本方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する。
2. 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている。
3. 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる。
4. 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる。
5. 生涯学習に資する習慣を確立している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 初年次教育の一環として、基礎科目・総合演習において、本学の仕組み、学習方法、資料調査方法、チームでの作業などを学ぶ。
2. 選択したメジャーにおいて、専門的な知識や技能を学ぶ。
3. 情報リテラシーとメディアリテラシーで、ITの知識と技能及びプレゼンテーションの方法を学ぶ。
4. 地域での活動、就業体験、短期留学、検定取得などができるように学期を配置している。
5. 基礎科目・総合演習や学科行事において、キャリア教育を実施する。就職についての意識を醸成すると同時に、実際の活動に必要な知識を学ぶ。また、早期退職防止のために社会人としてのマナーや企業文化も学ぶ。
6. 多くの教養科目や選択科目を学ぶことができる。
7. 学生が主体的に関わる授業を行う。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 本学の学訓と教育目標を理解し、その実践への意欲を持つ人
2. 学科の仕組みを理解し、4学期制での学習に勤しむ人
3. 選んだ専攻で専門科目を学び、知識と技能の向上を目指す人
4. 多くの人と関わり、社会についての見識を深めたい人

ライフプランニング総合学科科目ナンバリング　令和2年度入学生

（ナンバリングの構成）

LP　１０　１　０１

学科コード　ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	種別	科目水準	通し番号

ライフプランニング総合学科　学科コード　LP

ナンバリングの意味すること

種別	科目水準	通し番号
１　０	１	０　１

種別	授業科目	ナンバー
総合	総合演習Ⅰ	10101
	総合演習Ⅱ	10102
	総合演習Ⅲ	10103
	総合演習Ⅳ	10104
必修	基礎科目Ⅰ	20101
	基礎科目Ⅱ	20102
	基礎科目Ⅲ	20103
	基礎科目Ⅳ	20104
	情報リテラシー	20105
	メディアリテラシー	20106
	卒業研究	20201
教養	文学	30101
	文化人類学	30102
	歴史	30103
	心理学	30104
	経済学(暮らしと経済)	30105
	金融論(暮らしと金融)	30106
	流通論(暮らしと商品流通)	30107
	社会福祉概論	30108
	高齢者福祉論	30109
	数学	30110
	ビジネス統計	30111
	天文学(星と宇宙の不思議)	30112
	英語	30113
	韓国語	30114
	フランス語	30115
	企業論	30116
	経営分析	30117
	日本語文法の基礎	30118
	日本語語彙の基礎	30119
	日本語読解・作文の基礎	30120
	日常日本語会話の基礎	30121
	日本事情	30122
指定	メジャーガイド	40101
一般事務指定	ベーシック簿記	41201
	ビジネス実務演習Ⅰ	41203
	日商簿記Ⅰ	41204
	人的資源論	41206
	パーソナルファイナンス	41207
	経営概論	41208
	ビジネス実務演習Ⅱ	41209
	原価計算論	41210
医療事務指定	医療保障制度	42201
	医療の基礎知識	42202
	医療事務	42203
	医療概論	42204
	医療秘書実務	42205
	調剤報酬請求事務	42206
事務系関連	Excel演習	50201
	Word演習	50202
	ファイナンシャルプランナーⅠ(3級)	50203
	保険の基礎知識	50204
	銀行論	50205
	日商簿記Ⅱ	50206
	ファイナンシャルプランナーⅡ(2級)	50207
	コンピュータ会計	50208
	財務会計論	50209
	証券外務員Ⅰ（特別会員）	50210
	証券外務員Ⅱ（正会員）	50211
ブライダル指定	ブライダル業務Ⅰ	43201
	ブライダル業務Ⅱ	43202
	ブライダル業務の実務	43203
	ホテル業務概論	43204
	ブライダル業務Ⅲ	43205
観光指定	ホテルビジネス概論	44201
	観光ビジネス論	44202
	ホテルビジネス実務	44203
	観光デザイン入門	44204
	観光英語	44205
	観光デザイン演習	44206
	ホスピタリティー論	44207

種別	授業科目	ナンバー
ビューティー・ファッション指定	カラーコーディネート演習Ⅰ	45201
	ファッションビジネス論	45202
	ファッションコーディネート演習	45203
	ファッション情報分析	45204
	カラーコーディネート演習Ⅱ	45205
	美容芸術演習A(メイク技法)	45206
	美容芸術演習B(ネイルアート)	45207
	美容芸術演習C(ヘアスタイル技法)	45208
サービス系関連	マーケティング論	51201
	英会話	51202
	人間環境心理学	51203
	グループ・プロセス	51204
	ピアサポート	51205
	臨床心理学	51206
	フラワーアレンジメント	51207
	英語コミュニケーション	51208
	ダイエット論	51209
	フィジカルトレーニング	51210
	和装コーディネート	51211
インテリア指定	インテリア入門	46201
	インテリア販売	46202
	インテリア製図	46203
	インテリアプレゼンテーション	46204
	インテリア計画	46205
	インテリア設計	46206
	インテリアコーディネート	46207
	インテリアグリーン	46208
CG・Web デザイン指定	CG演習A	47201
	CG演習B	47202
	Webデザイン論	47203
	Webクリエート演習	47204
	CGデザイン演習Ⅰ	47205
	CGデザイン演習Ⅱ	47206
	Webプログラミング演習	47207
クリエイティブデザイン系関連	データベース入門演習	52201
	雑貨製作	52202
	Webデータベース演習	52203
	福祉住環境Ⅰ	52204
	環境設計	52205
	福祉住環境Ⅱ	52206
	情報システム概論	52207
	芸術の世界	52208
資格・検定支援	英語検定対策講座A	60201
	サービス接遇検定2級対策講座	60202
	ホスピタリティ検定2級対策講座	60203
	Word検定対策講座	60204
	秘書検定2級対策講座	60205
	英語検定対策講座B	60206
	Excel検定対策講座	60207
地域創生	地域創生入門	61201
	地域創生演習	61202
	地域創生論	61203
チャレンジ	インターンシップ	62101
	海外研修	62102
	地域チャレンジⅠ	62103
	地域チャレンジⅡ	62104
	地域チャレンジⅢ	62105
	地域チャレンジⅣ	62106
	地域チャレンジⅤ	62107
	地域チャレンジⅥ	62108
	検定チャレンジⅠ	62209
	検定チャレンジⅡ	62210
	検定チャレンジⅢ	62211
	検定チャレンジⅣ	62212
	検定チャレンジⅤ	62213
	検定チャレンジⅥ	62214

〈種別〉

種別	
総合	10
必修	20
教養	30
専門	
指定科目	40
一般事務指定科目	41
医療事務指定科目	42
事務系関連科目	50
ブライダル指定科目	43
観光指定科目	44
ﾌｧｯｼｮﾝ･ﾋﾞｭｰﾃｨｰ指定科目	45
サービス系関連科目	51
インテリア指定科目	46
CG･Webデザイン指定科目	47
ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ系関連科目	52
選択	
資格･検定支援	60
地域創生	61
チャレンジ	62

〈科目水準〉	基礎的科目	1
	発展的科目	2

〈通し番号〉カリキュラム表順

令 和 2 年 度　行 事 予 定 表

※補講について
通常の補講日(補講期間)以外に土曜日や5限目に補講を行うことがある。このような場合は事前に学生支援課掲示板により連絡するので注意すること。

4 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	水	全学科2年生 OR		
2	木	入 学 式		
3	金	全 学 科 オリエンテーション期間		
4	土			
5	日			
6	月	全 学 科 オリエンテーション期間		
7	火			
8	水	前期・1期授業開始		
9	木			
10	金			
11	土			
12	日			
13	月			
14	火			LP 登録変更日
15	水		FA・専攻 登録変更日	
16	木			
17	金			
18	土			
19	日			
20	月			
21	火			
22	水			
23	木			
24	金			
25	土			
26	日			
27	月			
28	火			
29	水	全学科水曜授業日(昭和の日)		
30	木	休校日		

5 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	金	休校日		
2	土	休校日		
3	日	憲法記念日		
4	月	みどりの日		
5	火	こどもの日		
6	水	振替休日		
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月			
12	火			
13	水			
14	木			
15	金			
16	土			
17	日			
18	月			
19	火			
20	水			
21	木			
22	金			
23	土	体育大会		
24	日			
25	月			
26	火			
27	水			
28	木			
29	金			
30	土	食2年月曜授業日		
31	日			

6 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	月			
2	火			
3	水		FA・LP 1期 授業・補講・試験期間 6/3～6/9	
4	木			
5	金			
6	土			
7	日			
8	月	食2給食管理学外実習		
9	火		1期 授業終了	
10	水		2期 授業開始	
11	木			
12	金			
13	土			
14	日			
15	月			
16	火			LP2期 登録変更日
17	水		FA2期 登録変更日	
18	木		1期 試験結果発表	
19	金		FA・LP1期 追再試験期間	
20	土			
21	日			
22	月			
23	火			
24	水			
25	木			
26	金			
27	土	食2年火曜授業日		
28	日			
29	月			
30	火			

7 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	水			
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火			
8	水			
9	木			
10	金			
11	土			
12	日			
13	月			
14	火			
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	日			
20	月			
21	火			
22	水			
23	木	全学科木曜授業日(海の日)		
24	金	全学科金曜授業日(スポ-ツの日)		
25	土			
26	日			
27	月			
28	火	食2以外 前期授業終了	セメスター科目 授業終了	
29	水	食2以外 補講開始	FA 補講期間 7/29～7/31	
30	木			
31	金	食2授業終了 食2以外補講終了		

8 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	土	食2補講		
2	日			
3	月	食2以外単位認定試験		
4	火	食2単位認定試験	FA・LP クォータ科目 授業・補講・試験終了	
5	水		FA 試験期間 8/1～8/7	LP試験予備日
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月	山の日		閉寮
11	火			
12	水			
13	木			
14	金			
15	土			
16	日	開寮		
17	月	保2保育実習Ⅱ(保育所)・Ⅲ(施設)		
18	火			
19	水	前期・2期結果発表(保2以外) 履修登録(食栄・保1)・仮登録(LP)		
20	木			
21	金	食栄・保1 F A・L P・専 追再試験期間		
22	土			
23	日			
24	月			
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月	保2前期結果発表 履修登録		

9 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	火			
2	水	保2追再試		FA・LP追再試結果発表 LP本登録
3	木			FA後期、3・4期登録日
4	金			
5	土			
6	日			
7	月	食2病院給食実習		
8	火		FA 企業研修	
9	水			
10	木	保2教育実習(幼稚園)		
11	金			
12	土			
13	日			
14	月			
15	火	秋季入学式		
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日			
21	月	敬老の日		
22	火	秋分の日		
23	水	保2以外後期・3期 授業開始		
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月	保2後期開始		
29	火	食・保追再試結果発表		LP3・4期登録変更日
30	水		FA・専攻 登録変更日	

学科行事設定期間 8月31日～9月12日

10 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	木			
2	金			
3	土			
4	日			
5	月			
6	火			
7	水			
8	木			
9	金			
10	土			
11	日			
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	日			
19	月			
20	火			
21	水			
22	木			
23	金			
24	土	保1火曜授業日		
25	日			
26	月			
27	火			
28	水	香蘭祭週間 香蘭祭週間 11/5まで		
29	木			
30	金	RAN FES		
31	土	香 蘭 祭		

11 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	日	香 蘭 祭		
2	月	後片付け		
3	火	文化の日		
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月			
10	火			
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	日			
16	月			
17	火			
18	水		FA・LP 3期 授業・補講・試験期間 11/18～11/24	
19	木			
20	金			
21	土			
22	日			
23	月	全学科月曜	授業日(勤労感謝	
24	火		3期 授業終了	
25	水		4期 授業開始	
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			
30	月			

12 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	火		4期 登録変更日	
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月			
8	火		3期 試験結果発表	
9	水			
10	木		FA・LP3期 追再試験期間	
11	金			
12	土			
13	日			
14	月			
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			
19	土	全学科月曜授業日		
20	日			
21	月			
22	火	冬期休暇前授業終了		
23	水			
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月			
29	火			
30	水			
31	木			

1 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	金	元 旦		
2	土			
3	日			
4	月			
5	火			
6	水	授業再開		
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	成人の日		
12	火			
13	水			
14	木			
15	金			
16	土			
17	日			
18	月			
19	火			
20	水			
21	木			
22	金			
23	土			
24	日			
25	月	保1授業終了		
26	火	保1補講 食授業終了	セメスター科目 授業終了	
27	水	食補講	FA 補講期間 1/27～1/30	
28	木	保1試験開始		
29	金	保2授業終了 食試験開始 2/4まで		
30	土	保2補講		
31	日			

2 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	月	保2補講		
2	火	保1試験終了 保2試験開始	FA・LP クォータ科目 授業・補講・試験終了	
3	水		FA 試験期間 2/1～2/6	LP試験予備日
4	木	食試験終了		
5	金			
6	土	保2試験終了		
7	日			
8	月	保1保育実習Ⅰ(保育所・施設)① 学科行事設定期間		
9	火			
10	水			
11	木		建国記念の日	
12	金			
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	保1以外本試結果発表		
17	水			
18	木	保1保育実習Ⅰ(保育所・施設)②3/2まで		
19	金		食栄・保2 F A・L P 追再試験期間	
20	土			
21	日			
22	月			
23	火		天皇誕生日	
24	水			
25	木			
26	金			
27	土			
28	日			

3 月

学科		保育食栄	FA	LP
1	月			
2	火			
3	水	保1以外追再試結果発表		
4	木			
5	金	保1本試結果発表		
6	土			
7	日			
8	月	保1追再試		
9	火			
10	水			
11	木			
12	金			
13	土			
14	日			
15	月	保1保育実習Ⅰ(保育所・施設)③		
16	火			
17	水			
18	木			
19	金	卒業パーティー		
20	土	卒業証書・学位記授与式		
21	日			
22	月			
23	火			
24	水			
25	木			
26	金			
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			
31	水			

学生の皆さんへ

オフィスアワーについて

◆本学では学生の皆さんの質問や相談などに先生方が対応するため、“オフィスアワー”を設けています。

先生方に質問や相談があれば“オフィスアワー”を利用してください。

- 専任教員についての“オフィスアワー”の対応時間は各先生方の研究室入口に掲示してあります。
- 非常勤教員についての“オフィスアワー”については、授業前・後の休み時間等を利用して教室等で相談してください。

（本学のホームページでも案内しています。：ホームページのトップページ⇒“在学生の皆様”⇒“キャンパスライフ”⇒“オフィスアワー”を参考にしてください。）

総　合　演　習

必　修　科　目

1　年

科目名	科目ナンバリング				
総合演習Ⅰ	LP10101	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

香蘭女子短期大学での勉学を開始するために必要となる初年次教育(レポート等の書き方、学生生活における時間管理、プレゼンテーション等の技法、図書館の効果的な利用法、その他学問修得に向けた動機づけ等の取組)を行う。 本学科において、各学生が学ぶ学問分野を真に生かして、これからの人生を過ごすための基本的な力を身につけることを目的とする総合的な科目である。これから始まる2年間のために基本的なことを学び、短大や地域社会で必要とされる力(コミュニケーション力)を身につける。

Ⅲ. 学習成果

12年間の学びについて考える
2.クラスメートとの交流を図る
3.行事への参加を通して企画力や協調性を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:キャンパスマナー・係について	役割を知り、自分にできる係を見つけ、係の内容を考える。
2:入学時調査・1期ポートフォリオ作成	1期の学びについてまとめる。
3:新入生歓迎会	上級生や同級生との交流を図るために必要なスキルを考える
4:地域チャレンジについて 体育大会種目決め	自分にできそうなボランティアについて考える
5:体育大会準備(クラスフラッグ作り)	クラスでまとまるための応援グッズについて提案する
6:体育大会	クラスで団結して参加する
7:体育大会振り返り 2期履修指導①	ぎゅじへの参加と社会人基礎力の関わりについてまとめる
8:2期履修登録準備	短大での学びについて計画を立てる
9:人権学習	女性が社会で直面する困難についてまとめる
10:1期振り返り/就職模試	これまでの短大生活について振り返りまとめる
11:2期ポートフォリオ作成	2期の学びについてまとめる
12:香蘭祭へむけて	香蘭祭についてクラス企画を考える
13:1期学びの振り返り(ポートフォリオ)	1期の成績を確認し自身の学びについて振り返る
14:学科アンケート	短大での生活について振り返りまとめる。
15:3・4期に向けて(メジャーの選択について)	自分が学びたいメジャーについて理由をまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行うこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60% 課題の提出30% 行事への関わり方10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語やスマートホンの使用は禁じる。
一部の授業順序の入れ替えや変更になる場合には事前に連絡を行う。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング				
総合演習Ⅱ	LP10102	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科において、各学生が学ぶ学問分野を真に生かして、これからの人生を過ごすための基本的な力を身につけることを目的とする総合的な科目である。
ここではクラス単位での行事や研修を通して社会人基礎力の獲得を目的とする。

Ⅲ. 学習成果

1.短大や学科の行事への参加を通して社会で役立つ力(協調性、働きかけ力、柔軟性)を養う
2.クラスメートとの交流を図る
3.短大での学びを振り返り、将来のための準備を行う

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:香蘭祭準備①(模擬店出店のための準備～衛生管理について学ぶ～)	模擬店での衛生面での注意事項をまとめる
2:全体集会	学生生活の注意事項をまとめる
3:後期行事予定・2期ポートフォリオまとめ	2期の試験結果を踏まえて自分の学びを振り返る
4:香蘭祭準備②役割分担	香蘭祭でのクラス企画について把握し、自身の役割を考える
5:香蘭祭準備③当日スケジュール確認/香蘭祭へ向けて	全体の仕事の流れを把握し、自分の役割についてまとめる
6:香蘭祭振り返り/リフレイミング	行事への関わりを振り返り、
7:行事の企画①(2年生を送る会にむけて)	ホスピタリティについてまとめる
8:就職試験対策①	就職試験にむけた準備を始める
9:行事の企画②(2年生を送る会にむけて)	多くの人が参加する行事の運営を考える
10:就職試験対策②	就職試験にむけた準備を始める
11:在学生調査/チャレンジの申請について	半年間の短大生活について振り返りまとめる
12:就職試験対策③	就職試験にむけた準備を始める
13:2年生を送る会	多くの人と話すための心構えについて考え実践する
14:履修指導	1年次の学びをまとめ、2年次の予定を立てる
15:2年生へ向けて	春休みの生活や就活についてスケジュールを立てる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行うこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する
参考書は授業の中で紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業への意欲60%　課題の提出30%　行事への関わり方10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語やスマートホンの使用は禁じる。
一部の授業順序の入れ替わりや変更になる場合には事前に連絡を行う。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング				
基礎科目Ⅰ	LP20101	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅰでは、大学での学びに必要な知識や技術の獲得、人間関係の早期形成のための基本的なコミュニケーション・スキルの獲得、青年期の適切な食生活に関する知識を中心に学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 キャンパスにおいて自分の居場所を確保できる
2 授業を受講するための知識と技能を身につけ、能動的に利用できる
3 教員や仲間と良好な関係を構築できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:学びの基本 大学の授業と学びの特徴を知る	大学の学びの特徴について整理してまとめる
2:キャンパス生活 1期個人時間割確認/メジャーガイドについて	キャンパスマナーの重点項目についてまとめる
3:コミュニケーション・スキル 自己紹介の素材を準備する	自己紹介のための自分の情報を整理しまとめる
4:コミュニケーション・スキル 仲間を知る グループで自己紹介 グループワークあり	自己紹介実習結果について振り返りレポートを作成する
5:自己分析 プログテスト①	プログテストの内容について振り返りまとめる
6:自己分析 プログテスト②	プログテストについて振り返りまとめる
7:キャンパス生活 キャンパスの中での人間関係づくり①	教員および他のメンバーとの交流内容をまとめる
8:キャンパス生活 キャンパスの中での人間関係づくり②	教員および他のメンバーとの交流内容をまとめる
9:キャンパス生活 キャンパスの中での人間関係づくり③	自分のキャンパスにおける人間関係マップを作成する
10:キャンパス生活 キャンパスの中での人間関係づくり④	実際に図書館から図書を借りて図書館の利用方法についてまとめる
11:コミュニケーション・スキル 葉書を出す① 葉書の書き方	葉書の書き方をまとめる
12:コミュニケーション・スキル 葉書を出す② 保護者への感謝の気持ちを表す	保護者あるいは自分を支えてくれる人への感謝の気持ちを表明する
13:社会・文化 美術館・博物館に親しむ(事前調査)	福岡近郊の美術館・博物館を調べ、イベント等についてまとめる
14:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 2期の学びについて考える	2期以降のメジャーについて調べ、計画を立てる
15:学びの基本/キャンパス生活 1期の学びの振り返りと2期の登録	1期の学びの成果をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業への意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング				
基礎科目Ⅱ	LP20102	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅱでは、大学での学びに必要なさらなる知識や技術の獲得、自己管理(青年期の女性のからだの特徴を知り健康管理ができる、マネーマネジメントができる、ストレスへの対処方法)を学ぶ。さらに防災や文化といった視点からの地域理解とプレゼンテーション等を中心に学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 自己管理(体調管理、マネーマネジメント)を行うことができる。
2 目的に従った適切な情報収集を行うことができる
3 グループ・ワークにおいて人前で堂々と話すことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 オリエンテーション	ポートフォリオをもとに、今後の学びの計画を立てる
2:自己分析 PROGテスト解説	PROGテストの結果を把握し、今後の生活に活かすことができるようにする
3:自己管理 食について考える グループワークあり	1週間の食生活について記録をとり、発表する
4:自己管理 食と心理 摂食障害について	摂食障害についてまとめる
5:社会・文化 美術館・博物館に親しむ①	美術館・博物館に出かけて展示の内についてまとめる
6:社会・文化 美術館・博物館に親しむ②	美術館・博物館に出かけて展示の内についてまとめる
7:自己管理 マネー・マネジメント①	大学生のマネー・マネジメントについての要点をまとめる
8:自己管理 マネー・マネジメント②	自分の家計簿をつけて将来計画を考える
9:地域防災①南区の防災事情を学ぶ	南区に想定されている災害についてまとめる
10:地域防災②自分の育った地域の防災事情を調べる	自分が育ったまちの基本情報を調べ、訪問取材の準備をする
11:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 情報収集の方法	文献検索および様々な検索方法についてまとめる
12:抗ストレス講座	ストレスについて理解し自分自身の対処方法を考える
13:DV講座	DVについて理解し自分自身の対処方法を考える
14:自分の学びの現在地を知る 2期の学びを振り返る	半年間の学びを振り返り成果についてまとめる
15:社会・文化 博多座研修	文化に親しみ、レポートを作成する。

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業への意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング				
基礎科目Ⅲ	LP20103	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

基礎科目では高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。
基礎科目Ⅲでは、進路探索を含むキャリア形成に関する内容を中心に、課題解決型学習(PBL)として地域の課題発見とその解決策の提案、さらにDVについて学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 自らの進路について現実的・具体的に考え、説明することができる
2 DVの実態を知り、取るべき行動を理解する。
3 課題解決型学習を実践し、その成果をわかりやすく発表できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション 3・4ポートフォリオ記入	これからの学びについてまとめる
2:問題発見と解決 社会人基礎力養成講座①	地域や社会の課題解決策についてグループで問題点を共有する
3:キャリア形成 就職ガイダンス①(心構えと行動スケジュール)	就活のスケジュールを知り、自分の行動スケジュールを立てる
4:キャリア形成 就職支援講座(職業適性検査の見方)	自分の職業適性の結果と希望の職種とを比べ将来について考える
5:問題発見と解決 社会人基礎力養成講座②	地域の課題解決策について資料を作成する
6:問題発見と解決 社会人基礎力養成講座③	地域の課題解決策について資料を作成しプレゼンテーションを行う
7:キャリア形成 就職ガイダンス②(就職サイトの見方・情報収集の仕方)	就職に関する情報収集の仕方についてまとめる
8:キャリア形成 就職活動支援(マイナビその他の就活サイトの登録と活用)	就職のためのサイトに登録し、様々なコンテンツを使ってみる。
9:キャリア形成 地域チャレンジ振り返り発表会	他の人のチャレンジの様子を参考にこれからのスケジュールを立てる
10:問題発見と解決 社会人基礎力養成講座④	地域の課題解決策にむけた具体的な方策を提案する
11:問題発見と解決 社会人基礎力養成講座⑤	地域の課題解決策について成果を確認する
12:キャリア形成 就職活動準備③(進路登録カード・履歴書記入方法、学校システム)	履歴書やエントリーシートの書き方についてまとめる
13:キャリア形成 進路登録カード指導①	進路登録カードの記入例を参考に履歴をまとめる
14:キャリア形成 進路登録カード指導②	自己アピールを考える。他の人の意見を聞きまとめる。
15:「あなたのまちの防災計画」(レポート提出)	3期の学びの成果をまとめて4期の学びにつなげる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業への意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング				
基礎科目Ⅳ	LP20104	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅳでは、基礎科目Ⅲに引き続きキャリア形成に関する内容を中心に、グループ・ワークを通したチーム・ワーク形成につても学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 自らのキャリアプランについて具体的・現実的に考え、説明することができる
2 グループ・ワークへの自らの関わり方の特徴を理解し、チームワーク力を高めることができる
3 ストレスとメンタルヘルスに関する正しい知識を身につけ活用できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:キャリア形成 就活メイク講座①	第一印象をよくするためには何が必要か考える
2:キャリア形成 就活メイク講座②	普段の生活のメイクと就活用のメイクの違いについて考える
3:キャリア形成 就職提言	先輩の話を聞いて、自身のキャリアについて考える
4:キャリア形成 就職ガイダンス④(求人票の見方・就職マナー)	求人票の見方についてまとめ、気になる企業の求人を調べる
5:キャリア形成 リクルートスーツの着こなし講座	就職活動の際によい印象を与えるリクルートスーツの選び方についてまとめる
6:キャリア形成 KJ法による進路探索	自分の人生設計をまとめる
7:自己分析 感情表現の特徴を捉える グループワークあり	自身の行動の特徴についてまとめる
8:キャリア形成 進路登録カード①	具体的な就職活動に向けた進路を考えてまとめる
9:キャリア形成 進路登録カード②	具体的な就職活動に向けた進路を考えてまとめる
10:キャリア形成 送り状を書く①(送り状の基本)	履歴書送付時に必要な知識についてまとめる
11:キャリア形成 送り状を書く②	メールを書いてみる
12:キャリア形成 就活キックオフ	就活スケジュールについてまとめる
13:自己管理 ストレスとメンタルヘルス	ストレスとの向き合い方について考える
14:キャリア形成 履歴書指導	志望企業を決め、実際に志望動機を書いてみる
15:学びの基本/キャンパス生活	一年間の学びを振り返り成果をまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

受講態度(授業貢献度を含む)60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。

科目名	科目ナンバリング				
情報リテラシー	LP20105	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	1期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
田中　健吾		履修要件他：			
伊藤　るり		アクティブラーニング科目：		実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

ビジネスソフトや電子メール、インターネットを使いこなすスキルは、短大生・社会人が身に付けるべき基礎スキルです。これらを使いこなせると、短大生活において、授業課題への取り組みや自主学習、就職・進学活動での情報収集や連絡手段、書類作成など、様々な活動を効率化してくれます。また、就職活動で求められる応募資格として、自動車免許の次に多いのはWord・Excelのスキルであり、社会人になってからの業務とその効率化に不可欠です。この科目では、これらのスキルを対面授業で基礎から学び、授業内容の復習と出題される課題に各自が取り組むことで、実用的なレベルに高めることを目標とします。

Ⅲ．学習成果

・データの作成・管理が責任を持ってできるようになる。
・タッチタイピング（ブラインドタッチ）で文字入力ができるようになる。
・電子メールや検索サイト等のwebサービスが日常的に使いこなせるようになる。
・Word、Excel、PowerPointの初歩的な機能を用いて、資料作成や表計算処理ができるようになる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:Windowsの基本操作、キーボード・マウス・電源操作 文字入力（半角英数字、記号）、ファイル、フォルダ、USBフラッシュメモリの利用	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること 記号の読みを覚える
2:文字入力（ローマ日本語字入力）、タイピングアプリでのタイピング練習 メールアドレス（アカウントの貸与、送受信、アドレス帳）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
3:長文タイピング（ファンクションキーの利用）、Wordの基礎、グーグルドライブ	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　長文タイピング
4:Word（各書式の利用）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
5:Word（デザイン機能の利用）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　文書作成編練習問題1・2・3
6:Word（罫線の利用、履歴書作成）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　履歴書作成
7:Word（スクリーンショット、図形描画）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　キーボードの図作成
8:Excel（何ができるのか、各種名称、四則計算、座標、罫線）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
9:Excel（関数：SUM、AVERAGE、MAX、MIN）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
10:Excel（オートフィル、絶対参照、相対参照、複合参照）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
11:Excel（関数：COUNT、RANK、関数とオートフィルの利用）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　関数機能についての提出課題
12:Excel（グラフ機能）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　表計算編練習問題1
13:Excel（データベース機能）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　データベース機能についての提出課題
14:PowerPoint（各種名称、スライド作成、プレンゼンテーション）	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
15:PowerPoint（アニメーション機能、メール機能の理解） インターネットでの情報検索（画像、動画、地図、他）、まとめ	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること プレゼンテーション編練習問題　メール機能についての提出課題

＊準備学習についての補足説明
授業に欠席した場合には授業内容や課題を、各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業内容の定着や理解不足の解消、タイピング練習のために30分以上の必要な時間をかけて準備学習を行うこと。

Ⅴ．教科書・参考図書

情報リテラシー　入門編　（Windows8.1 Office2013）　FOM出版

Ⅵ．評価方法と評価基準

課題提出：50%　　筆記試験：50%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを最も重要視しています。課題提出が期限に遅れた場合は、2 回目の提出期限を定めますので、そこで提出できれば減点扱いで提出を受け付けます。2回目の提出期限に遅れた場合には提出を認めませんので十分注意してください。以上のことは授業の欠席者も同様です。

科目名	科目ナンバリング				
メディアリテラシー	LP20106	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
田中　健吾		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ソーシャルメディアが発達する以前は、受信者としてのメディアリテラシーが教育の中心であったが、ソーシャルメディアが日常化した現在では、発信者としてのリテラシーが極めて重要となった。この授業では、ソーシャルメディアの発達により変質した、マスメディアと個人を取り巻く情報環境と社会現象について学ぶ。また、いくつかのワークを体験しながら、受講者間でお互いの考えに対する理解を深めることで、情報に対する理解や価値観の多様性を知る。終盤では、現代社会における情報利活用の新展開について学びます。

Ⅲ. 学習成果

・メディアリテラシーや情報倫理に関する基礎的用語を理解できる。
・情報を自分で作成し、発信する際に必要な意識を身に付けることができる。
・現代社会を取り巻く情報環境やそれに付随するルールについての初歩的な知識を身に付けることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:メディアリテラシーと情報倫理の必要性と系譜	メディアリテラシー、情報倫理の必要性を再確認する
2:取材記事を書くことで、情報を客観的に把握することに挑戦する (GoogleClassroomを用いて受講者の情報を共有し、相互評価を行う)	取材記事の作成の続きを行う
3:剽窃行為の理解、レポート作成時の注意点	剽窃行為の復習とレポート作成の際の注意事項を再確認する
4:知的財産権	知的財産にかかわる事件について各自で調べて理解を深める
5:ロイヤリティ、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス	クリエイティブコモンズの精神やライセンス表示の理解を深める
6:情報を発信することに挑戦する (GoogleClassroomを用いて受講者の情報を共有し、相互評価を行う)	情報発信するための課題の続きを行う
7:情報を評価することに挑戦する (GoogleClassroomを用いて受講者の情報を共有し、相互評価を行う)	情報を評価するための課題の続きを行う
8:マスメディアの産業構造と言論の自由、印象操作	関連する社会問題を各自で調べて理解を深める
9:検索エンジン	検索エンジンのビジネスモデルを各自で調べて理解を深める
10:ソーシャルメディア	ソーシャルメディアのビジネスモデルを調べて各自で理解を深める
11:ソーシャルメディアと日常生活について考える① (GoogleClassroomを用いて受講者の情報を共有し、相互評価を行う)	ソーシャルメディアの日常利用に移管する課題の続きを行う①
12:ソーシャルメディアと日常生活について考える② (GoogleClassroomを用いて受講者の情報を共有し、相互評価を行う)	ソーシャルメディアの日常利用に移管する課題の続きを行う②
13:ソーシャルメディアの負の側面	関連する社会問題を調べて各自で理解を深める
14:災害とソーシャルメディア、情報セキュリティ	関連する社会問題を各自で調べて理解を深める
15:オープンデータとオープンガバメント	オープンデータに関連する活動事例を各自で調べて理解を深める オープンガバメントの意義を再確認する

＊準備学習についての補足説明
・出題した課題には十分時間をかけて取り組むこと。 課題の提出期限は厳守(欠席者も同様)。期限後の提出は認めない。
・授業内容については、30分以上の時間をかけて、各自で復習すると共に、関連する社会問題について調べることで理解を深めること。

Ⅴ. 教科書・参考図書

テキストは使用しない。授業中に配付する資料を用いる。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

筆記試験:50%　課題提出:50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業中に出題する課題について、授業担当者および同じ受講生から適宜フィードバックを行う。
・欠席者は、授業担当者もしくは同じ受講生に欠席当日の授業内容を確認の上、必要な事柄に対応すること。
・授業ではGoogleClassroomを使用するので、学校から貸与されたGmailアカウントでログインできるようにしておくこと。

教　養　科　目

1　　年

科目名	科目ナンバリング				
文学	LP30101	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
藤岡　健		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

フランス文学を学ぶが、その前提として芸術論も講じる。その後、日本語に翻訳された小説、詩、エッセーを様々な視点から読んでいく。

Ⅲ. 学習成果

1 作品の構造を分析するため論理的思考がある程度身に付く。
2　歴史や文化などの作品の背景的知識を得る。
3　文章力やレポート作成能力が伸長する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:芸術の定義。	自分の考える芸術や文学の考えを整理すること。
2:文学の定義と文学のジャンル(詩、演劇、小説、エセー)。	文学のジャンルを成立させているものを整理すること。
3:フランス文学の特色。	様々な文学思潮の特徴を整理すること。
4:短編小説Ⅰ講読と解説①。	作品を再読し、自分で疑問に思うことをまとめること。
5:短編小説Ⅰ講読と解説②。課題文作成。	課題で書いたこと以外の可能性を考えること。
6:ラ・ロシュフコー『箴言集』講読と解説①。	モラリストの定義を整理すること。
7:ラ・ロシュフコー『箴言集』講読と解説②。	テキストの文章のタイプを整理し、まとめること。
8:ラ・ロシュフコー『箴言集』講読と解説③。	テキストの書かれた時代の価値観をリストにする。
9:ラ・ロシュフコー『箴言集』講読と解説④。	テキストの心理学的要素をリストにする。
10:ラ・ロシュフコー『箴言集』についての課題文作成。	課題で書いたこと以外の可能性を考えること。
11:短編小説Ⅱ講読と解説①。	作品を再読し、自分で疑問に思うことをまとめること。
12:短編小説Ⅱ講読と解説②。課題文作成。	課題で書いたこと以外の可能性を考えること。
13:パスカル『パンセ』講読。	例文の構造を整理すること。
14:詩(プレヴェール、エリュアール、シュペルヴィエル)講読と解説 グループでそれぞれの詩の解釈を討論し、まとめる。	自分の意見を整理すること。
15:レポートの書き方指導。	レポートのテーマを考えること。

＊準備学習についての補足説明
基本はテキストの理解であるので、不明な点を列挙し、自分の価値観と照合させながら、作品を読む。その際、メモを必ず取り、それを整理して次の講義に出席すること、この学習に2時間は充てること。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント配布。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(レポート)(50%)課題文(25%)学習の意欲(25%)を目安として、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題文は添削し、返却。その時、解説も実施。授業中私語厳禁。

科目名	科目ナンバリング				
歴史	LP30103	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
田中　由利子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

現代は、過去の積み重ねでできている。現代の「日本」に最も大きな影響を与えたのが江戸時代である。
江戸時代は幕藩制という体制概念で表現され、国や社会が成り立っていた。授業では、江戸時代の福岡藩や佐賀藩で起こったいくつかの出来事を取り上げ、現代がいかに江戸時代の影響を受けているかを学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

1　江戸時代の制度の特徴について説明できる
2　江戸時代の身分について説明できる
3　江戸時代の暮らしと暦について説明できる
4　江戸時代の宗教や思想について説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 日本の近世という時代	日本の近世という概念の最新の捉え方についてまとめる
2: 江戸時代の幕藩体制と身分	江戸時代の政治体制における身分についてまとめる
3: 江戸時代の女性と化粧	身分による女性の衣服や化粧や髪型の違いについてまとめる
4: 江戸時代の村人の暮らし	江戸時代の村人の一年の過ごし方についてまとめる
5: 江戸時代の暦と度量衡	江戸時代の人々が使用した暦や尺度や重さについてまとめる
6: 江戸時代の文字と言葉	江戸時代の文字(くずし字)や、言い回しについてまとめる
7: 江戸時代の教育(藩校について)	主に支配者階級の藩校についてまとめる
8: 江戸時代の教育(私塾と寺子屋について)	私塾や子供が学ぶ寺子屋についてまとめる
9: 江戸時代の思想としての儒学	江戸時代の「武士道と倫理観」などの思想をまとめる
10: 近世における佐賀藩と福岡藩	佐賀藩と福岡藩の特異性などをまとめる
11: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(1)	「直茂様御教訓ヶ条覚書」について新見解をまとめる
12: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(2)	「直茂様御教訓ヶ条覚書」と「葉隠」の関連性についてまとめる
13: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(1)	福岡藩初代藩主黒田長政を祀った神社についてまとめる
14: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(2)	長政を祀った神社の由緒書を読み解き新しい解釈をみつける
15: 江戸時代についての授業のまとめ	

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回45分以上行うこと。毎回課題を出します。課題は授業後プリントにて提出してください。
単位取得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。レジュメやプリントを毎回配布します。
参考文献や論文等は、随時授業中に紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験（上記の内容1～15について、学習成果1～3の観点から出題）50%
提出物30%
学習の意欲20%：授業中の私語及び携帯電話の使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回授業の最後に、質問や感想を書いて提出してもらいます。質問の回答は次回の授業時にします。
素晴らしい質問や新しい視点での感想を書いた人には加点します。

科目名	科目ナンバリング				
心理学	LP30104	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中島　美鈴		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

現代社会における多種多様な問題について理解し、対応するための手だてのひとつとして、カウンセリングの技法が注目されている。中でも、認知行動療法や行動分析のアプローチは、もともと医療の分野から実践が始まり、教育、福祉、矯正など幅広い現実的な問題解決に優れており、注目を浴びている。本講義では、認知行動療法を活かした自身のメンタルヘルスのメンテナンスや予防的アプローチや、問題が起きた後の迅速な解決や対応を図る力を身につけていただきたい。授業の前半では、認知行動療法や行動分析に関する講義が中心である。後半では、さまざまな事例を読んで、グループでどう理解し、対応するかというプレゼンテーションやディスカッションを活発に行う。

Ⅲ. 学習成果

1. 自身もしくは周囲の人の多種多様な問題について、学習理論を含めた認知行動療法的な視点から分析し、理解することができる。
2. 問題解決を図るためのコミュニケーション技能を向上させる。
3. 根拠を示しながら、自らの理解について発表することができる。
4. ディスカッションを通じて、物の見方や価値観の多様性に触れ、視野を広げる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　悩んでしまうのはなぜか～アーロン・ベックの認知モデル	「悩み・不安・怒りを小さくするレッスン」第１章を事前に読んでおくこと
2:　信念とは～下向き矢印法と行動分析	第２章を事前に読んでおくこと
3:　いろいろなスキーマとこれまでの生活歴	これまでの人生の年表を書いてもらいます。簡単に思い出しておくこと。
4:　考え方のクセを修正する	第３章を事前に読んでおくこと
5:　わかっているけどどうしても怖いことへの対処～行動実験	第４章を事前に読んでおくこと
6:　よい習慣を身につけるための古典的条件付け	第５章を事前に読んでおくこと
7:　やる気を引き出すためのオペラント条件付け	第６章を事前に読んでおくこと
8:　不安の認知行動療法	第7―9章を事前に読んでおくこと
9:　怒りとのつきあい方～アンガーマネジメント	第１０章を事前に読んでおくこと
10:　対等な関係を築くために～アサーティブコミュニケーション	第１１章を事前に読んでおくこと
11:　傷つきながら笑顔を作ってしまう人のためのマインドフルネス	第１２章を事前に読んでおくこと
12:　事例を用いた演習(1)　自分だけ誘われていない飲み会の話	1～11までに配布したプリントを持参すること
13:　事例を用いた演習(2)　ドタキャンした友達にどう対応すべきか	1～11までに配布したプリントを持参すること
14:　事例を用いた演習(3)　がんばったのに評価してもらえない	1～11までに配布したプリントを持参すること
15:　事例を用いた演習(4)　お菓子の食べ過ぎがやめられない	1～11までに配布したプリントを持参すること

＊準備学習についての補足説明
準備学習は15～30分間程度を確保すれば実施可能。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「悩み・不安・怒りを小さくするレッスン　認知行動療法入門」 2016年 中島美鈴:著　光文社　ISBN978-4-334-03958-5

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(10%)、授業時に実施するミニレポート(40%)および定期試験(50%)で評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

２人1組もしくは5～6人グループでのディスカッションを多用します。または、講義中にマイクを回して個別に意見を求め、双方的なやりとりの中で理解を深めていきたいと思います
一般的な知識を得るだけでなく、自分の経験と照らし合わせながら、自分の言葉で学んだことを語れるようになることを目指しますので、積極的な参加をお願いします。
集団討議など即時的なやりとりに著しい支障のある学生は、1回目の授業の最初にメモでもけっこうですので個別に申し出てください。

科目名	科目ナンバリング				
経済学	LP30105	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの暮らしは、「市場経済」の働きと「財政」による支援によって成立している。本講座では、後者の「財政」の仕組みに焦点を当て、「市場経済」との違いを理解することを当面の目標とする。また、指定したテキストを使いながら、私たちが住んでいる「地域」の経済について理解を深め、「財政」と「市場経済」のどちらの仕組みも私たちの暮らしにとって欠かせないものであることを理論的に把握することが本講座の最終目標である。同時に、私たちが住んでいる地域の経済についても関心を高め、生活実感を伴う講義を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①財政の仕組みと市場経済の働きの違いを理解し、経済学的な考えを身につけられる。
②税制や社会保障問題と私たちの暮らしのつながりを理解することで、一社会人としての生活に困らない程度の準備を行える。
③グローバルとローカルという横の広がりと、過去と現在と未来という時間軸に沿った縦のつながりを意識することで、地域の経済について深く理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:テキストの「はじめに」を再読しておくこと。
2:　第1章　社会保障の系譜	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
3:　第2章　社会保障の基本哲学を知る	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
4:　第3章　日本の社会保障の特徴	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
5:　第4章　人口減少社会　※課題1の説明	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
6:　第5章　産業としての社会保障	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
7:　第6章　財政赤字	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
8:　第7章　日本社会が抱える課題 課題1の回収	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
9:　第8章　北欧との比較	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
10:　第9章　持続可能な社会をつくる	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所を復習しておくこと。
11:　社会保険の仕組み①　※課題2の説明	予習:年金制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに年金制度をまとめておくこと。
12:　社会保険の仕組み②	予習:医療保険制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに医療保険制度をまとめておくこと。
13:　社会保険の仕組み③	予習:介護制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに介護保険制度をまとめておくこと。
14:　ビデオ学習 ※　社会保障制度の行き詰まりをテーマとした映像を見せる予定。	予習:第11～13回の内容の復習を行っておくこと。 復習:ビデオの内容を思いだし、
15:　総括 課題2の回収	予習:課題2の完成 復習:テキストを中心に、自分の考えをまとめておくこと。

＊準備学習についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　「教養としての社会保障」　東洋経済新報社　香取照幸著
参考書　「新しい地方財政論」　有斐閣　中井英雄他著
「マクロ経済学入門　第2版」　日経文庫　中谷巌著
「ミクロ経済学」　東京大学出版会　奥野正寛編著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験(上記1～14回の内容から出題)50%、レポート(2回)20%、学習の意欲　30%。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収する資料およびレポートは必要に応じてコメントをつけて返却する。
・授業中の私語、スマートフォンの使用は減点の対象(受講態度の評価の対象)とする。
・シラバスの内容を変更する際は、事前に授業中にお知らせする。

科目名	科目ナンバリング				
金融論	LP30106	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
渡辺　明治		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの生活は、お金という形でしっかりと金融と結びついています。
金融は命の次に大切なお金を扱う活動で、経済の血液でもあり経済活動と密接な関係があります。
経済の基本を理解するとともに、銀行をはじめとする各金融機関等の働きや、金融商品の内容を学習して、
金融機関を上手に利用できるノウハウを学びます。

Ⅲ. 学習成果

銀行、証券会社、保険会社、ノンバンク他の金融機関等の働きを理解し、それぞれの違いや取扱商品等を説明できるようになることを目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 金融論を学ぶ理由	授業の進め方、教育目標について説明します。
2. お金と経済の動き(預金通貨、銀行や市場は日本経済の心臓、金利はお金の値段)	預金通貨、銀行や市場、金利についてまとめる。(20分の予習・復習)
3: お金と経済の動き(金利は景気・物価の体温計、名目金利・実質金利、マイナス金利)	景気・物価、名目・実質金利、マイナス金利のまとめ(20分の予・復習)
4: 金融の担い手(間接金融と直接金融、信用創造機能、預金保険制度とペイオフ)	直接・間接金融、信用創造機能、ペイオフのまとめ(20分の予・復習)
5: 金融の担い手(都市銀行・地方銀行・第二地方銀行・信託銀行)	都銀、地銀、第二地銀、信託銀行のまとめ(20分の予・復習)
6: 金融の担い手(信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・政府系金融機関)	信金・信組・ゆうちょ銀行・政府系金融機関のまとめ(20分の予・復習)
7: 金融の担い手(証券会社・保険会社・ノンバンクその他)	※アクティブ・ラーニング➡グループワーク＆プレゼンテーション 証券会社、保険会社、ノンバンクについてまとめる(20分の予・復習)
8: 金融市場の働き(お金の値段を決める、短期金融市場、債券市場)	短期金融市場、債券市場のまとめ7(20分の予・復習)
9: 金融市場の働き(株式市場、外国為替市場、新しい金融市場)	株式市場、外為市場、新しい金融市場のまとめ(20分の予・復習)
10: 金融をつかさどる当局(中央銀行)(日銀の3つの役割、金融政策)	日銀の3つの役割、金融政策のまとめ(20分の予・復習)
11: 金融をつかさどる当局(世界の中央銀行、金融庁の役割)	世界の主な中央銀行、金融庁の役割のまとめ(20分の予・復習)
12: 金融危機と国際金融の挑戦(サブプライムローン、リーマンショック)	サブプライムローン、リーマンショックのまとめ(20分の予・復習)
13: 金融危機と国際金融の挑戦(固定相場から変動相場制へ、、単一通貨ユーロ)	固定相場と変動相場、単一通貨ユーロのまとめ(20分の予・復習)
14: 金融の進む道(グラミン銀行、フインテック)	グラミン銀行、フインテックのまとめ(20分の予・復習)
15: まとめ	

＊準備学習についての補足説明
※アクティブ・ラーニングのテーマ・・・「証券会社の仕事内容について」を数名に分けてグループワークを行いその後グループ別に発表。(40分間)
準備学習は、各回の教科書関連部分を読んでおくこと。内容については詳しく毎回の授業時に説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

日経文庫　金融入門〈第2版〉　日本経済新聞社編　定価860円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学位認定試験60%　課題レポート提出30%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題については、授業内でコメントを提示します。
授業中の私語、スマートフォン等の使用は減点の対象とします。
「実務経験教員科目」特記事項:銀行員として勤務ー国内業務、国際業務　本部、支店、海外の経験などを活かし各回で現場での実例を紹介し実学を教育。

科目名	科目ナンバリング				
流通論	LP30107	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私達の暮らしの中で存在している商品は、世界中の生産現場から集められたモノ・サービスです。それらは、時間・場所・人の隔たりを越えて、私達のもとへたどり着いたと言えます。この授業では、生産と消費を結びつける役割を担っている流通業界について学びます。前半は流通の基礎知識を学び、後半はスーパーマーケット(GMS)、コンビニエンスストア(CVS)、百貨店、ドラックストア、ホームセンター(HC)などの、具体的な業態について学びます。

Ⅲ. 学習成果

・基本的な流通のしくみが理解できる。
・基本的な流通用語が説明できる。
・スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの業態を理解し、説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 流通のいま 流通の主役・小売業	セブン・イレブン・ジャパンとイオンについて調べる オムニチャネルについて調べる。
2: 小売業界の二強　セブン＆アイとイオン オムニチャネル	買い物弱者について調べる。
3: 流通業の海外進出 買い物弱者	インバウンドの用語の意味の実例について調べる。
4: インバウンド これからの流通	流通の定義を調べる。
5: 流通とは 流通の役割	流通チャネルについて調べ、200字程度にまとめる。
6: 流通チャネル 流通系列化(日本の流通経路)	改正まちづくり三法について調べる。
7: 流通政策 改正まちづくり三法	規制緩和について調べる。 特定保健用食品(トクホ)について調べる。
8: 規制緩和 機能性表示食品制度	スーパーマーケットの業態について調べる。
9: 岐路に立つ総合スーパー(GMS) スーパーマーケット(食品スーパー)	コンビニエンスストア業態について調べる。
10: コンビニエンスストア(CVS) 百貨店	百貨店の経営について調べる。
11: DVD鑑賞ー日本の流通の歴史ー中内功と鈴木敏文ー グループワーク、振り返り　お互いの感想を共有しよう	ドラッグストア業態について調べる。
12: ドラックストア ホームセンター(HC)	アウトレットの意味を調べる。
13: ショッピングモール アウトレットモール	生協と農協の共通点と違いについて調べる。
14: 生活協同組合 農協協同組合	流通業態の変化を200字程度にまとめる。
15: まとめ	試験範囲を確認し、これまでのまとめを行う。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、各回45分以上行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『　ビジュアル　流通の基本［第5版］』　小林隆一著　　日本経済新聞社。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、提出物20%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

流通業界の発展の鍵を握るのは、女性の存在といっても過言ではないと思われます。私達の身近に存在する流通業態について、自分の視点、女性の目線を大切にしながら授業を進めたいと思います。

科目名	科目ナンバリング				
社会福祉概論	LP30108	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
加来　裕子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

少子高齢時代の社会構造や、将来推計をもとにした社会環境の変化について考える。
社会福祉の基本理念および人権について、歴史的発展の経緯などから学ぶ。
社会保障制度、社会福祉制度、福祉行政制度についての概要を学び、地域社会のなかで生じているさまざまな課題について考える。

Ⅲ. 学習成果

社会福祉の多種多様な取り組みを理解するため、基本的な知識を身につけることができる。
地域社会の一員として、社会福祉の活動について具体的なイメージをもつことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　社会福祉の基礎概念(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 福祉用語に関する課題
2:　社会福祉の基礎概念(2) ディベート:テーマ「ノーマライゼーション」4名程度のグループで事前に話し合い、ディベートを行う。	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 福祉理念に関する課題
3:　社会福祉をとりまく状況(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 人権に関する課題
4:　社会福祉をとりまく状況(2)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 生活状況に関する課題
5:　社会福祉の歴史と展開	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 社会福祉拡充期に関する課題
6:　社会福祉のしくみと運営	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 法体系に関する課題
7:　社会福祉の機関と施設	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 社会福祉事業に関する課題
8:　社会保障・公的扶助(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 医療保険に関する課題
9:　社会保障・公的扶助(2) ディベート:テーマ「生活保護」に関する課題とし、4名程度のグループで事前に話し合い、ディベートを行う。	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 生活保護制度に関する課題
10:　高齢者福祉(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 高齢者の生活に関する課題
11:　高齢者福祉(2)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 介護保険制度に関する課題
12:　障害者福祉	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 障害の区分に関する課題
13:　地域福祉	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 地域福祉の活動に関する課題
14:　これからの社会福祉の課題	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 ボランティア活動に関する課題
15:社会福祉を支える人たち まとめ	福祉の専門職に関する課題 単位認定試験に向けての振り返り

＊準備学習についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回30分以上行うこと。詳しい内容・学習方法については、資料を配布し毎回の授業のなかで説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『よくわかる社会福祉』第11版　山縣文治・岡田忠克　編　ミネルヴァ書房　2,700円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前学習で調べたことは、授業中に発表し、学びを共有できるようにします。課題については、講義内で解説します。
復習として、理解度を確認するために小テストを行います。小テストについての詳細は事前にお知らせします。

科目名	科目ナンバリング				
数学	LP30110	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
三尾　直美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

小学校、中学、高校と学んできた数学の中の、わかったつもりになってはいても本当にはよくわかっていない事柄―――割合、速度、濃度、そして有理数と無理数、無限大とは何か、等々――について、その本質を、トピック形式で考えていく。併せて演習をして、問題解決の実力をつけていく。

Ⅲ. 学習成果

1. 割合、速度、濃度、有理数、無理数、確率、順列、組み合わせ、複素数、等の数学的概念を理解する。
2. それらに関する基本的問題は、自力で解けるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 単価とは？ 速度とは？ 人口密度とは？	速度や人口密度等の定義を確認する。
2: 単位の換算、割合と食塩水の濃度	濃度問題等、完全に解けるように復習する。
3: 密度とは？ 比重とは？ モルとは？	密度、比重、モルの定義を確認する。
4: 割合の不思議	教科書p23～p26を読み、理解する。
5: 文字式を使う、連立方程式を簡単に解く	行列式を使って連立方程式を解く方法をマスターする。
6: 三角形の外心と垂心	垂心問題、外心問題の証明をフォローする。
7: ピタゴラスの定理を証明する	ピタゴラスの定理の証明をフォローする。
8: グループワーク＆プレゼンテーション　自然数・整数・有限小数・無限小数等の数学用語について、クラスの前で解説する有理数と無理数	有理数と無理数について、理解しておく。
9: ネズミ算の話、無限大(∞)とは？	無限大とはどういうことか、確認する。
10: 複素数の話	教科書p73～p78を読み、複素数が考えられるようになった過程をフォローする。
11: 何通りの並べ方があるか	順列の問題を解けるように復習する。
12: 確率の話	教科書p85～p99を読み、確率の考え方を知る。
13: 組み合わせとその個数	組合せの個数の計算をできるように復習する。
14: 2項展開とパスカルの三角形	組合せの計算の発展例としての2項展開の公式を理解する。
15: アインシュタインの相対性理論にトライ！	教科書p111以降、わかるところま読んでみる。

＊準備学習についての補足説明
特に、復習を重んじる。講義では、数学概念がよく理解できなかった時は特に、教科書を、1行ずつ考えながら読む習慣をつける。
それでも理解できない場合は、担当者に直接質問をする。毎回の予復習に必要な時間は、1～2時間。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「大人の算数・数学　あらためて納得、あらたに納得」 押川元重著　培風館　¥1,200+消費税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

演習課題提出＆小テスト　50%　　試験　50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業の中で、演習も行う。又、全員に対しての解説も行う
演習用課題は、教科書とは別に、そのつど、配布される。

科目名	科目ナンバリング				
英語	LP30113	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
谷岡　敏博		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

基礎英語・英文法のやり直しをします。英会話をするにも基本文法は、自分の考えを正確に伝えるにも、相手の発言を理解するのにも必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法が身につくことが期待できる。更にそれらを活用し平易な英語で自由記述、表現ができることが期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・エッセイをグループワークで作成し協調性、独創性を培うことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英語の学習の仕方について。現在の英語力診断クイズと答え合わせをして 現在の自身の英語力を知り、要改善箇所への認識を新たにする。	シラバスをしっかり読んでおく。
2: 時制①(一般動詞の現在形)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の学習	前週の英語診断クイズを想起し自身の弱点の整理をする。
3: 時制②(一般動詞の過去形＆未来形)＆　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
4: 時制①②の復習　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
5: 進行形　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
6: 受身(受動態)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
7: 進行形と受身の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
8: 助動詞	前週配布したプリントのポイントの復習
9: 完了形	前週配布したプリントのポイントの復習
10: 助動詞と完了形の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
11: 不定詞	前週配布したプリントのポイントの復習
12: 比較	前週配布したプリントのポイントの復習
13: 不定詞と比較の復習 エッセイ作成についてグループディスカッション	前週配布したプリントのポイントの復習
14: 形容詞と副詞 エッセイ作成についてグループディスカッション	前週配布したプリントのポイントの復習
15: 分詞と動名詞＆試験解説 グループワークで作成したエッセイの提出	前週配布したプリントのポイントの復習

＊準備学習についての補足説明
・各週の準備学習(予習と復習等)の要する時間は、授業で配布された教材プリントを中心に1時間程度(以上)が望ましい。
・学習内容(完了形や不定詞等)を踏まえ、200～300語程度の英語エッセイをグループワークで作成し期末に提出する。テーマ等詳細は授業で解説します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当教員がプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①期末の単位認定試験(1回)　　80%
②期末に提出するエッセイ　　10%
③学習意欲 (英作などの自発的に発表等)　10%
授業中の怠け(居眠り、スマホ扱い、私語、内職等)が過ぎる場合は学習意欲評価はゼロとなる。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・英語の基礎文法力を身に着けたい、復習したい者、真面目に努力を継続する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング				
韓国語	LP30114	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

韓国語の文字であるハングルの起源や文字の構成を学びます。
文字の読み書きと初歩的な会話ができるよう反復学習を行います。
また、日韓言語の共通性や文化、歴史、ことわざなども学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　ハングル文字を読むことの楽しさを覚えます。
2　点呼時の会話で発音のコツをつかみます。
3　単語や語彙のまめテストにより語彙力を上げます。
4　簡単な会話により自信と意欲を養います

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録I30:N59遺産)として登録されていることを事前検索をすること。
2: 第2課　基本子音字	単語をノートに書き、ふり仮名をふり正しく読む練習をする。 単語の暗記
3: 発音のルール　有声音化	例題をノートに書き、繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4: 濃音	例題をノートに書き、音の違いを理解しながら練習する。
5: 合成母音	例題をノートに書き、口の形を確認しながら発音の練習をする。
6: 終声子音字(パッチム)	テキストの学習内容をしっかり読み理解する。
7: 発音のルール　連音化(リエゾン)	発音ルールを理解して読む練習をする。
8: DVD観賞・感想文	テキストのフレーズを繰り返し練習する。
9: 初対面の挨拶	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
10: 自己紹介 (数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
11: 数詞　漢数詞　日にち	漢数詞を数えて、日にちが言えるよう練習する。
12: 固有数詞　時間	固有数詞を数えて、時間を言う。
13: 曜日　存在詞　助数詞	漢数詞と固有数詞に助数詞を組み合わせを理解する。
14: 代名詞(事物・場所)	
15: DVD鑑賞・感想文　まとめ	

＊準備学習についての補足説明
次回学習単元のフレーズをノートに書きふり仮名つけて提出します。正しい読み方の指導をします。
準備学習は、各回10分程度行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

改定版　韓国語レッスン　初級Ⅰ　スリーエーネットワーク発行
ハングル表①②配布
日常挨拶語録・慣用語のプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)学習の意欲(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

韓国の文化や風土などがわかるDVDを鑑賞します。
予習、復習を必ず行い、習得の意思が強くガッツのある学生の受講を望みます。
授業中の私語、居眠り、スマートフォンの使用は禁止です。

科目名	科目ナンバリング				
企業論	LP30116	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では社会人となって必要となる経済・経営・ビジネスに関する基本的な知識を学ぶ。また、ビジネスの現場で役に立つ知識や働き方も学ぶ。
また、様々な企業の実例(ケース)を学び、理論と実務の両方の観点から物事を見る。

Ⅲ. 学習成果

幅広い分野で役に立つ社会人基礎力を向上させることを目標とする。特に事務系の能力の確認・育成のために授業の最後に毎回事務能力検査の問題を解く。ビジネスは答えがないので、物事を一方的な見方だけでなく様々な視点から考える能力を向上し、社会人として物事を柔軟に考えることができることを目標とする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 会社とは	予習:シラバスを読むこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
2:会社とは 株式会社の概要	予習: 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
3:日本的経営と成果主義 ICTアプリを利用した双方向型の学習を含む	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
4:戦略論から学ぶケーススタディ アパレル業界を例として	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
5:競争の方法 外食産業を例として	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
6:情報の扱い方 企業の情報とSNSの使い方	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
7:様々な商売の形態 フランチャイズを例として	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
8:サービスを考える サービス業を例として	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
9:損益分岐点計算① 基本的な考え方	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
10:損益分岐点計算② 応用	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
11:業界の収益構造 儲けを出す仕組み	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
12:ニーズとブランド	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
13:様々な業界の収益構造	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
14:低価格と0円ビジネス ICTアプリを利用した双方向型の学習を含む	予習:返却された課題の振り返りと課題(補足に記入)を書くこと 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること
15:まとめ	予習: 復習:授業内プリントを確認し、理解度を深めること

＊準備学習についての補足説明
予習の課題に関しては、毎日のニュースを見て関心のあるテーマを取り上げ、それに関する概要と感想を書くものである。
課題の時間は1時間程度の分量である。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、授業ごとにプリントを配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成される。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目での課題は主に毎日のニュースを見る習慣をつけることである。興味のあるニュースをピックアップし、感想を書きます。それに対して担当者よりコメントを付けて返却する。また、重要なニュースや珍しいニュースなどが書かれていた場合、内容を他の学生にも話をし、意見等を共有する。
ICTアプリ「イマキク」を利用し、学生側の意見をリアルタイムで投票してもらいます。教員・学生・学生間の相互のやりとりを行う。

科目名	科目ナンバリング				
日本語文法の基礎 【中級】	LP30118	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
柴藤　絵美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力試験N2レベルの文法を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N2レベルの文法の意味・用法を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 力試し	時や場の領域を表す表現について調べる
2: 時や場の領域を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 進行状態を示す表現について調べる
3:進行状態を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方について調べる
4: 対応関係や比較を表す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 仮定や観点を示す表現について調べる
5:仮定や観点を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 限定して示す表現について調べる
6:限定して示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現について調べる
7:傾向や様子を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 列挙する言い方について調べる
8:列挙する言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方について調べる
9:「わけ」「こと」「もの」を使った言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す言い方について調べる
10:可能・不可能を示す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで勉強した文法を見直す
11:模擬試験 グループワークにて答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す 時や場の領域を表す表現を確認する
12: 総合問題① 時や場の領域を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方を確認する
13:総合問題① 対応関係や比較を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現を確認する
14:総合問題② 傾向や様子を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す表現を確認する
15:総合問題③ 可能・不可能を示す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
次の時間に学習する文法については目を通しておくこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語文法の基礎 【上級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川 藍凛		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

留学生としての日本語能力を総合的に向上させるために、日本語文法の体系を理解し、自らの運用能力をつけるようにする。
履修者の日本語力のレベルや漢字圏の出身者か否かなどに対しての十二分な配慮のうえ、授業を行う。

Ⅲ. 学習成果

1) 日本語の特徴がよく理解出来るよう、日本語の文法構造用法などが身に付く。
2) 履修者の母語から日本語を理解させ、学習上の困難な点が克服出来るよう、支援教材を通して日本語力が付く。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授 業 内 容	準備学習(予習・復習)内容
1:日本語の文構造① 日本語の品詞区分	日本語の品詞についてまとめる
2:日本語の文構造② 日本語の基本文型	日本語の基本文についてまとめる
3:日本語の文構造③ 述語文型文の種類	述語文型についてまとめる
4:日本語の文構造④ 修飾(変形)文の種類	修飾文についてまとめる
5:日本語の文構造⑤ 強調(変形)文の種類	強調文についてまとめる
6:日本語の文構造⑥ 日本語の「重文」構造	重文についてまとめる
7:日本語の文構造⑦ 日本語の「複文」構造	複文についてまとめる
8:日本語の文法構造① 動詞の構造と活用 補助動詞の用法	動詞・補助動詞についてまとめる
9:日本語の文法構造② 副詞・助詞の種類と用法	助詞についてまとめる
10:日本語の文法構造③ 助動詞の種類と用法	助動詞についてまとめる
11日本語の文法構造④ 形容詞・形容動詞の種類と用法	形容詞・形容動詞についてまとめる
12:日本語の文法構造⑤ 数字の種類と用法	数字についてまとめる
13:日本語の文法構造⑥ 接続詞の種類と用法	接続詞についてまとめる
14:日本語の文法構造⑦ 同格・比較・時条件表現の用法	同格・比較・時条件表現の用法についてまとめる
15:日本語の文法構造のまとめ	

＊準備学習についての補足説明
前回の授業内容の振り返りシートを活用し復習を行う。(振り返りシートは必ず提出する(2枚)。—約30分程度)

Ⅴ. 教科書・参考図書

1)教材プリントを配布するかパワーポイントを利用する。
授業に置いて履修者のニーズに応じて、日本語文法書を紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業ごとの小テスト40%、単位認定レポート50%、学習の意欲10%。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業教材プリントの1枚目は授業後必ず提出すること。
2枚目のプリントはファイルに保管し必ず書いて、読んで復習を行うこと。

科目名	科目ナンバリング				
日本語語彙の基礎 【中級】	LP30119	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
戸田 実千子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活、大学生活の語彙を理解し、適切な場面で使用できる。
・JLPT N2に合格できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 覚えてもらえるように印象的に自己紹介することができる。	ことば、文法復習問題
2: 情報誌を読んで、衣食住について最近話題になっていることを知ることができる。	ことば、文法復習問題
3: 結婚に関する記事を読んで自分の考えを話すことができる。	ことば、文法復習問題
4: 今の社会の中で興味を持ったライフスタイル(住居、結婚、ファッション、食事、友達との付き合い方など)についてグループで調べて、まとめる。	ことば、文法復習問題
5: これまでのことば、文法復習、読み物	JLPTN2対策問題
6: テレビ番組を見て、運動習慣と体力にどのような関係があるかについて知ることができる。	JLPTN2対策問題
7: 記事を読んで睡眠に関する情報を知ることができる。	JLPTN2対策問題
8: 自分と同じことに興味を持っている人の体験ブログを読んで情報を得ることができる。	JLPTN2対策問題
9: 今、話題のこと、物が社会でどのように広がっているかを知ることができる。	JLPTN2対策問題
10: イベントの開催地からのリポートを聞いて、情報を得ることができる。	JLPTN2対策問題
11: 投書を読んで自分と異なる習慣などについて理解することができる。	JLPTN2対策問題
12: 異文化適応についての解説を聞き、グラフを見ながら心の変化について理解することができる。	JLPTN2対策問題
13: これまでのことば、文法復習、読み物	JLPTN2対策問題
14: 留学生向けに書かれた就職活動のパンフレットを読んで、内容を理解し情報を得ることができる。	JLPTN2対策問題
15: 働いた経験のある人の仕事の話をクラスメイトと共有する。	

＊準備学習についての補足説明
その日習ったことの復習としてほぼ毎回課題を出します。まずはその日に学習したことばをQuizletで復習してください。
準備学習は毎回約15分行ってください。授業開始時に確認するので、必ず自分でやってから授業に来てください。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50% 課題25% 学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

QuizletはGoogle classroomで共有します。初回の授業で説明します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語語彙の基礎 【上級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
柴藤　絵美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの語彙を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N1レベルの語彙の意味を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	様子・感情などに関する語彙の意味を調べる
2: 様子・感情などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙の意味を調べる
3: 文化・社会などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙の意味を調べる
4: ビジネス・教育などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 副詞・形容詞などの意味を調べる
5: 副詞・形容詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 動詞・名詞などの意味を調べる
6: 動詞・名詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などの意味を調べる
7: 類義語・対義語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などの意味を調べる
8: 擬音語・擬態語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 慣用句・漢字などの意味を調べる
9: 慣用句・漢字など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 様子・感情などに関する語彙を確認する
10: 実践練習① 様子・感情などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙を確認する
11: 実践練習② 文化・社会などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで学習した語彙を見直す
12: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙を確認する
13: 実践練習③ ビジネス・教育などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などを確認する
14: 実践練習④ 類義語・対義語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などを確認する
15: 実践練習⑤ 擬音語・擬態語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
次の時間に学習する語彙については意味を調べておくこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N1語彙スピードマスター」中島智子他(Jリサーチ出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング				
日本語読解・作文の基礎 【中級】	LP30120	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
柴藤　絵美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を読む
・書き言葉としての日本語の文章の書き方を学ぶ
・日本社会についての文章を読み、社会的なテーマについて自ら考える

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を正しく読むことができる
・日本語での表現と作文の力を身に付ける
・日本語の文章を十分に理解することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	読解のポイントについてのプリントを読む
2: 内容理解(短文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
3: 内容理解(中文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
4: 統合理解① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
5: 主張理解(長文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
6: 情報検索① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
7: 内容理解(短文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
8: 内容理解(中文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
9: 統合理解② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
10: 主張理解(長文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
12: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 「言葉の役割」の語彙を調べる
12: 読解「言葉の役割」① 作文「アポイントをとる」	本文を音読する 作文「アポイントをとる」を完成させる
13: 読解「言葉の役割」② 作文「アドバイスを求める」	「イルカと超音波」の語彙を調べる 作文「アドバイスを求める」を完成させる
14: 読解「イルカと超音波」① 作文「伝言する」	本文を音読する 作文「伝言する」を完成させる
15: 読解「イルカと超音波」② 作文「謝る」	本文を音読する 作文「謝る」を完成させる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター」小林ひとみ他(Jリサーチ出版)
「日本語プロフィシェンシーライティング」由井紀久子他(凡人社)
「大学・大学院留学生の日本語1読解」アカデミック・ジャパニーズ研究会(アルク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験40%、課題・小テスト35%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング				
日本語読解・作文の基礎 【上級】	LP30120	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川　藍凛		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力をより向上させるために、日本語の文章を読み理解出来ることと、さらに日本語で表現出来る力を学習する。
日本語の特徴的な文章などを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1. 日本語の理解が十分にできる。
2. 日本語での表現と作文の力が身につく。
3. 日本語を不自由なく使いこなせるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:日本の新聞を読む① 新聞を活用して読み方やその内容について学習する	しっかり新聞を読み、内容をつかむ
2:日本の新聞を読む② 新聞を活用して読み方やその内容について学習する	しっかり新聞を読み、内容をつかむ
3:日本の新聞を読む③ 新聞を活用して読み方やその内容について学習する	しっかり新聞を読み、内容をつかむ
4:日本の新聞を読む④ 新聞を活用して読み方やその内容について学習する	しっかり新聞を読み、内容をつかむ
5:日本の新聞を読む⑤ 新聞を活用して読み方やその内容について学習する	しっかり新聞を読み、内容をつかむ
6:日常生活で接する各種類の文章を読む① 文章形式と表現の仕方を学ぶ	日本語の文章を理解する
7:日常生活で接する各種類の文章を読む② 文章形式と表現の仕方を学ぶ	日本語の文章を理解する
8:日常生活で接する各種類の文章を読む③ 文章形式と表現の仕方を学ぶ	日本語の文章を理解する
9:日常生活で接する各種類の文章を読む④ 文章形式と表現の仕方を学ぶ	日本語の文章を理解する
10:日常生活で接する各種類の文章を読む⑤ 文章形式と表現の仕方を学ぶ	日本語の文章を理解する
11:日常生活で接する各種類の文章を読む⑥ 文章形式と表現の仕方を学ぶ	日本語の文章を理解する
12:日本語のセンテンス構造と基本文型を学ぶ① 原稿用紙の使い方　主述の文型　文体(～である体・～ます体)	原稿用紙の使い方を覚えるようにする
13:日本語のセンテンス構造と基本文型を学ぶ② 原稿用紙の使い方　主述の文型　文体(～である体・～ます体)	文体や文構造を理解する
14:日本語で作文を書く① 課題文を書く	課題文を書く
15:日本語で作文を書く② 課題文を書く	課題文を書く

＊準備学習についての補足説明
前回の授業内容の振り返りシートを活用し、復習を行う。(振り返りシートは必ず提出する(2枚)。ー約30分程度)

Ⅴ. 教科書・参考図書

教材プリントを配布するかパワーポイントを利用する。
授業において履修者のニーズに応じて、日本語文法書を紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業毎の小テスト40%、単位認定レポート50%、学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業教材プリントの1枚目は授業後必ず提出すること。
2枚目のプリントはファイルに保管し必ず書いて、読んで復習を行うこと。
シラバスの内容は受講学生の人数やレベルにより変更になる場合がある。

科目名	科目ナンバリング				
日常日本語会話の基礎 【中級】	LP30121	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
戸田　実千子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活、大学生活の中で適切なことば、文法、表現を使用し、日本語でスムーズにコミュニケーションができる。
・JLPT　N2に合格できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　テレビのニュース番組で調査結果の解説を聞いて、日本の大学生の平均的な生活について知ることができる。	ことば、文法復習問題
2:　親しい人との約束を、事情を説明して断ることができる。	ことば、文法復習問題
3:　今の社会の中で興味を持ったライフスタイル(住居、結婚、ファッション、食事、友達との付き合い方など)についてグループで調べて、まとめる。	発表用原稿完成
4:　グループで発表する	ことば、文法復習問題
5:　気持ちが落ち込んだとき身近な人に状況を話してアドバイスをもらうことができる。	ことば、文法復習問題
6:　新聞の投書を読んで、健康について自分の意見を言うことができる。	ことば、文法復習問題
7:　これまでのことば、文法復習、読み物	
8:　好きな作品(映画・ドラマ・アニメ)の大まかなストーリーと見どころを紹介することができる。	ことば、文法復習問題
9:　大切にしているものについて、修理を依頼することができる。	ことば、文法復習問題
10:　客からの無理な注文に対して、それができない事情を説明し、丁寧に対応することができる。	ことば、文法復習問題
11:　自分の国と日本との違いについて様子や状況を少し詳しく描写することができる。	ことば、文法復習問題
12:　他の人の仕事に対する考えを聞いて、自分の意見を言うことができる。	ことば、文法復習問題
13:　初めて会う人に電話して相手の都合を聞きながら会う約束をすることができる。	ことば、文法復習問題
14:　目上の人にメールで丁寧に依頼することができる。	働いた経験のある人の仕事の話を聞いてくる
15:　聞いたことをもとに働くということについて自分の考えをまとめる。	

＊準備学習についての補足説明
その日習ったことの復習としてほぼ毎回課題を出します。授業開始時に確認するので、必ず自分でやってから授業に来てください。
準備学習は毎回約15分行ってください。発表用の原稿はGoogle　classroomに提出してください。そちらで添削を行います。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

発表50%　課題25%　学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題はグループで発表します。

科目名	科目ナンバリング				
日常日本語会話の基礎 【上級】	LP30121	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
柴藤　絵美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題を聞く
・論理的で説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題の内容を正しく聞き取ることができる
・発表の流れを理解し、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 自己紹介・力試し	必要に応じて指示する。
2: 課題理解① メモをとる練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
3: 課題理解② 発表の構成	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
4: ポイント理解① 発表全体の流れ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
5: ポイント理解② 発表のための基本的な表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
6: 概要理解① 背景説明、問題提起	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
7: 概要理解② 分類の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
8: 即時応答 データの提示	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
9: 統合理解① 定義、割合の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
10: 統合理解② データの説明、解釈	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
11: 模擬試験1回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
12: 模擬試験2回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
13: 変化・経緯を表す表現 発表準備①	未習得の言葉を覚える 発表準備
14: 比較を表す表現 発表準備②	未習得の言葉を覚える 発表準備
15: プレゼン発表	発表の振り返り

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N1聴解スピードマスター」青木幸子他(Jリサーチ出版)
「聴解・発表ワークブック」犬飼康弘(スリーエーネットワーク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験30%、課題・発表40%、学習の意欲30%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や発表に関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング				
文化人類学	LP30102	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山口　正博		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生の皆さんがこれまで身につけた「当たり前」の価値観は日本の文化と社会が色濃く反映されたものである。しかし、その「当たり前」は世界中のどこにでも通用するものではない。本講義では各回のテーマに沿って世界の諸文化を紹介しながら日本文化と比較して相対化させることで、異文化を理解するとともに自文化としての日本を深く知る視線を獲得することを目指す。ただし、近年日本社会における「常識」的価値観を共有できない学生も見られるので、「常識」の確認も行う。

Ⅲ. 学習成果

人類文化の豊かさや深さを知ることで、文化的背景の異なる人々と相互理解を深める姿勢を身につける土台を形成できる。
自分たちの常識を相対視し、日常生活において自らの立ち位置を客観視する力を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　文化人類学とは何か 文化人類学という学問の成立前史から初期学説の展開を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
2:　進化論と伝播主義 文化人類学の初期学説の問題点を把握する	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
3:　機能主義 現代の文化人類学がいかにして成立したのかを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
4:　贈与交換1 贈り物によって人間や集団同士の関係が構築されることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
5:　贈与交換2 贈り物へのお返しがなぜ必要なのか、そのメカニズムを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
6:　アニミズムとシャーマニズム 神霊という存在をめぐる多様な文化を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
7:　儀礼と祭り1 儀礼によって日常や人生が区切られていることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
8:　儀礼と祭り2 集団的な昂揚が日常に活力を与えることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
9:　呪術と宗教 一見縁遠い「呪術」が我々の日常に浸透していることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
10:　神話1 自分たちが何者かを知る思想の原初形態としての神話の機能を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
11:　神話2 無意識の作用によって神話が多用に変化することを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
12:　ジェンダーと親族 「男らしさ、女らしさ」や結婚できる範囲の文化的多様性を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
13:　アクティブラーニング グループ毎に生まれ育った地域の文化について議論し、小レポートを作成する。	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
14:　観光 文化をめぐる「本物」とは何か。観光が文化をどのように扱っているのかを知る。	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
15:　季節的な話題を文化人類学で読み解く 季節的な行事を文化人類学的視点で考察する	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。

＊準備学習についての補足説明
予習に関しては、講義終了時に次のテーマのキーワードを挙げるので、それについて調べて考えておくこと。
復習に関しては、各回1時間程度使ってまとめておくこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書なし。講義時にプリント・資料を配布する。
参考書(購入義務なし):祖父江孝男『文化人類学入門　増補改訂版』中公新書、1990年／綾部恒雄編『文化人類学最新述語100』弘文堂、2002年／関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004年／綾部恒雄・桑山敬己編『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、2010年
※関心あれば大学・公共図書館で探してください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(80%)、授業態度・リアクションペーパーによる学習の意欲(20%)
試験は記述式で正解か不正解かで客観的に点数が出るものに加えて論述問題を出題します。論述問題に関しては事前に告知します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

私語や居眠りは論外ですが、講義を妨害するほどの態度の者は退室を命じることがあります。そうした人は学びたい学生の権利を侵害していることを自覚してください。
また、講義を漫然と聞き、ノートをとるだけでも不十分です。紹介された参考図書を読むなど積極的に学ぶことを望みます。学生の本分として全ての講義に出席することが当然ですので、「何回まで休める」といった態度で臨んだとしても学習効果は期待できないでしょう。講義の理解を深める質問は翌週配布するプリントにも記載し補足説明を行う。試験で不合格の者には成績の講評を伝え、追再試験の指示も行なう。 ※再履修者には通常の履修者よりも高い基準を求めます。
※履修を希望する留学生へ:講義内容は能力試験N2でも難解だと思いますが、外国人だからといって特別扱いはできないことを念頭において履修して下さい。

科目名	科目ナンバリング				
高齢者福祉論	LP30109	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
加来　裕子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高齢期における加齢・障がい等の負のイメージ(マイナス面)にとらわれず、高齢者の特性について理解する。
地域社会における社会貢献や個々の役割について、関心をもつことができるよう多様な理解を進める。
社会構造の変化や社会福祉制度を理解し、高齢者とのかかわり方、支援方法について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

高齢者の特性を理解し、QOL(生活の質)の向上について社会生活を通して考えることができる。
現状にないものを創設するという福祉分野のこれまでの取り組みを知り、地域福祉の担い手としての役割を学生個々が前向きにとらえることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　社会福祉を必要とする社会的背景について考える	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 高齢者の生まれ育った時代背景に関する課題(1)
2:　高齢者の特性について考える(1) ディベート:テーマ「80歳と20歳」4名程度のグループで事前に話し合い、ディベートを行う。	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 高齢者の生まれ育った時代背景に関する課題(2)
3:　高齢者の特性について考える(2)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 高齢期における変化に関する課題(1)
4:　高齢者の健康度と加齢変化(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 高齢期における変化に関する課題(2)
5:　高齢者の健康度と加齢変化(2) ディベート:テーマ「認知症」に関する課題とし、4名程度のグループで事前に話し合い、ディベートを行う。	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 認知症に関する課題
6:　社会福祉制度のしくみ(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 法体系に関する課題
7:　社会福祉制度のしくみ(2)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 社会福祉事業に関する課題
8:　社会福祉制度のしくみ(3)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 社会保障に関する課題
9:　介護保険制度のしくみ(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 介護保険制度に関する課題(1)
10:　介護保険制度のしくみ(2)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 介護保険制度に関する課題(2)
11:　高齢者の暮らしと生活の場	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 生活不安に関する課題
12:　高齢者の生活支援ニーズ	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 独居高齢者に関する課題
13:　高齢者の生活支援方法について(1)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 地域福祉の活動に関する課題
14:　高齢者の生活支援方法について(2)	課題プリントを配布し、授業のなかで説明します。 ボランティア活動に関する課題
15:　まとめ	生活支援方法、課題解決に関する課題レポート提出 単位認定試験に向けての振り返り

＊準備学習についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回30分以上行うこと。詳しい内容・学習方法については、毎回の授業のなかで説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント配布
図書館蔵書の参考図書は、授業のなかで説明します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

配布資料等は、ファイルにまとめ保存してください。課題については、講義内で解説します。
復習として、理解度を確認するために小テストを行います。小テストについての詳細は事前にお知らせします。

科目名	科目ナンバリング				
ビジネス統計	LP30111	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
田中　健吾		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

様々な電子機器がネットワーク接続されていることで、膨大なデータが集積されるようになった。そのデータをビジネスに利用することは不可欠であり、データからビジネスに有益な情報を見出すためには統計学の知識が必要とされる。これまでも、文系・理系を問わず、統計に関する授業は基礎教育として多くの短大・大学で開講されてきた。本科目では、はじめに、各種グラフの復習と数学的な準備から始める。次に、ある集団の統計データから集団の性質を示す代表的な量(平均値、標準偏差、相関係数)について学ぶと共に、それらの計算方法を修得する。最後に、ビッグデータの活用事例についても触れる。

Ⅲ. 学習成果

・平均値、中央値、標準偏差、相関係数などの数値が表す意味を理解できる。
・実際に平均値、中央値、標準偏差、相関係数などを計算できる。
・ビッグデータとその活用事例を知る。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:統計の必要性	統計の有用性について認識する
2:構成比、割合	構成比や割合の意味と計算方法を復習する
3:グラフの理解と作成	円グラフや帯グラフの作成方法を復習する
4:統計調査の手順と事例、母集団と標本	統計調査の方法や母集団、標本の言葉の意味を理解する
5:代表値	代表値の意味と計算方法を復習する
6:ヒストグラム	ヒストグラムの作成方法を復習する
7:一次元データの散らばり度合、偏差と偏差の平均	偏差と偏差の積の平均について復習する
8:分散、標準偏差、データ範囲	分散、標準偏差の意味を復習する
9:分散、標準偏差の計算と利用方法	分散、標準偏差の計算方法を復習する
10:二次元データの散らばり度合と共分散の理解	共分散の意味を復習する
11:相関係数の理解	相関係数の性質について復習する
12:相関係数の計算	相関係数の計算方法を復習する
13:EXCELでの散布図の作成と相関係数の計算	Excelでの散布図の作成方法と相関係数の計算方法について復習する
14:単回帰分析とデータ予測	単回帰分析の意味とExcelでの単回帰直線の求め方、結果の利用方法について復習する
15:ビッグデータ ビッグデータビジネスについて調べた内容を受講者間で共有する	ビッグデータのビジネス利用について各自で調べる

＊準備学習についての補足説明
・授業中に学んだことを着実に復習し、分からないことは次回の授業で積極的に質問すること。
・各自の理解不足を解消するために、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。授業中に配付する資料を用いる。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

筆記試験:75%　課題提出:25%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・出題した練習問題等について、授業中に適宜フィードバックを行います。
・本科目は統計学の入門科目ですので、数学的な内容が中心となります。必要な数学の知識は可能な限り授業中に解説しますので、算数や数学に不安のある方も安心して受講してください。算数や数学の分からないことをこの授業で少しでも解消しましょう。
・一部、授業内容の順番が変更になることがある。

科目名	科目ナンバリング				
天文学	LP30112	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	3・4期		
		形態：	講義	単位：	2単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
平井　正則		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

自然科学の分野のひとつ天文学の身近な事柄である暦、日、天体（惑星など）の動きから季節の星座までを紹介する。
また、学生の年間行事や日常生活など身近な学生生活での暦の原理、地球公転、自転などの天文学の理論を学ぶ
季節の星座を歴史的話題や神話を通して学習し、季節の星座の見つけ方を体得する。
星座案内の要領を学習し、関係する天文学史の事柄や、文化とその変遷を知り、子供、老人たちへの宇宙の案内役になれる基礎を修得する。

Ⅲ．学習成果

子供たちと星座探しのできる正しい知識が備えられる
夜空に現れる天文現象や日々の天体や天体現象について正確な知識を習得できる
必要な天文学の基礎資料（天象暦、太陽、月、惑星、星座など）をどう調べ、日常に役立てるかの方法を学習し、習得できる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:北斗の水くみ（おおくま座、こぐま座）	身近な九州北部海岸の夜空を観察を試みる
2:夜空の観察法	自分の誕生星座を知る、黄道十二宮を順序に注意して覚える
3:暦（カレンダー）の規則としくみ	大学や自分の年間予定表を調べる
4:夏の大三角とはくちょう座	プラネタリウムの活用 以降、毎回、星座の神話、特徴的な星などの天文知識の紹介
5:こと座	星座絵、星座線、神話の学習
6:わし座	星座絵、星座線、神話の学習
7:秋の四辺形とペルセウス座	プラネタリウムソフトの活用
8:ペガスス座	星座絵、星座線、神話の学習
9:アンドロメダ座	星座絵、星座線、神話の学習
10:冬の大三角とオリオン座	プラネタリウムソフトの活用
11:おおいぬ座	星座絵、星座線、神話の学習
12:おうし座	星座絵、星座線、神話の学習
13:春の大三角、大曲線とおとめ座	プラネタリウムソフトの活用
14:ふたご座	星座絵、星座線、神話の学習
15星座学習のまとめとして模擬プラネタリウム会(30分)、結果の議論（約60分）	星座解説者グループ、観客者グループ分けてプラネタリウムを再現。 星座解説の素材選択、解説の要点などを評価・議論し合う。

＊準備学習についての補足説明
各回講義で配布する「星座学習」プリントを机上とか見やすい場所に置いて、日常的に目にして星座絵、星座パターンを覚える

Ⅴ．教科書・参考図書

毎回自作の「星座学習」のプリントを配布、教科書は使わない。
書店で見る多種の暦、星座案内書、天文グッズ（天文スマホアプリ）を紹介するので参考にする

Ⅵ．評価方法と評価基準

季節の星座学習の中間点（後期後半、冬休み）で近在のプラネタリウム館訪問によるレポートや毎回の学習プラントを自分なりに綴じて
小冊子を製作、感想を書いて最終レポートとして、学習効果（80%）を判定。テーマへの関心度、熱心さを重く評価する
特にまとめとしてのプラネタリウム再現によるグループの議論、姿勢を最終評価に加える（20%）

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

日常的に簡単なアンケートを行ったり、それまでの星座学習の記憶検査、レポートの感想を講義の合間や講義前後に時間をみつけて学生にアドバイスする

科目名	科目ナンバリング				
英語	LP30113	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	3・4期		
		形態：	講義	単位：	2単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
谷岡　敏博		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

基礎英語・英文法のやり直しをします。英会話をするにも基本文法は、自分の考えを正確に伝えるにも、相手の発言を理解するのにも必要です。

Ⅲ．学習成果

・英語の基本文法が身につくことが期待できる。更にそれらを活用し平易な英語で自由記述、表現ができることが期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・エッセイをグループワークで作成し協調性、独創性を培うことができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 英語の学習の仕方について。現在の英語力診断クイズと答え合わせをして 現在の自身の英語力を知り、要改善箇所への認識を新たにする。	シラバスをしっかり読んでおく。
2: 時制①（一般動詞の現在形）　＆　基本文法用語(動詞、主語等）の学習	前週の英語診断クイズを想起し自身の弱点の整理をする。
3: 時制②（一般動詞の過去形＆未来形）＆　基本文法用語(動詞、主語等）の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
4: 時制①②の復習　＆　基本文法用語(動詞、主語等）の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
5: 進行形　＆　基本文法用語(動詞、主語等）の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
6: 受身(受動態）　＆　基本文法用語(動詞、主語等）の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
7: 進行形と受身の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
8: 助動詞	前週配布したプリントのポイントの復習
9: 完了形	前週配布したプリントのポイントの復習
10: 助動詞と完了形の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
11: 不定詞	前週配布したプリントのポイントの復習
12: 比較	前週配布したプリントのポイントの復習
13: 不定詞と比較の復習 エッセイ作成についてグループディスカッション	前週配布したプリントのポイントの復習
14: 形容詞と副詞 エッセイ作成についてグループディスカッション	前週配布したプリントのポイントの復習
15: 分詞と動名詞＆試験解説 グループワークで作成したエッセイの提出	前週配布したプリントのポイントの復習

＊準備学習についての補足説明
・各週の準備学習（予習と復習等）の要する時間は、授業で配布された教材プリントを中心に1時間程度（以上）が望ましい。
・学習内容(完了形や不定詞等）を踏まえ、200～300語程度の英語エッセイをグループワークで作成し期末に提出する。テーマ等詳細は授業で解説します。

Ⅴ．教科書・参考図書

担当教員がプリントを配布します。

Ⅵ．評価方法と評価基準

①期末の単位認定試験（1回）　　80%
②期末に提出するエッセイ　　10%
③学習意欲（英作などの自発的に発表等）　10%
授業中の怠け（居眠り、スマホ扱い、私語、内職等）が過ぎる場合は学習意欲評価はゼロとなる。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・英語の基礎文法力を身に着けたい、復習したい者、真面目に努力を継続する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング				
韓国語	LP30114	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

韓国語の文字であるハングルの起源や文字の構成を学びます。
文字の読み書きと初歩的な会話ができるよう反復学習を行います。
また、日韓言語の共通性や文化、歴史、ことわざなども学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　ハングル文字を読むことの楽しさを覚えます。
2　点呼時の会話で発音のコツをつかみます。
3　単語や語彙のまめテストにより語彙力を上げます。
4　簡単な会話により自信と意欲を養います

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録I30:N59遺産)として登録されていることを事前検索をすること。
2: 第2課　基本子音字	単語をノートに書き、ふり仮名をふり正しく読む練習をする。 単語の暗記
3: 発音のルール　有声音化	例題をノートに書き、繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4: 濃音	例題をノートに書き、音の違いを理解しながら練習する。
5: 合成母音	例題をノートに書き、口の形を確認しながら発音の練習をする。
6: 終声子音字(パッチム)	テキストの学習内容をしっかり読み理解する。
7: 発音のルール　連音化(リエゾン)	発音ルールを理解して読む練習をする。
8: 会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストのフレーズを繰り返し練習する。
9: 初対面の挨拶	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
10: 自己紹介 (数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
11: 数詞　漢数詞　日にち	漢数詞を数えて、日にちが言えるよう練習する。
12: 固有数詞　時間	固有数詞を数えて、時間を言う。
13: 曜日　存在詞　助数詞	漢数詞と固有数詞に助数詞を組み合わせを理解する。
14: 代名詞(事物・場所)	
15: DVD鑑賞・感想文　まとめ	

＊準備学習についての補足説明
次回学習単元のフレーズをノートに書きふり仮名つけて提出します。正しい読み方の指導をします。
準備学習は、各回10分程度行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

改定版　韓国語レッスン　初級Ⅰ　スリーエーネットワーク発行
ハングル表①②配布
日常挨拶語録・慣用語のプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)学習の意欲(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

韓国の文化や風土などがわかるDVDを鑑賞します。
予習、復習を必ず行い、習得の意思が強くガッツのある学生の受講を望みます。
授業中の私語、居眠り、スマートフォンの使用は禁止です。

科目名	科目ナンバリング				
フランス語	LP30115	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
藤岡　健		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

フランス語の初歩を学ぶ。その前段階として、綴りと発音から始める。その後、基本的な表現を学びながら、名詞、形容詞についての知も深めていく。
同じアルファベットを使うが、英語と異なる点も多い。だがそれこそが、新たな外国語を学ぶ喜びであり、新たな価値観に触れる入口となるであろう。

Ⅲ. 学習成果

1　フランス語の簡単な会話ができる。.
2　フランスの文化や社会についての知識を得る。
3　多様な価値観を理解する視点ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:.フランス語とはどういう言葉なのか。	日常生活の中で使われているフランス語を探してみる。
2:発音の仕組み 。グループで役割を変えながら挨拶の練習をする。	日本語に入っているフランス語の正確な発音をしてみる。
3:名詞と冠詞(男性名詞と女性名詞)	冠詞を付けた名詞句を音読する。
4:形容詞と副詞	名詞を付けた形容詞を音読し、変化を学ぶ。
5:動詞　Ⅰ(être)	属詞(補語)を付けて、活用を音読する。
6:疑問文と否定文。 モデルの会話の語彙を変えて、役割を変えながら会話をする。	語順に注意しながら、今まで出てきた文で、否定と疑問の練習をする。
7:動詞　Ⅱ(avoir))	活用を学ぶとともに、否定と疑問の練習をする。
8:動詞　Ⅲ(−er動詞) モデルの会話の語彙を変えて、役割を変えながら会話をする。	教科書で取り上げられた動詞の活用を音読する。
9:非人称表現	どのような状況で非人称表現が用いられるか、整理して暗記する。
10:動詞　Ⅳ(−ir動詞)	活用を学ぶとともに、否定と疑問の練習をする。
11:疑問詞	語順と答え方のパターンを整理して暗記する。
12:動詞Ⅴ　(aller) モデルの会話の語彙を変えて、役割を変えながら会話をする。	状況によっての挨拶表現を整理し、暗記する。
13:所有形容詞	様々な名詞を付けて音読する
14:指示表現	様々な名詞を付けて音読する
15:まとめ	品詞、語順に注意しながら教科書を再読する。

＊準備学習についての補足説明
教科書を読み返す時は、音声テキストを聞きながら、音読する。更に、書き取りができるよう繰り返し聞く。週にこれを2時間以上する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『サ・マルシュ？』(駿河台出版社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、小テスト(25%)、学習の意欲(25%)を目安として、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

小テストは返却し、解説を実施する。授業での私語厳禁。教科書付属の音声を聴くこと。

科目名	科目ナンバリング				
経営分析	LP30117	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

就職活動で一番重要なのは、「企業分析・経営分析」です。なぜなら、企業の側に選ぶ権利があり、その企業に雇われる能力が皆さんに備わっていることを示すことが就活では求められるので、その企業のことを知らなければ、どこをアピールしたらよいのか、どこを評価してくれているのかがわかりません。この講座では、間もなく始まる就職活動への支援を念頭に、主に「企業分析・経営分析」の方法をお伝えし、スムーズに就活に迎えることができるようになることを当面の目標としています。

Ⅲ. 学習成果

①基本的な企業分析・経営分析の方法を理解し、現実社会に応用できるようになる。
②就職活動の際に書く履歴書の書き方を理解する。
③面接練習も行い、より実践的な就活支援(例. 業界研修を踏まえた自己アピールの仕方など)を行う。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 就職活動において求められる能力について	予習:シラバスをよく読む。 復習:就活時をイメージする。
2: 企業分析・経営分析とは何か①	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:
3: 企業分析・経営分析とは何か②	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:
4: 貸借対照表・損益計算書について①	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:
5: 貸借対照表・損益計算書について②	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:
6: 財務諸表の見方①	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:
7: 財務諸表の見方②	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:
8: EDINETの活用方法①　※課題1	予習:これまでの復習 復習:EDINETの情報をダウンロードしてみる。
9: EDINETの活用方法②	予習:前回の復習 復習:EDINETの情報をダウンロードしてみる。
10: 練習問題①	予習:これまでの復習 復習:業界研究・企業分析・経営分析を行ってみる。
11: 練習問題②	予習:前回の復習 復習:業界研究・企業分析・経営分析を行ってみる。
12: グループワーク①　※課題2	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:本日の復習
13: グループワーク②	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:本日の復習
14: グループワーク③	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:本日の復習
15: まとめ	予習:これまでの復習 復習:全体のまとめ

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「財務諸表の見方　第13版」 日本経済新聞社編集　日経文庫
参考書:「アナリストのための財務諸表分析とバリュエーション 原書第5版」 S.H.ペンマン著　有斐閣
「新・現代会計入門 第3版」伊藤邦雄著　日本経済新聞出版社
「採用学」服部 泰宏著　新潮新書

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回の授業、期中に回収する課題2回と単位認定試験の結果によって総合的に評価します。
割合は、授業30%、課題20%、試験50%、となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・就活での応用を念頭にこの授業を展開しますが、一般的な経営分析の話ももちろん行いますので、中小企業診断士等の試験の際にも役立つ口座になっています。
・毎回の授業ではその日の授業ノートを回収し、次回返却し、課題も同様に返却します。
・希望者が多く、パソコン室に入りきれない場合は、抽選にて受講者を決定することもありますので、予め了承ください。

科目名	科目ナンバリング				
日本事情	LP30122	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山本　康雄		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本はどのような国なのかを幅広く理解するため、周りを海に囲まれた自然環境、風俗習慣、伝統文化などを通して様々な情報、知識を会得するよう講義する。それによって日本人とは何か、どんな暮らしの文化を育んできたのかを具体的な事例を紹介する。

Ⅲ. 学習成果

日本での日常の生活体験で、それまでの体験との違和感を講義の中で見詰めさせ、自分なりの考えを持たせるように指導する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　自然環境と四季の変化に見る日本人の挨拶言葉	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
2:　年中行事に見る日本人の感性	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
3:　和を尊ぶ日本人の特性	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
4:　少子高齢化の中で移り変わる家族のあり様	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
5:　冠婚葬祭に見る日本人の心	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
6:　生活の中での和服のあり方	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
7:　多様化する食文化の中での和食	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
8:　変容する住まいの和風	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
9:　日本人の文化度を計る国宝と文化財の保存	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
10:　能楽、歌舞伎、文楽に見る伝統芸能	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
11:　熊本城など各地のシンボル城郭の建築美	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
12:　日展を中心に展開する美術文化の広がり	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
13:　博多祇園山笠など祭りで培う日本人の心の活力	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
14:　九州の陶磁史に見る韓国・中国との交流	授業ではレジュメの内容は解説するが、読み上げないので、各自、レジュメを読んで復習をする事。
15:　まとめ。日本人の歴史、文化に対するとらえ方を暮らしの視点から見る	授業ではレジュメ全体の内容を概観、解説するが、各自の日本事情に見る生活文化の視点から議論する。

＊準備学習についての補足説明
レジュメは読みやすくするために使用する漢字にはルビを付ける

Ⅴ. 教科書・参考図書

講義の各項目ごとにレジュメをプリントしてテキストとする。
理解を深めるために画像を多用する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

講義への理解度をみる文章表現力　60%　・　自分の意見の発表表現力　20%　・　学習の意欲(授業態度)　20%
まとめの段階で、日本事情で見てきた日本の暮らしの文化の視点から、何を学んだかを議論する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

テキストに使うレジュメは、後日、使用することがあるので、保存しておくこと。

専　門　科　目

1　　年

科目名	科目ナンバリング				
メジャーガイド	LP40101	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択　指定科目		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
中濵　雄一郎					
坂根　潤樹/加来　裕子/井野　智一郎/青柳　薫子/河野　洋子/田中　健吾		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・メジャーガイドでは、3期からはじまる「メジャー(専攻)」の選択をよりスムーズに行うため、各メジャーの責任者(教員)から、各メジャーの授業内容や関連する資格・検定試験、卒業後の進路について説明を行うことが主な役割である。各「メジャー(専攻)」で1～2コマ解説を行う。
　また、2期からはじまる「系」の選択を行うこともこの授業の目的の一つである。

Ⅲ. 学習成果

①各「メジャー(専攻)」の特徴を理解し、3期以降の「メジャー(専攻)」の選択に役立てられる。
②2期から始まる各「系」の選択のための情報を収集し、本学科での勉強の方向性を決める。
③自分自身のライフプラン(人生設計)をよく考え、進路決定に役立てられる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　合同での説明会	・各担当者の指示に従い準備を行うこと。
2:　一般事務/ファッション	・以下同様
3:　一般事務/ファッション	
4:　ファッション/CG	
5:　ファッションCG	
6:　CG/医療事務	
7:　CG/医療事務	
8:　医療事務/観光	
9:　医療事務/観光	
10:　観光/ブライダル	
11:　観光/ブライダル	
12:　ブライダル/インテリア	
13:　ブライダル/インテリア	
14:　インテリア/一般事務	
15:　インテリア/一般事務	

＊準備学習についての補足説明
・各授業担当者の指示に従い、受講すること。なお、筆記用具は必ず持参すること。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・各担当者より指示があるので、配布物はきちんと保管しておくこと。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・各担当者が評価を行い、すべての評価を合計して最終評価とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・各担当者でフィードバックの方法が異なるため、詳細は授業中に各担当者から説明を行う。
・この授業は、学科の指定科目となっているため1年生は全員受講しなければならない。
・なお、上記の内容に変更がある場合は、授業の中で再度お伝えする。

科目名	科目ナンバリング				
ベーシック簿記	LP41201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、日商簿記3級の内容をベースに、複式簿記を初めて学ぶ学生を対象に、簿記の仕訳、記帳、計算ができるようになるための簿記原理を学びます。複式簿記は、日常の経営活動によって生じる現金や商品売買、貸借関係などを、貨幣額としてとらえて計算を行うところに特徴がある。簿記は企業の財産管理に役立てたり、簿記で計算した数値を企業外部の人たちに情報を開示する役割もある。
このような背景も踏まえて、基礎的な商業簿記の内容を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる
・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる6桁精算表が作成できる
・日商簿記3級の前半の内容が理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:企業の簿記 簿記の目的	予習:シラバスを読むこと 復習:指定の問題集の問題を解くこと
2:簿記の要素 貸借対照表、損益計算書	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
3:取引と勘定	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
4:仕訳と転記	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
5:仕訳帳と元帳	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
6:復習問題 グループワークあり	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
7:試算表	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
8:決算手続きと意味	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
9:決算整理仕訳	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
10:元帳の締め切り	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
11:仕訳帳の締め切り①	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
12:仕訳帳の締め切り② グループワークあり	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
13:現金預金取引	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
14:当座預金・当座借越	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと
15:小口現金	予習: 復習:指定の問題集の問題を解くこと

＊準備学習についての補足説明
基本的に予習は必要ないが、授業内で行ったことは復習として問題を解くこと
復習にかかる時間は1時間程度である。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　　授業の参加態度や発言等により構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内で問題を解く時間を作るため、その際に質問を受け付ける。また、その際に課題のチェックも行う。
高等学校で簿記会計を学んで、日商簿記3級以上の内容を学び、仕訳ができる人は、ベーシック簿記(青柳先生)を受講すること。
毎時間電卓を持ってくること
6回・12回の問題演習の際には、グループワーク形式をとることがある。学生間での教え合いによって学習効果を高める。

科目名	科目ナンバリング				
ベーシック簿記	LP41202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記の科目を学んだ学生を対象に授業を進めます。よって、仕訳ができることを前提に授業を進めます。
毎回の授業では、仕訳を中心に帳簿の作成の基本を学びますが、場合によっては、個人の進度に応じて、問題を解く時間を取り、在学中に日商簿記検定2級・3級の受験を視野に入れた基礎固めを行います。尚、毎回の授業では、問題の答えを発表して頂きます。

Ⅲ. 学習成果

・簿記の計算構造が理解できる。
・日商簿記検定が受験できるように、2級、3級の基礎固めを行う。
・仕訳を理解し、財務諸表が作成できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 企業の簿記 簿記の基本概念	資産・負債・純資産に関する授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
2: 簿記の要素 貸借対照表(資産・負債・純資産)と損益計算書(収益・費用)について	貸借対照表・損益計算書に関する授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
3: 仕訳 現金預金	現金と預金に関する授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
4: 売掛金と買掛金 貸倒引当金	売掛金と貸倒引当金に関する、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
5: 手形 資本金と引出金	資本金と引出金に関する、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
6: 固定資産の減価償却 その他の債権債務	減価償却について、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
7: 8桁精算表 損益計算書・貸借対照表の作成	8桁精算表について、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
8: 銀行勘定調整表 不渡手形、クレジット売掛金	不渡手形、クレジット売掛金につして、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
9: 有価証券について(償却原価法と端数利息の計算) その他有価証券	有価証券につして、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
10: 繰越利益剰余金	繰越利益剰余金について、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
11: 消費税	消費税について、授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
12: 総合問題	授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
13: 総合問題	授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
14: 総合問題	授業時に指示した問題を解いて、○付けをする。
15: まとめ	試験範囲の確認し、これまで配付したプリントの問題のまとめを行う。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、45分以上行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

指定のテキストは無い。毎回の授業で、プリントを配付します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、提出物20%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時には毎回電卓を持参してください。
高等学校である程度学んでいると思います。これまで学んだ知識を生かしながら、自分の進度を確認し、学習を深めてください。

科目名	科目ナンバリング				
ビジネス実務演習Ⅰ	LP41203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
則松　眞由美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

顧客満足(CS)を高める要素の一つに、人によるサービスがある。これは、顧客との円滑なコミュニケーションを図り良好な人間関係を築くことで、企業に対する良い印象を形成し、顧客に満足してもらうことである。ビジネスマナーはコミュニケーション力ともいえる。この科目では、ビジネスでの基本的なマナーを学び、身につける。

Ⅲ. 学習成果

・CSにおける、ビジネスマナーの重要性を理解できる。
・基本的なビジネスマナーの知識と振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:CSとマナー	テキスト第Ⅱ部　第5章「ホスピタリティとサービス」を読んでおく
2:人間関係と印象(身だしなみ、表情、基本姿勢、動作) ペアでお辞儀の実習を行い、互いにチェック・アドバイスをする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(5)動作」までを読んでおく
3:人間関係と話し方、聞き方①	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(6)話し方(7)聞き方」を読んでおく 身だしなみ・基本姿勢等のチェックリストと聞き方実習のコメント表を完成させる
4:人間関係と話し方、聞き方② 自分の声を録音し、チェックする	発音に関するプリントを使用して、練習をする。
5:ことば遣い①(敬語)	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」55ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.1に取り組む
6:ことば遣い②(敬語、接遇用語)	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」65ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.2に取り組む。敬語演習問題(2)のテスト準備をする
7:指示の受け方と報告の仕方① 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	テキスト第Ⅰ部　第5章「仕事の基本」を読んでおく 敬語・接遇用語演習問題のテスト準備をする
8:指示の受け方と報告の仕方②(複数の指示の受け方・報告の仕方) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	指示を受ける、報告をする際の基本的な用語を覚えてくる
9:電話応対① お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う　数名録音する。	取り次ぎの基本的流れを覚えてくる 基本事例を口頭練習し覚えてくる
10:電話応対② お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う　数名録音する。	取り次ぎの応用の流れを覚えてくる 応用事例を口頭練習する
11:来客応対① お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対(受付・取り次ぎ)の基本事例を口頭練習し覚えてくる
12:来客応対② お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対課題に取り組む
13:訪問のマナー	テキスト第Ⅱ部　第4章「来客応対」の他社訪問に関する89～94、96ページを読んでおく
14:交際の業務(贈答など)	テキスト第Ⅲ部　第6章「慶弔・贈答」第2項「贈答の知識」を読んでおく 贈答の金品の包み方のポイントを覚えてくる
15:まとめ	この科目で使用したプリント類をファイリングする 単位認定試験に向けた学習を行う

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと
・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. ビジネス実務　藤村やよい編著　㈱樹村房　　￥2，000＋税
2. プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物、小テスト(25%)　3. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、互いに協力することが求められる。3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:銀行、旅行会社に勤務経験あり。職場での体験をもとにした事例等を使用して、ロールプレイング、問題演習等を行う。

科目名	科目ナンバリング				
日商簿記Ⅰ	LP41204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目は「ベーシック簿記」で学んだ簿記の知識に基づき、日商簿記3級程度の知識と処理能力を身に付ける。11月および2月に開催(予定)される日商簿記3級に向けて焦点を当て、解説と問題を解くことを中心に行う。

Ⅲ. 学習成果

日商簿記3級程度の知識を身に付け、検定試験に合格する水準まで簿記を理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:商品売買の記帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと
2:掛け取引の記帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと
3:手形取引	復習:指定された問題集の問題を解くこと
4:貸倒引当金	復習:指定された問題集の問題を解くこと
5:その他の債権	復習:指定された問題集の問題を解くこと
6:固定資産の記帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと
7:資本の記帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと
8:資本の記帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと
9:商品有高帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと
10:税金の記帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと
11:試算表の作成1	復習:指定された問題集の問題を解くこと
12:試算表の作成2	復習:指定された問題集の問題を解くこと
13:収益・費用の前払い・前受け	復習:指定された問題集の問題を解くこと
14:収益・費用の未収・未払い	復習:指定された問題集の問題を解くこと
15:精算表の作成1	復習:指定された問題集の問題を解くこと
16:精算表の作成2	復習:指定された問題集の問題を解くこと
17:損益計算書・貸借対照表	復習:指定された問題集の問題を解くこと
18:伝票会計	復習:指定された問題集の問題を解くこと
19:総合問題1	復習:指定された問題集の問題を解くこと
20:総合問題2	復習:指定された問題集の問題を解くこと
21:総合問題3	復習:指定された問題集の問題を解くこと
22:総合問題4　グループワークあり	復習:指定された問題集の問題を解くこと
23:精算表問題1	復習:指定された問題集の問題を解くこと
24:精算表問題2	復習:指定された問題集の問題を解くこと
25:精算表問題3　グループワークあり	復習:指定された問題集の問題を解くこと
26:過去問題演習1	復習:指定された問題集の問題を解くこと
27:過去問題演習2	復習:指定された問題集の問題を解くこと
28:過去問題演習3	復習:指定された問題集の問題を解くこと
29:過去問題演習4　グループワークあり	復習:指定された問題集の問題を解くこと
30:過去問題演習5　グループワークあり	復習:指定された問題集の問題を解くこと

＊準備学習についての補足説明
基本的に予習は不要である。復習として毎時間、問題集の問題を指示する。
復習にかかる時間は毎時間1時間程度の分量である。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ベーシック簿記で使用した教科書及び問題集を使用する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　受講態度や発言などにより構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内での質問に答える形とする。その時間は毎時間設ける。
積み重ねの授業のため、原則欠席はしないこと。
原則として2期の「ベーシック簿記」を受講したもの、簿記の経験があるものが対象となる。
22回、25回、29回、30回の問題演習では、グループワークの形式をとり、学生間での教えあいをすることによって学習効果の向上を図る。

科目名	科目ナンバリング				
日商簿記Ⅰ	LP41205	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記会計の科目を学んだ学生を対象に、2期のベーシック簿記(経験者クラス)に引き続き授業を行う。よって、仕訳ができることを前提に授業を進めます。この授業では、主に日商簿記検定の過去問題集を解き、2月の検定受験へ向けて準備を進めます。
また、分からない箇所や出題頻度の高い箇所は、重点的に説明することがありますが、基本、授業では問題を解きます。
2級の受験者に対しては、商業簿記・工業簿記の両方を行います。

Ⅲ. 学習成果

・日商簿記検定2級・3級の過去問題が解けるようになる。
・過去問題を解くスピードを身に付ける。
・連結会計を理解する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　2期の復習	シラバスを確認する。 授業中に解いた仕訳の問題を復習する。
2:　日商簿記検定第154回の問題を解く	第154回問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
3:　日商簿記検定第153回の問題を解く	第153回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
4:　日商簿記検定第152回の問題を解く	第152回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
5:　振り返り、第2回から4回までの振り返り グループワーク:問題を解いての感想と今後の方向性	振り返りで、出来なかった問題を再度解く。
6:　日商簿記検定第151回の問題を解く	第151回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
7:　日商簿記検定第150回の問題を解く	第150回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
8:　日商簿記検定第149回の問題を解く	第149回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
9:　振り返り、第5回から8回までの復習 グループワーク:問題を解いての感想と今後の方向性	振り返りで、出来なかった問題を再度解く。
10:　日商簿記検定第148回の問題を解く	第148回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
11:　日商簿記検定第147回の問題を解く	第147回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
12:　日商簿記検定第146回の問題を解く	第146回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
13:　日商簿記検定第145回の問題を解く	第145回の問題を解き、出来なかった問題を再度解く。
14:　これまでの復習 計算力を身につけよう。	配付された実践問題を解く。
15:　まとめ	シラバスをみて振り返る。 これまでに解いた問題を見直す。

＊準備学習についての補足説明
・毎回の授業の時間で解けなかった問題は、準備学習の時間の中で解いてください。準備学習は、各回45分以上行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

新ドリル式　日商簿記検定　　専門学校CPA会計学院　　税務経理協会
(初回の授業時に指示します。)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、提出物20%、学習への意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

日商簿記検定の受験を前提に授業を進めていきます。分からないところは、どんな些細なことでも質問してください。頑張りましょう。
授業では、必ず予習をしてのぞむこと。内容の説明は各自読み、授業時間で問題を解くという反転学習で進めます。
上記の内容を30回で実施します。

科目名	科目ナンバリング				
人的資源論	LP41206	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では会社での働き方や様々な制度などを学びます。
また自分にとって働くことはどのようなことか、また会社(業界)と組織の両方を知ることで、自分がどのような仕事に向いているかを確認します。
そのために様々な業界についても学習します。

Ⅲ. 学習成果

会社(業界)、人事・報酬制度や人材マネジメントを理解し、どのような会社に就職したいかということに自分の意見を持って選択できるようになることを目標とします。また、会社での働き方やトラブルについて学ぶことで社会人になって苦境に陥った時に自分で対処できる知識を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 自分の現状と社会の現状を知る	予習:シラバスを読むこと 復習:テーマに沿った課題の完成
2:ブラック企業とは 劣悪な労働条件を考える	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
3:ブラック企業・ホワイト企業・グレー企業 自分にとっての良い会社、悪い会社	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
4:正規雇用と非正規雇用 ICTアプリを利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
5:労働問題に関する政府の対応	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
6:アパレル業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
7:会社でやってはいけないこと 会社の懲罰	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
8:小売業界の働き方①	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
9:多様化する働き方 限定社員(地域職)の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
10:ブライダル業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
11:金融業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
12:福利厚生 ICTアプリを利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
13:旅行業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
14:セカンドキャリア ICTアプリを利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
15:Eコマース BtoBからCtoCへ	予習: 復習:

＊準備学習についての補足説明
テーマに沿った課題を課します。ほとんどが事後課題となります。課題にかける時間は30分から1時間程度を予定しています。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、毎時間プリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート課題(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、点数や評価を付けて返却します。また、良い課題は全員で共有するため演習内で報告します。
ICTアプリ「イマキク」を利用し、学生側の意見をリアルタイムで投票してもらいます。教員・学生・学生間の相互のやりとりを行う。

科目名	科目ナンバリング				
パーソナルファイナンス	LP41207	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

パーソナルファイナンスとは、個人のお金周りの管理に関する知識や技能を指す。人は企業とは異なり、ライフサイクルを持ち、人生における各ステージで考えるべき内容は当然異なる。将来の老齢年金の受取額が現在の高齢者より少なくなることが確実な中、自らのライフスタイルを考え、世の中にある金融商品をうまく活用し、豊かなライフプランを描く能力が必要とされている。本講座では、ファイナンシャルプランナー技能検定のテキストを使い、自分自身のライフプランを考えることから始め、自分自身の将来のお金周りについて考える機会を提供する予定である。

Ⅲ. 学習成果

①自分自身のライフプランを描き、自らのお金周りと合わせて検討できるようになる。具体的には、キャッシュフロー表を自ら作成できるようになる。
②人生の「貯め時」、「耐え時」を理解し、世の中の金融商品をうまく使うことで、自分の人生をより豊かにできることを理解する。
③人生の三大支出への備えを若い時に済ませることの重要性を理解することで、日々の細かな無駄な支出を抑制することができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション パーソナルファイナンスとは何か？	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:配布資料の要点をまとめておくこと。
2: FPの基礎知識 経済・心理・情報	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:新聞・テレビ等を活用し、情報収集を行う。
3: ライフプランニングと資金計画① 人生の三大支出	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:自分の人生の資金計画を考えてみる。
4: ライフプランニングと資金計画② 社会保険	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
5: タックスプランニング① 所得税	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
6: タックスプランニング② 法人税他	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。。 復習:本日の復習
7: リスクマネジメント① 保険制度とは	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
8: リスクマネジメント② 第3分野とは	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
9: 金融資産運用設計① 金融・経済の基礎知識	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
10: 金融資産運用設計② 株式・債券とは	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
11: 金融資産運用設計③ ポートフォリオ運用とは	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
12: キャッシュフロー表①　※パソコン室を活用　課題の作成	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
13: キャッシュフロー表②　※パソコン室を活用	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習
14: キャッシュフロー表③　※パソコン室を活用	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:本日の復習。
15: まとめ　課題の提出	予習:課題の完成。 復習:5期からの学びに向けて、再度全体を振り返ること。

＊準備学習についての補足説明
・求める準備学習は各回異なるので、担当者の指示に従い、予復習及び課題の作成を行うこと。
・為替レート、金利、株価なども定期的に尋ねる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書 「ファイナンシャル・プランニング入門-for Students-〔第5版〕」 日本FP協会　監修
参考書 「ファイナンス論」 有斐閣　大村敬一著
「'20-'21年版みんなが欲しかった！　FPの教科書　3級」 TAC出版　滝澤ななみ著
「これでわかった！ファイナンス」 PHP新書　永野良佑著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　50%、課題1回　20%、学習の意欲　30%
・受講態度には、毎回回収するプリントについて指定されたとおり記入しているかどうか等も含まれる。
・定期的に、為替レート、金利、株価について尋ねるので、新聞やネットで日々確認する習慣を身につけて欲しい。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収するプリントは、次回の講義の際に返却を行う。
・毎回回収するプリントは、必要に応じてコメントをつけて返却する。
・私語・スマートフォンの私的利用は禁止しており、減点の対象とする。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。

科目名	科目ナンバリング				
医療保障制度	LP42201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
中村　則子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

医療保障制度の基本的なしくみや診療報酬の請求、支払いの流れなどの知識の習得を目標とする。
医療事務職にとって必要な医療制度にかかわる関係法規について学び、医療事務職としての業務を遂行するために必要な基礎づくりを行う。
3・4期に学習する「診療報酬請求事務」や2年次1・2期に学習する「調剤報酬請求事務」の授業に必要な基本知識が定着し、活用できるようになる。

Ⅲ．学習成果

・医療保障制度や診療報酬のしくみ、医療事務の流れを理解できるようになる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の授業への導入となる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:医療保障制度の概要 医療機関の概要と医療保険のしくみ、医療機関と薬局との関係	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P11を解く。
2:医療保障制度の基礎知識1 （医療保険のしくみ／医療保険の種類）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P23,24を解く。
3:医療保障制度の基礎知識2 （保険給付／給付割合と患者負担／高額療養費／保険外併用療養費）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P36を解く。
4:医科・歯科での医療事務の業務内容 （日常業務／請求事務）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P52,53を解く。
5:調剤薬局での医療事務の業務内容 （日常業務／請求事務）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P68を解く。
6:公費負担医療制度の概要 （制度の種類／制度のしくみ）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P86を解く。
7:医療関係制度 （労災保険／介護保険）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P100を解く。
8:受付事務の基礎知識 （被保険者証の見方、窓口徴収について）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 貴女の保険証を調べてみよう。
9:診療録（カルテ）の上書き 診療報酬請求・審査・支払の流れ（レセプトオンライン化）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 診療録（カルテ）の上書きを書いてみよう。
10:医療事務スタッフとしての心構え グループワーク:「医療事務スタッフの心構」をグループで考え、まとめる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題P108を解く。
11:保険医療機関及び保険医療養担当規則（医科・歯科）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 規則の要約を作成する。
12:保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則（調剤薬局）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 規則の要約を作成する。
13:診療報酬の算定方法1（点数表の見方・読み方）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 診療報酬の算定をしてみよう。
14:診療報酬の算定方法2（カルテの見方・読み方）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 診療報酬の算定をしてみよう。
15:まとめ	医療保障制度のしくみを理解し、診療報酬の算定をしよう。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。

Ⅴ．教科書・参考図書

1．医療事務講座　テキスト1「医療保障制度」（ソラスト）
2．配布プリント

Ⅵ．評価方法と評価基準

1．単位認定試験（60%）　2．提出物（25%）　3．学習の意欲（15%）

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

1．第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2．授業中の私語・居眠り・スマートフォンなどの使用、テキスト忘れは減点の対象とする。
3．課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング				
医療の基礎知識	LP42202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
加来　裕子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、医療事務従事者に求められる知識として、人体の基本的な構造と機能、代表的な疾患および、その検査・治療法について解説します。
各器官系の役割と正常な状態から、それぞれの病状を説明します。また、医療倫理をはじめ、多職種と連携が取れるよう理解を深めます。

Ⅲ. 学習成果

基本的な医学用語について習得できる。
代表的な疾患の概要、検査・治療方法について理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　人体の基本的構造について	講義ごとに、課題や小テストを行います。 身体の部位の名称に関する課題
2:　人体の機能と疾病の成り立ちについて(1)	講義ごとに、課題や小テストを行います。 診療科に関する課題
3:　人体の機能と疾病の成り立ちについて(2)	講義ごとに、課題や小テストを行います。 専門用語に関する課題
4:　運動器疾患 (以下の講義にて解剖生理、主な疾患の概要、症状、検査、治療法を解説)	講義ごとに、課題や小テストを行います。 運動器に関する課題
5:　脳・神経疾患(1) ディベート:テーマ「脳機能」に関する課題とし、4名程度のグループで事前に話し合い、ディベートを行う。	講義ごとに、課題や小テストを行います。 脳神経系疾患に関する課題
6:　脳・神経疾患(2)	講義ごとに、課題や小テストを行います。 脳神経系疾患に関する課題
7:　感覚器疾患	講義ごとに、課題や小テストを行います。 視覚に関する課題
8:　循環器疾患	講義ごとに、課題や小テストを行います。 循環器疾患に関する課題
9:　血液疾患、免疫アレルギー	講義ごとに、課題や小テストを行います。 免疫疾患に関する課題
10:　呼吸器疾患	講義ごとに、課題や小テストを行います。 呼吸器疾患に関する課題
11:　消化器疾患	講義ごとに、課題や小テストを行います。 消化器疾患に関する課題
12:　腎・泌尿器疾患、内分泌疾患	講義ごとに、課題や小テストを行います。 内分泌疾患に関する課題
13:　産婦人科疾患、小児科疾患	講義ごとに、課題や小テストを行います。 生殖器に関する課題
14:　感染症について	講義ごとに、課題や小テストを行います。 感染症予防に関する課題
15:　まとめ 小テストの復習	単位認定試験へ向けての振り返り

＊準備学習についての補足説明
常日頃から、現在の医療を取り巻く問題について、新聞やテレビ、インターネット等で関心を持つよう心がけてください。
予習・復習等の学習は、各回30分以上行うこと。詳しい内容・学習方法については、毎回の授業のなかで説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『人体のしくみと病気がわかる事典』奈良 信雄 (監修)　西東社、本体1,800円+税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　課題レポート・小テスト(30%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

配布資料等は、ファイルにまとめ保存してください。
課題については、講義内で解説します。
「実務経験教員科目」特記事項:医療従事者(看護師資格)としての勤務経験を活かし、事例や医療現場の状況を踏まえ解説を行います。

科目名	科目ナンバリング				
医療事務	LP42203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
北嶋　栄美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療事務とは、病院、医院、クリニックなどでの事務の仕事です。
授業では、医療保険制度の仕組み、診療録(カルテ)から診療報酬(診療にかかった費用)の算定と会計欄の書き方を学びます。

Ⅲ. 学習成果

私たちが診察を受けた場合に窓口で支払う金額のおおよその計算ができるようになり、領収書や診療明細書の内容がわかるようになります。
日本医療事務協会主催の医療事務検定試験の受験ができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　医療事務とは 受付、料金計算、会計、月末請求	
2:　基本診療料 初診料と再診料の算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
3:　特掲診療料 医学管理料・在宅医療料の種類と算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
4:　投薬料(1) 院内処方と院外処方の算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
5:　投薬料(2) 薬剤の区分と剤型　薬価と薬剤料	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
6:　注射料、処置料(1) 種類と算定のルール、診療報酬点数表の引き方と読み方	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
7:　処置料(2)、リハビリテーション料 種類と算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
8:　手術料、麻酔料 種類と算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
9:　検査料(1) 検体検査の種類と算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
10:　検査料(2) 生体検査の種類と算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
11:　病理検査、画像診断(1) 種類と算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
12:　画像診断(2) 種類と算定のルール	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
13:　入院料(1) 入院の費用、入院時食事療養費	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
14:　入院料(2) 外来と入院との算定方法の違い	授業で学習した項目のテキスト、サポートブックの見直しをして下さい。 授業中に完成できなかったカルテ問題集を仕上げておいてください。
15:　入院料(3) まとめ	

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、毎回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

医療事務講座(医科)テキスト1.2.3.5　ソラスト
医科診療報酬点数表　社会保険研究所
カルテ問題集、カルテ問題集解答　日本医療事務協会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(100%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

小テストを実施し、理解度の確認をします。返却の際、コメントをします。
授業中のスマートフォンの使用は減点の対象です。
受講するにあたって、電卓、マーカー、インデックスが必要です。

科目名	科目ナンバリング				
医療概論	LP42204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
中村　則子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

日本の医療機関の機能と現状を把握し、実際に行われている医療事務職が行う業務や取組、医療倫理などについて学ぶ。
また、医療事務職にとって必要な「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の知識を深めることを目的とする。

Ⅲ．学習成果

・医療機関や医療事務職の特性を理解できる。
・医療機関での基本的な事務職の業務の心得を身につけることができる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」に必要となる薬の知識を身につけることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:医療概論の授業の進め方と評価方法 患者（家族）は医療機関に何を望んでいるのか	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者の心理を理解する。
2:医療機関とは 医療機関の定義、組織とチーム医療、医の倫理	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の種類とその特徴やさまざま職種を調べる。
3:医療機関の経営と管理 診療情報管理、医療関係法規	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療関係法規の内容を理解する。
4:医療機関の環境整備	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の環境整備について考える。
5:医療の基礎知識 患者の移動、病院の環境、体位、診察介助、緊急時の対応、車いすの対応実習	医療事務職として行わなければならない緊急時の対応を考える。
6:医療機関の医療・患者サービス	医療機関で実際に行われているサービスについて調べ、まとめる。
7:健康管理とストレスコントロール	貴女自身のストレスコントロール方法を考える。
8:医療事故の実例と防止対策	医療機関で実際に起こる事故について考える。
9:医療情報の理解	医療情報にはどのような物があるか考える。
10:医療文書の知識	診療情報提供書を作成する。
11:医薬品の基礎知識① 医薬品の定義、医薬品の種類、医薬品の名称	身近な医薬品からその名称や種類を調べ、まとめる。
12:医薬品の基礎知識② 薬価基準表の見方、薬の剤形	身近な医薬品から剤形を調べ、まとめる。
13:医薬品の基礎知識③ 薬の投与方法	身近な医薬品から投与方法を調べ、まとめる。
14:薬物治療の概要 薬の作用と適用	身近な医薬品から効能などを調べ、まとめる。
15:まとめ、医療機関の現状と今後の課題	医療機関で働くうえで必要とされる心得をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。

Ⅴ．教科書・参考図書

1．現代医療秘書　役割と実務　　中村健壽監修　　西文社　　￥2，000＋税
2．医療機器安全実践必携ガイド　医療概論編　　一般社団法人　日本医療機器学会
3．配布プリント

Ⅵ．評価方法と評価基準

1．単位認定に係わるレポート提出（50%）　2．通常授業の提出物（35%）　3．学習の意欲（15%）

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

1．第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2．授業中の私語・居眠り・スマートフォンなどの使用、テキスト忘れは減点の対象とする。
3．課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング				
医療秘書実務	LP42205	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
中村　則子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療機関おける医療秘書の役割や基本的な秘書的業務内容について学ぶ。
医療事務職として、他の医療従事者や患者(家族)に親しまれ信頼されるような、対応力(コミュニケーション力)を身につける。

Ⅲ. 学習成果

・医療機関や医療秘書の特性を理解できる。
・患者やその家族の心理状態を理解できる。
・医療現場での基本的な秘書的業務の知識や一般的な患者対応を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:医療秘書とは何か 医療秘書の歴史、国際比較、形態と役割	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療秘書の業務効率のために必要な資質や能力を考える。
2:医療秘書のコミュニケーション 患者とのコミュニケーション、スタッフ間のコミュニケーション	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者・スタッフ間のコミュニケーションに必要なことを考える。
3:職場でのマナー 医療従事者としての心構え、身だしなみ、挨拶・言葉遣い	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療秘書として適切な言葉遣いを考える。
4:敬語、指示と報告	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 仕事の指示の受け方と報告の仕方を考える。
5:接遇①　来客応対、患者応対の基本とそれぞれの違い	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 来客と患者対応に必要な言葉遣いの違いを考える。
6:接遇②　患者応対、クレーム対応	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者の受付と会計時の対応を考える。
7:接遇③　来客応対、患者応対 それぞれの応対の注意点を確認しながら、実習を行う	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 さまざまな患者への対応や配慮を考える。
8:電話応対①　院内・外との電話応対	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 電話対応の仕方、電話メモを作成する。
9:電話応対②　患者(家族)との電話応対の実習	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者に電話をかける時の注意点を書きだす。
10:文書処理 医療機関における文書、文書作成、文書の受発信	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 同音異義語と類義語について、それぞれの違いを調べる。
11:情報管理 情報の収集と管理、ITの活用、患者への情報開示	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療に関する情報を収集して、要点をまとめる。
12:スケジュール管理 スケジュール表の作成と管理の要領、医療機関における会議について	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医局のスケジュール表を作成する。
13:出張業務 医療秘書が行う業務、旅程表の作成と管理	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 出張予定の変更に際しての対応を考える。
14:慶弔・贈答の知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 今までに配布したプリントや提出物を整理し、ファイリングする。
15:研究の補助業務、まとめ	医療秘書として必要な業務内容をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 現代医療秘書　役割と実務　　中村健壽監修　西文社　　￥2，000＋税
2. 配布プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物(25%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2. 授業中の私語・居眠り・スマートフォンなどの使用、テキスト忘れは減点の対象とする。
3. 授業で配布したプリントは最後にファイリングして提出するので、保管しておくこと。
4. 課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング				
Excel演習	LP50201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
三尾　直美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般(表作成、関数の理解と使用、テーブルの作成とデータの検索、種々の書式設定、種々のグラフ作成)をマスターし、見た目にもわかりやすい数表やグラフを作成できるようにする。

Ⅲ. 学習成果

Excelの基本オプションの設定や印刷の為の諸設定ができるようにする。
表計算ソフトの基本機能--データの入力、集計、検索、グラフ作成などが、完全にできるようにする。
Excelで使う数式の作成や、主要な関数の意味を理解し、適切に使用できるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:テンプレートの利用	使えるテンプレートを選び、使用して印刷
2:課題印刷の為のページ設定	フッタの設定他、印刷の為の設定を確認する。
3:ファイルのインポート、テーマや透かしの設定	課題(教科書1-1の問題)復習
4:行・列の設定、ワークシートの設定	課題(教科書1-2の問題)復習
5:windowの分割、window枠の固定	課題(教科書1-3の問題)復習
6:クイックアクセスの設定、リボンのカスタマイズ	課題(教科書1-4の問題)復習
7:データの挿入と書式の諸設定(フォント、罫線等)	課題(教科書2-1～2-2の問題)復習
8:マクロの作成、PDFファイルとしての保存	課題(教科書2-3の問題)復習
9:テーブルの作成	課題(教科書3-1～3-2の問題)復習
10:テーブルを使っての集計、フィルタリング	課題(教科書3-3の問題)復習
11:数式の作成(四則演算の式、基本的関数)	課題(教科書4-1～4-2の問題)復習
12:論理関数(if,sumif,countif)の使用	課題(教科書4-3の問題)復習
13:文字列関数(left,right,mid,concatenate等)の利用	課題(教科書4-4の問題)復習
14:グラフ作成、グラフ各部の書式設定	課題(教科書5-1～5-2の問題)復習
15:プレゼンテーション　作成したポスター又はカレンダーを、クラスで披露し、どのようなテクニックを使ったかを解説する。	教科書を参照して、ポスターやカレンダーを作成する。

＊準備学習についての補足説明
授業中に終われなかった、あるいは理解が不十分な練習課題があれば、居残り、又は、空き時間に、同じPC室で練習する事。
長くても、1時間程度で完了できると思われる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

日経BP社　MOS攻略問題集2013 第2版　￥1,800＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回の課題提出50%　　実技試験 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業で演習をした後、次回の授業の前に、復習をしておく。また、教科書に載せられている各機能の解説を、予習、または復習としてよく読んでおく。(授業時は、演習が中心なので、機能説明を授業時だけで完全に理解するのは、難しいことがある)

科目名	科目ナンバリング				
Word演習	LP50202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

情報リテラシーの授業で学んだことを基礎に課題の作成を通してWordの基礎から応用までを学びます。
授業では4期開講のWord検定対策講座に繋ぐことができるよう検定の内容も重視して授業を行います。
また、Wordの文書作成機能以外の色々な便利な機能についても指導を行います。毎回、タイピング・入力練習を行う予定です。

Ⅲ．学習成果

wordを使いこなせるようになります。Wordで正確なビジネス文書の作成ができるようになります。地図や組織図、表、チラシなど身の回りで役に立つ文書の作成ができるようになります。正確で速いタイピングのスキルが身につきます。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:授業内容の説明・USBフラッシュメモリの使い方・便利なファイル操作の方法 タイピング練習①	授業終了時に宿題について指示をする タイピング宿題①（タイピング練習を行い結果を記録する）
2:Wordの基本操作①（文字入力・印刷） タイピング練習②	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 入力宿題①（入力を行い、保存・印刷しておく）
3:Wordの基本操作②（編集機能） タイピング練習③	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 入力宿題①（入力を行い、保存・印刷しておく）
4:色々な形式の文書の作成① タイピング練習④　　※入力宿題①提出	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 入力宿題②（入力を行い、保存・印刷しておく）
5:ビジネス文書の作成方法 入力練習①	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 入力宿題②（入力を行い、保存・印刷しておく）
6:授業5回目までのまとめ（復習課題①）・表作成の基礎 タイピング練習⑤　　※入力宿題②提出	復習課題①が未完成の場合は完成しておく（保存・印刷）
7:表作成に関する色々な機能と練習問題（検定問題・見積書） 入力練習②　　※復習課題①提出	今までに未提出の課題がある場合は完成して提出する
8:図形機能の基礎と図形を使った地図の作成（検定地図・色々な地図） タイピング練習⑥	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 「しりとり」を完成する（保存・印刷）
9:テキストボックスの利用方法（お弁当のチラシ・旅行のお知らせ） 入力練習③	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 「しりとり」を完成する（保存・印刷）
10:コピー機能の利用方法（領収書） タイピング練習⑦　※「しりとり」提出	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布）（USBに元文書） 「連絡網」を完成する（保存・印刷）
11:授業11回目までのまとめ（復習問題②）・差し込み印刷・段組み 入力練習④	「連絡網」を完成する（保存・印刷）（USBに元文書） 復習課題②が未完成の場合は完成しておく（保存・印刷）
12:wordで図と絵を描く（SmartArt・シェイプアート） タイピング練習⑧　※「連絡網」・復習問題②提出	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 「シェイプアート」の課題を完成する（保存・印刷）
13:wordとExcelを組み合わせて使う方法（カレンダーの作成） 入力練習⑤	授業終了時に宿題について指示をする（プリント配布） 「シェイプアート」課題を完成する（保存・印刷）
14:単位認定試験内容の説明 ※「シェイプアート」課題提出	試験問題をもう一度作成し完成する(保存・印刷) 今までに未提出の課題がある場合は完成して提出する
15:まとめの問題・課題集の作成　※完成した試験問題の提出	課題集は決められた期日までに必ず提出する

＊準備学習についての補足説明
未提出の課題の完成・タイピング練習・宿題の完成など1日30分程度はWordを利用する時間を作ってください。

Ⅴ．教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成の資料を毎回配布します。

Ⅵ．評価方法と評価基準

単位認定試験（実技）40%　提出課題　40%　宿題20%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

課題の提出・未提出に関しては毎授業ごとに確認できるようにします。
提出した課題はチェック後返却します。（課題集を作成しますので返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。）
日本語ワープロ検定・MOSのword検定の受験を希望する学生はこの科目を履修しWordの基礎を身につけて欲しいと思います。

科目名	科目ナンバリング				
ファイナンシャルプランナーⅠ	LP50203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では、ファイナンシャルプランニング技能士3級(日本FP協会主催)を取得することを目標とします。ライフプランニングから資産設計やリスクマネジメントまで幅広い知識を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

ファイナンシャルプランニング技能士3級程度の知識を身に付ける。また、お金に関する基本的な知識を身に付ける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:ライフプランニングと資産形成① キャッシュフロー表	予習:シラバスを読むこと 復習:指定された問題を解くこと
2:ライフプランニングと資産形成② 社会保険	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
3:リスクマネジメント① 保険の基本、生命保険	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
4:リスクマネジメント② 損害保険、その他保険	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
5:金融資産運用① 金融・経済の基本	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
6:金融資産運用② 債権、投資信託	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
7:金融資産運用③ 金融商品	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
8:タックスプランニング① 所得税	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
9:タックスプランニング② その他税金	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
10:不動産① 不動産の基本と取引	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
11:不動産② 不動産の税金	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
12:相続・事業承継① 相続	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
13:相続・事業承継② 贈与	予習:指定された範囲の教科書を読むこと 復習:指定された問題を解くこと
14:総合問題 グループワークあり	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること
15:総合問題 グループワークあり	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること

＊準備学習についての補足説明
基本的には決められた範囲の教科書を読むこと。また、復習も重要なため、問題を解くこと。
予習復習にかかる時間は各回1時間程度の分量である。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「みんなが欲しかった！FP3級の教科書2017-18年版」 滝澤ななみ　TAC出版　1,500円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　授業の参加態度による加点と私語などによる減点

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

問題の答えを配布するとともに、授業内で問題を解く時間を設ける。その際に、間違えた箇所などの質問に応じる。
14回・15回の問題演習の際には、実技の試験をグループワーク方式で解くことがある
受講者は、原則として1月の日本FP協会主催のFP3級を受検すること

科目名	科目ナンバリング				
ブライダル業務Ⅰ	LP43201	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	3期		
		形態：	講義	単位：	2単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	○

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

婚礼は人生の通過儀礼の中でも最も重要なものの一つであり、その儀礼には伝統、文化や“衣“”食”も深く関わっています。
更に近年では結婚式・披露宴が個性化、多様化し、結婚準備が非常に煩雑になっている事実を鑑みて正しくきちんとした基礎知識を学びます。

Ⅲ．学習成果

1．婚礼の歴史や成り立ち、業務を総合的に理解する。
2．2018年度より国家資格となった《ブライダルコーディネート技能検定》の取得を目指します。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:Lesson1　結婚とは 第1章　結婚の定義～第2章　日本の結婚式：歴史と文化	テキストを読みノートをまとめる
2:Lesson1　結婚とは 第3章　欧米の結婚式：歴史と文化	テキストを読みノートをまとめる
3:Lesson2　ブライダルビジネス 第1章　ブライダルビジネス～第3章　ブライダル業種	テキストを読みノートをまとめる
4:Lesson2　ブライダルビジネス 第4章　ブライダル関連業種～第6章　ブライダル業界の1年と集客システム	テキストを読みノートをまとめる
5:Lessno3　ブライダルの基礎 第1章　見合いと婚約～第2章　結納・婚約式	テキストを読みノートをまとめる
6:Lesson3　ブライダルの基礎 第3章　ブライダル準備	テキストを読みノートをまとめる
7:Lesson3　ブライダルの基礎 第4章　キリスト教式	テキストを読みノートをまとめる
8:Lesson3　ブライダルの基礎 第5章　神前式	テキストを読みノートをまとめる
9:Lesson3　ブライダルの基礎 第6章　仏前式～第8章　シビルマリッジ	テキストを読みノートをまとめる
10:Lesson3　ブライダルの基礎 第9章　披露宴	テキストを読みノートをまとめる
11:Lesson3　ブライダルの基礎 第10章　海外ウェディングと新婚旅行～第12章　二次会	テキストを読みノートをまとめる
12:Lesson4　コーディネーター業務（新規～成約まで） 第1章　コーディネーター業務とは	テキストを読みノートをまとめる
13:Lesson4　コーディネーター業務（新規～成約まで） 第2章　新規業務	テキストを読みノートをまとめる
14:Lesson4　コーディネーター業務（新規～成約まで） 第3章　ブライダルセールスの特徴～第4章　ホスピタリティ営業	テキストを読みノートをまとめる
15:Lesson4　コーディネーター業務（新規～成約まで） 第5章　プランニング～第6章　プレゼンテーションの手法	グループごとに発表してもらいます

＊準備学習についての補足説明
テキストには日頃あまり使わない漢字が多くあるので、読みや意味は事前に調べておきましょう。

Ⅴ．教科書・参考図書

BIA（公社）日本ブライダル文化振興協会 《ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード》

Ⅵ．評価方法と評価基準

単位認定試験50%
学習の意欲　30%
レポート　　20%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

始礼終礼、自己紹介、テキストの音読があります。
「実務経験教員科目特記事項」：現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターで、100年以上続く美容院を経営している為、幼少の頃より
ブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング				
ブライダル業務Ⅱ	LP43202	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	4期		
		形態：	講義	単位：	2単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	○

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

婚礼は人生の通過儀礼の中でも最も重要なものの一つであり、その儀礼には伝統、文化や“衣“”食”も深く関わっています。
更に近年では結婚式・披露宴が個性化、多様化し、結婚準備が非常に煩雑になっている事実を鑑みて正しくきちんとした基礎知識を学びます。

Ⅲ．学習成果

1．婚礼の歴史や成り立ち、業務を総合的に理解する。
2．2018年度より国家資格となった《ブライダルコーディネート技能検定》の取得を目指します。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:Lesson4　コーディネーター業務（新規～成約） 第7章　新規アフターフォロー～第9章　ペーパーワーク	テキストを読みノートをまとめる
2:Lesson5　打合せ業務 第1章　成約時から初回打合せまで～第2章　成約後の第1回打合せ	テキストを読みノートをまとめる
3:Lesson5　打合せ業務 第3章　成約後の第2回打合せ～第4章　成約後の第3回打合せ～当日まで	テキストを読みノートをまとめる
4:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第1章　コーディネート～第２章　衣装選定	テキストを読みノートをまとめる
5:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第２章　衣装選定～第4章　ヘアメイク、ネイルアート	テキストを読みノートをまとめる
6:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第5章　会場コーディネート～第7章　ペーパーアイテム	テキストを読みノートをまとめる
7:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第8章　料理・飲物	テキストを読みノートをまとめる
8:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第9章　披露宴の基本演出～第10章　披露宴の演出プラン	テキストを読みノートをまとめる
9:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第11章　引出物・引菓子～第12章　記録・記念アイテム	テキストを読みノートをまとめる
10:Lesson7　手配業務 第1章　ペーパーアイテムの手配	テキストを読みノートをまとめる
11:Lesson7　手配業務 第2章　衣装、ヘアメイク、着付けの手配～第3章　挙式・披露宴の演出手配	テキストを読みノートをまとめる
12:Lesson7　手配業務 第4章　引出物・引菓子の手配～第6章　装花の手配	テキストを読みノートをまとめる
13:Lesson8　当日業務 第1章　結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割～第3章　当日のアテンド（介添え）業務	テキストを読みノートをまとめる
14:Lesson8　当日業務 第4章　テーブルセッティング～第6章　花の管理と出回り時期	テキストを読みノートをまとめる
15:まとめ 理想の結婚式の発表　　過去問題でのブライダルコーディネート検定模擬試験	自分の思い描くの結婚式を発表してもらいます

＊準備学習についての補足説明
テキストには日頃あまり使わない漢字が多くあるので、読みや意味は事前に調べておきましょう。

Ⅴ．教科書・参考図書

BIA（公社）日本ブライダル文化振興協会　《ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード》

Ⅵ．評価方法と評価基準

単位認定試験50%
学習の意欲　30%
レポート　　20%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

始礼終礼、自己紹介、テキストの音読があります。
「実務経験教員科目特記事項」：現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターであり、100年以上続く美容院を経営している為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング				
ホテルビジネス概論	LP44201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

宿泊産業の現状や歴史を学び、国内外のホテルチェーンの展開、福岡のホテル業界の動向、ホテル経営の課題等を最新の情報をもとに幅広く学んでいきます。また、ホテル産業の宿泊・料飲・宴会(ブライダル含む)・調理部門を中心に現場の仕事についても学びます。
ホテルビジネス実務検定試験(H検)のベーシックレベル2級の資格を取得できるような授業内容となっています。

Ⅲ. 学習成果

・宿泊産業の歴史、現状、業務などの基本知識を身に付け、説明ができる
・今後のホテル経営の在り方について企画提案することができる
・将来ホテルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　観光と宿泊産業の現状	福岡市内にあるホテルで提供されているサービスを調べてくる
2:　世界と日本の宿泊産業の歴史	宿泊産業の発達史について調べる
3:　世界と日本のホテルチェーン	興味をもっている外資系ホテルチェーンの歴史と現状について調べる
4:　ホテル産業の概要(定義、分類、組織)	ホテル組織の特徴について調べる
5:　ホテルで働く者として必要な基本知識(国際的な慣習、心構え)	国際的なルールであるプロトコールについて調べる
6:　ホテル英語	授業で配布するホテル基本会話の表現を覚えてくる
7:　新しい時代におけるホテル経営 グループワーク:課題とされるホテル経営の最適なかたちを提案する	グループワークに向けて、ホテル経営の課題を見つけ、まとめる
8:　宿泊部門の仕事	宿泊部門の組織や仕事について調べ、まとめる
9:　料飲部門の仕事	料飲部門の組織や仕事について調べ、まとめる
10:　宴会部門の仕事	宴会部門の組織や仕事について調べ、まとめる
11:　調理部門の仕事	調理部門の組織や仕事について調べ、まとめる
12:　ホテルマーケティングと販売促進	福岡市内のホテルの宣伝媒体を探し出し、まとめる
13:　ホテルの地域における役割	福岡市内のホテルが取り組んでいる地域・社会貢献を調べる
14:　ホテル人材マネジメント	ホテル従業員の主な役割について考え、まとめる
15:　課題に基づいて発表(プレゼンテーション)とまとめ	グループで発表の準備をする

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』　一般財団法人　日本ホテル教育センター
問題集:『ホテルビジネス　基礎編・管理編　練習過去問題集700選』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%、課題(提出物)30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・受講生は必ず、指定教科書の該当箇所を読んでから本講座に参加してください。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング				
観光ビジネス論	LP44202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光は、現代人の生活になくてはならないものである。また、地域の活性化や雇用をもたらす産業としても注目されている。
本講義では、21世紀のリーディング産業のひとつである「観光」の基本的な概念について学び、現代社会におけるより良い観光のあり方について考える。

Ⅲ. 学習成果

観光の現代的意味を説明できる。
観光の現状、観光対象と観光資源、観光振興について学び、観光が内包する課題に対して、自分の考えを表現できる。
新婚旅行の変遷について考察する。インバウンドとブライダル産業の接点を知り、インバウンドウェディングプランを作成できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:観光の意味と現代的意義 新婚旅行	「観光」に関して、解決すべき問題があるか、考える。 テキストP38セルフチェックの問題を解く。
2:観光が地域にもたらす効果	観光消費の地域波及効果の具体例を考える。 テキストP12-P18を読んでP21の問題を解く。
3:観光を構成する要素	観光者と観光対象を結ぶもので、特に重要なものは何か考える。テキストP40-P48を読んでP51①⑤の問題を解く。
4:観光資源と観光対象	自分の身の回りの「観光資源」を考える。 テキストP54-P62を読んでP66の問題を解く。
5:観光資源と保護	エコ・ツーリズムについての情報を調べる。 テキストP64-P65,P264-P265を読んでP273⑦の問題を解く。
6:様々なツーリズム	「サスティナブル・ツーリズム」の考え方が出てきた背景について考える。テキストP259-P272を読んでP273⑥⑧の問題を解く。
7:観光振興 開発と保護	「観光まちづくり」とはどのようなことをいうのか考える。 テキストP45-P48を読んでP51⑦の問題を解く。
8:観光と旅行業	消費者にとっての旅行会社利用の意義を考える。 テキストP92-P109を読んでP114の問題を解く。
9.観光地を調べる	旅行会社のパンフレットを詳しく読む。 観光地の見どころについて整理する。
10:調べた観光地を発表する	発表準備のために地図や写真を準備する。 他の発表者の内容について評価する。
11:観光と宿泊業 観光と運輸業	交通の発達が旅行者にもたらす影響、観光地にもたらす影響について考える。テキストP116-P169を読んでP172の問題を解く。
12:観光の情報	観光客が求める観光情報をを考える。 テキストP194-P210を読んでP211の問題を解く。
13:観光の歴史	旅行が大衆化した要因について考える。 テキストP250-P254を読んでP273①④の問題を解く。
14:インバウンド(訪日外国人旅行) インバウンド・ウェディング	インバウンド・ウェディングのプランを考える。 テキストP276-P290を読んでP290の問題を解く。
15:観光業界の人材 まとめ	ホスピタリティとは何かを考え、自分がホスピタリティに接した経験を200字程度にまとめる。

＊準備学習についての補足説明
日頃から、新聞・テレビなどの観光関連の情報を収集する。
事前学習は毎回45分以上行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

使用教科書　観光学基礎(第8版)　JTB総合研究所　2096円(消費税別)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　発表(10%)　小テスト(毎回)(10%)　ミニレポート(10%)　学習の意欲(10%)
いねむり、私語、スマートフォン等の使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回実施する小テストでは、授業の内容を自分の言葉でまとめ、具体例などを自分で考えてもらいます。
小テスト、ミニレポートはコメントを付けて返却します。
「実務経験教員科目」特記事項:旅行会社勤務経験あり　授業第1回より第15回まで、旅行業の実務経験から得た事例を紹介している。
第8回では、旅行会社の業務内容を詳細に学び、観光業界に必要な資質や知識について考えさせる。

科目名	科目ナンバリング				
ホテルビジネス実務	LP44203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インバウンド需要で急成長を続けているホテル業界について、本講義では特にホスピタリティ・マインドを実際の行動として体現する各部門の業務について学びます。ホテルビジネスにおけるサービスについて、必要とされるマインドとスキルを講義しつつ、ロールプレイなど演習的な要素も取り入れながら、理解を深めていきます。

Ⅲ. 学習成果

・サービス業のやりがいと厳しさを学び、ホスピタリティ・マインドをもって行動ができる
・将来ホテルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる
・ホテルビジネス実務検定試験のベーシックレベル2級の資格を取得できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　ホテルの仕事について、接客の基本	ホテルスタッフのサービスで大切なことをまとめてくる
2:　宿泊部門の実務(基礎知識、各職種の業務)	フロント、ドア・ベル、宿泊予約、コンシェルジュ、客室係の業務について調べる
3:　接客のトレーニング(ロールプレイ) 第一印象を決める身だしなみ、サービスに必要な言葉遣い、基本動作	福岡市内のホテル・レストラン・店舗等を視察し、接客サービスについて調べる
4:　料飲部門の実務(基礎知識、各職種の業務)	レストランの案内係、ウェイトレスの業務について調べる
5:　宴会部門の実務(基礎知識、各職種の業務)	宴会予約、宴会サービス、ブライダル・サロン等の業務について調べる
6:　調理部門の実務(基礎知識、各職種の業務)	ブッチャー、ソース、ガルドマンジュ、ペストリー、ベーカリー等の業務について調べる
7:　宴会とレストランの基本動作(ロールプレイ) 接客案内、注文、テーブルサービス、食事のサービスマナー	食事の国際習慣について調べる
8:　冠婚葬祭、ライフイベントの基本知識	ホテルで行われる冠婚葬祭について調べる
9:　ブライダル実務 接客、打ち合わせ(スケジュール、招待状、商品案内、席次表、引き出物等)	ブライダルプランナーの仕事について調べる
10:　マーケティング部門の概要と実務 グループワーク:「今後求められる商品・サービスとは」をテーマに討議、まとめ	福岡市内のホテルで販売されている各種商品を調べる
11:　客室販売部門におけるマーケティング グループワーク:「今後求められる宿泊商品・サービスとは」をテーマに討議、まとめ	ホテルで提供されている宿泊商品・サービスを調べる
12:　宴会販売部門におけるマーケティング グループワーク:「今後求められる宴会商品・サービスとは」をテーマに討議、まとめ	ホテルで提供されている宴会商品・サービスを調べる
13:　ブライダル部門におけるマーケティング グループワーク:「今後求められる婚礼商品・サービスとは」をテーマに討議、まとめ	ホテルで実施されているウェディングの特徴を調べる
14:　今後、求められるホテルスタッフの資質	自分が将来ホテルで働いた場合、どのようなサービスを提供したいかを考え、まとめる
15:　課題に基づいて発表(プレゼンテーション)とまとめ	グループで発表の準備をする

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』　一般財団法人　日本ホテル教育センター
問題集:『ホテルビジネス　基礎編・管理編　練習過去問題集700選』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%、課題(提出物)30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・受講生は必ず、指定教科書の該当箇所を読んでから本講座に参加してください。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング				
観光デザイン入門	LP44204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

世界的に経済社会が低迷する中で、先進国から発展途上国に至るまで世界の各国とも、経済成長の牽引役を「観光」に頼る傾向があります。
日本も国策として「観光立国」を目指して突き進んでいますが、世界的な競争の中で打ち勝つためには、観光を活性化させる力、「観光デザイン力」が求められます。本授業では、日本の「観光」の強みと弱みを具体的な事例を示しながら解説し、今後の日本の観光デザインのポイントを学びます。

Ⅲ. 学習成果

・国際競争に打ち勝つために必要となる観光デザイン力を身に付け、実践できる。
・自ら地域の観光素材を発掘し、独自の観光デザインを描くことができる。
・社会貢献につながる活動を計画・実行できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　観光デザインとは	これまで印象に残った観光地を振り返り、まとめてくる
2:　日本社会の現状や地域活性化の必要性 グループワーク:「福岡市の問題・課題」をテーマとし、グループ討議、その後発表	福岡市における社会・経済・文化に関する問題や課題について調べる
3:　人口減少社会における地域活性化の方策 グループワーク:「福岡市の地域活性化」をテーマとし、グループ討議、その後発表	福岡市が取り組んでいる地域活性化の取り組みを調べる
4:　地域の魅力を生かした観光デザインの事例① 町家まちなみビジネス:湯布院・黒川温泉、新潟県・村上市	湯布院のまちなみづくりの特徴をまとめる
5:　地域の魅力を生かした観光デザインの事例② 史跡めぐりビジネス:NHK大河ドラマの舞台、世界遺産登録	大河ドラマ「黒田官兵衛」ゆかりの地(福岡市内)について調べる
6:　地域の魅力を生かした観光デザインの事例③ イベントビジネス:音楽・アート・イルミネーション・まつり・フード	福岡市内で開催されているイベントについて調べる
7:　地域の観光マーケティング	観光客は福岡に何を求めてやってくるのかを考え、まとめる
8:　グループワーク　着地型観光ツアーを企画する	グループで福岡市内の観光資源を発掘してくる
9:　プラットフォーム型観光まちづくり組織と推進体制マネジメント	日本版DMOとは何かを調べる
10:　世界各国の先進的観光デザインの事例①(欧米豪)	アメリカのポートランドの先進的な観光まちづくりについて調べる
11:　世界各国の先進的観光デザインの事例②(アジア)	シンガポールの先進的な観光政策について調べる
12:　九州観光推進機構の取り組み～「観光」を九州の基幹産業へ	九州観光推進機構の取り組みについて調べる
13:　インバウンド観光の変化と社会変容	世界各国のマナーや礼儀、受け入れ条件などを調べる
14:　観光立国に向けた構造改革(MICE,SIT)	MICEがなぜ重要な国家戦略になっているのかを調べる
15:　着地型観光ツアーの発表(プレゼンテーション)とまとめ	グループで発表の準備をする

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。プリントおよび関連資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%、課題(提出物)30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング				
観光英語	LP44205	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
リチャード・カタラーノ		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

The students will learn a variety of different expressions in English related to travelling.
They will be expected to come to every class, memorize conversations with intonation, and give an interesting presentation.
Active participation is required!

Ⅲ. 学習成果

Review all the homework and remember conversational phrases. Also, prepare an interesting presentation!

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: Introduction & Quiz	None
2: Unit 1: Did you pack this bag yourself?	None
3: Unit 2: Can I pay in yen?	Unit 1 homework
4: Unit 4: I'd like a ham sandwich, please.	Unit 2 homework
5: Unit 8: I have a sunburn.	Unit 4 homework
6: Unit 9: Do you have anything cheaper?	Unit 8 homework
7: Unit 10: Where are you from?	Unit 9 homework
8: Unit 11: Where should we meet?	Unit 10 homework
9: Unit 12: What are you doing tomorrow?	Unit 11 homework
10: Unit 14: What's an egg sunny-side up?	Unit 12 homework
11: Presentation work	Unit 14 homework
12: Presentation work	Presentation ready
13: Presentation work	Presentation ready
14: Presentations	Presentation ready
15: Final exam review	None

＊準備学習についての補足説明
You need 10-15 minutes for preparation and review.

Ⅴ. 教科書・参考図書

Passport to New Places: English for International Communication WORKBOOK
Lewis Lansford, Oxford University Press

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Presentation: 30%　Homework: 25%　Participation: 25%　Final Exam: 20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

科目名	科目ナンバリング		
カラーコーディネート演習Ⅰ	LP45201	学科:	ライフプランニング総合学科
		学年:	1年
		開講時期:	2期
		形態:	演習
		単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目
亀井　哲治		履修要件他:	
		アクティブラーニング科目:	○
		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

身の回りに溢れている「色」というものが何か、様々な視点から捉えながら紐解いていく。その中で、色の持つ特性や組み合わせを理解し、ファッションやインテリアなど、生活の中にある色の効果的な色彩、配色の基礎を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

色の性質や効果などの基礎知識を理解し、目的に合わせて配色する力をつける。
AFT文科省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色とはなにか	色がなぜみえるのかについて
2: 光の性質と色	光の成分と可視光について
3: 眼のしくみ	反射など、光の特性について
4: 混色とは	色の見え方とその分類
5: 色の三属性	混色のしくみについて
6: 加法混色と減法混色	光の三原色と色料の三原色について
7: PCCSの色相環	色相と表記方法について
8: PCCSのトーン1	PCCSのしくみについて
9: PCCSのトーン2	トーンの意味と表記について
10: PCCSのトーン3	トーンのもつイメージについて
11: 色相心理1	色の心理的効果について
12: 色相心理2	色から受けるイメージと象徴性について
13: 色と視覚効果1	色の対比について
14: 色と視覚効果2	色の錯覚について
15: 授業のまとめ	これまでの内容のまとめ 提出作品の講評

＊準備学習についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文科省後援　色彩検定3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容1～14について出題)45%、授業の課題　45%、学習態度　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199b」を使用。ハサミ、のり、定規を準備すること。また、配布プリントを整理できるようなA４サイズのファイルを持参。
授業中の私語、スマートフォンの使用、忘れ物などは減点対象とする。

科目名	科目ナンバリング				
ファッションビジネス論	LP45202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
秦　寛史		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

毎日当たり前に服を着て、情報をチェックして、買い物をして、、、。「ファッション」はみなさんの生活に溶け込んでいる、とても身近な存在だと思います。この授業では、知っているようで知らない「ファッション」を、「ファッションビジネス」として捉えることで、「自分の好み」や「その時の気分」だけではない、普遍性があり応用の効く知識として、理解習得することを目的とします。

Ⅲ. 学習成果

1　日本のファッション産業の現状や、海外との違いについて理解できる
2　アパレル商品の生産から流通までの流れがわかる
3　ファッションビジネスの構造や、どのような職種があるのか理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションビジネスとはなにか Ⅰ ファッションとは何か	「ファッションとは何か」「おしゃれとは何か」「トレンドとは何か」 自分の考えを発表できるようにまとめておく
2: ファッションビジネスとはなにか Ⅱ ファッション業界の現状	ファッション産業の構造の変化をまとめる
3: ファッション業界について　Ⅰ アパレル素材メーカーについて	普段身につけている衣服はどんな素材でできているか、素材名を調べておく
4: ファッション業界について　Ⅱ アパレルメーカー、ブランドについて	好きなブランドを3つ以上、よく買い物をするブランドを3つ以上書き出しておく
5: ファッション業界について アパレル小売業について	無店舗販売、有店舗販売にどのようなものがあるかまとめる
6: アパレルの職種について　Ⅰ マーチャンダイザー、デザイナー	デザイナーの役割とは何か、調べておく
7: アパレルの職種について　Ⅱ パタンナー、生産管理	パタンナーの役割とは何か、調べておく
8: アパレルの職種について　Ⅲ バイヤー、プレス、セールス	バイヤー、プレスの役割とは何か、調べておく
9: アパレルマーチャンダイズについて 商品企画の過程	アパレル店舗にはどのような商品が売られているのか、調べてみる
10: アパレル小売業について　Ⅰ 業態特性と変遷	アパレルショップは日本にいつ頃からあるのか、調べてみる
11: アパレル小売業について　Ⅱ 小売計数について	アパレル店舗ではどれくらいの売り上げがあるのか、考えてみる
12: ファッショントレンドについて	身の回りで流行しているものを5つ以上書き出しておく
13: アパレル素材について	素材の歴史、変遷、トレンドについてまとめる
14: 消費者分類、消費者特性について	世代の違う人たちはどんなお金の使い方をしているかまとめる
15: 消費分類、消費行動特性について	自分がどんな時に服を買っているか、まとめる

＊準備学習についての補足説明
毎回30分程度行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません　適時資料を配布します

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 70%　提出物(レポート等)30%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

単位認定試験は自筆ノートの持ち込みが可なので、ノートを準備してください
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルの「販売、仕入れ、商品企画、デザイン、経営」の実務経験を活かし、今の市場、現場に則した実践的な知識を習得できる授業を行います。

科目名	科目ナンバリング				
ファッションコーディネート演習	LP45203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
手嶋　敦子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションはその人の生き方やライフスタイルの多様化で、様々な流行が見られる。自分らし装いの表現はT・P・Oを意識し、シルエット・色・素材などをバランスよく組み合わせ、統一したイメージを創り出すプレゼンテーション力が大切である。最近では、東京福岡ファッション業界のコレクションが地元でも開催され、トレンドをいち早く楽しむ事ができる。本授業では、日常着を通しての素材やシルエットまた、縫製の基本を理解し、コーディネートの楽しさを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

今季のファッショントレンドを意識しながら、コーディネートテクニックや基本素材などを詳しく理解させる。日常の服装で失敗しないための着回しの法則なども学ぶ。また、パソコンを使用し、自分の好きなブランドや今季のカラー・シルエット・素材などを理解させる。
また、販売士3級に対応した問題にもトライする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: コーディネートとは	コーディネートの定義について
2: コーディネートテクニック (ライフステージから)	F・B・Cコレクションから　(DVD使用) ファッションショウで人・動き・空間でのショウーを学ぶ
3: コーディネートテクニック (色・素材・イメージ)	色・素材・イメージからのテクニックをまとめる。
4: 2020年ファッショントレンドについて	新しいシルエット・イメージカラー・素材についてまとめる。
5: 素材について 天然繊維・動物繊維・化学繊維　素材 (DVD)使用	素材の種類と繊維になるまでの過程をまとめる。
6: 基本素材について 天然繊維・動物繊維・化学繊維	基本素材のサンプルを添付し、実物に触れてみる。
7: 基本縫製について 縫いの基本 (躾・並縫い・まつり)	基本縫いのサンプル作成
8: ニットとは 手編みとニット素材について	織物とニットとの違いを考える。
9: 新素材と柄の知識について	今季の新しい素材や柄などを、事前に調査しておく。
10: シルエットについて パターンからのシルエット	日常着はどのようなパターンから作られているのか 基本原型を中心にタック・ギャザーの分量などをまとめる。
11: 着回しの法則 T・P・Oについて	会議・会合・外出・パーティー・旅行などの服装についてまとめる。
12: サイズ表示の知識と品質表示の必要性	日本工業規格で表示されている表示をまとめる。
13: 繊維製品の取り扱い表示記号	ウール・綿・おむつ等のマークについてまとめる。
14: パソコンを使用 ブランド製品とデザイナーズ製品の検索	ブランド製品とデザイナーズ製品や価格等の違いについてまとめる。
15: まとめ　レポート内容について	

＊準備学習についての補足説明
準備学習(50分)は次週提出。詳しくは授業で説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　。 教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:コーディネートテクニック(文化出版局)　・販売士3級問題

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験はしない。 授業での試験問題(販売士3級問題)・課題(70%)・レポート(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題はコメントをつけて返却する。

科目名	科目ナンバリング				
ファッション情報分析	LP45204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
徳山　真由美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

次のトレンドは何かを知ることは、ファッションを学ぶ上で重要な要素のひとつです。
そのためには、さまざまに発信されている情報を収集し、整理分類する事から始めます。これらのデータに市場動向などを加えて次のトレンドを分析し、レポートの作成をおこないます。

Ⅲ. 学習成果

ファッション情報の収集及び分析方法を理解することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションの8大イメージについて ファッションイメージ分類・シルエット等の説明	コレクション雑誌を準備する
2: 8大イメージについて ファッションイメージのレポート作成	レポートをまとめる
3: 8大イメージについて ファッションイメージのレポート作成	レポートを完成させる
4: 素材調査について 課題内容の説明、レポート作成	レポートをまとめる
5: 素材調査について レポート作成	レポートをまとめる
6: 素材調査について レポート作成	レポートを完成させる
7: 秋冬コレクション情報誌からの情報収集 トレンドキーワード・シルエット等の説明	ファッション雑誌を準備する
8: 秋冬コレクション情報誌からの情報収集 ①キーワードの分析、レポート作成	レポートをまとめる 実店舗での商品のフィールドワークをしておくこと
9: 秋冬コレクション情報誌からの情報収集 ①キーワードの分析、レポート作成	レポートを完成させる
10: 秋冬コレクション情報誌からの情報収集 ②キーワードの分析、レポート作成	レポートをまとめる 実店舗での商品のフィールドワークをしておくこと
11: 秋冬コレクション情報誌からの情報収集 ②キーワードの分析、レポート作成	レポートを完成させる
12: ファッション情報誌からの商品情報の収集 課題内容の説明、レポート作成	ファッション情報誌を集めておく　レポートをまとめる
13: ファッション情報誌からの商品情報の収集 レポート作成	レポートをまとめる
14: ファッション情報誌からの商品情報の収集 レポート作成	ファッションコーディネート案を立案しておく
15: ファッション情報誌からの商品情報の収集 ファッションコーディネート企画書作成	レポート・コーディネート企画書を完成させる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分程度行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　教員作成資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

調査レポート・企画書 95%　　学習の意欲 5%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

コレクション情報掲載雑誌、一般のファッション雑誌等の準備が必要です。
レポート作成のためのUSBフラッシュメモリーが必要です。
レポートは、添削・評価を行って返却します。

科目名	科目ナンバリング
カラーコーディネート演習Ⅱ	LP45205

担当者
亀井　哲治

学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
開講時期:	3・4期		
形態:	演習	単位:	1単位
履修方法:	卒業選択		
免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
履修要件他:	ブライダル関連科目		
ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

カラーコーディネート演習Ⅰで学んだ色彩の基礎をもとに、さらなる知識の深化とカラーコーディネートの応用方法を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

より具体的な配色と、色についての実践的な知識を身にをつける。
AFT文科省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色彩調和	配色理論と配色効果について
2: カラーダイヤルを使った配色	カラーダイヤルについて
3: トーン配色	トーン配色の種類と効果について
4: 配色の基本技法	配色による効果について
5: ファッションとは	ファッションにおける配色について
6: 生活環境と色彩	インテリアなどの色彩効果について
7: 色彩検定3級試験対策	これまでの振り返りと復習
8: 配色演習1	目的に応じた配色について
9: 配色演習2	配色によるイメージづくり
10: 配色演習3	イメージマップについて
11: パーソナルカラー1	基本となる4色の違いについて
12: パーソナルカラー2	具体的なコーディネートについて
13: 流行色の研究1	流行色の調査をしておく
14: 流行色の研究2	流行色にあわせた配色を研究
15: 授業のまとめ 「色」について、ディスカッション	これまでの内容のまとめ

＊準備学習についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文科省後援　色彩検定3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容1～14について出題)45%、授業の課題　45%、学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199b」を使用。ハサミ、のり、定規を準備すること。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルを持参。
授業中の私語、スマートフォンの使用、忘れ物などは減点対象とする。
※カラーコーディネート演習Ⅰを受講していること

科目名	科目ナンバリング				
美容芸術演習A	LP45206	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
宗　美恵		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

メイクアップとは顔に単純に色をのせるものではなく、又、表面的な特徴だけを見て色付けするものではありません
顔の骨格や筋肉を考え、印象をつかさどるカテゴリー(形・サイズ・色・質感等)を理解しそれぞれの顔に合ったメイクについて考える

Ⅲ. 学習成果

メイクの基本的な知識、さらに目的やテーマに合ったメイクバリエーションの修得

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　スキンケア1	スキンケア基礎 (クレンジング・化粧水・美容液の種類・選び方・なじませ方)
2:　スキンケア2	美肌作り (パック・マッサージ法)
3:　ベースメイク1	ベースメイク基礎 (ファンデーションの種類・選び方)
4:　ベースメイク2	ベースメイク応用 (ハイライト・カバーホワイトの入れ方)
5:　アイメイク	アイメイク基礎 (色の種類・選び方・色の入れ方・メイクブラシの使い方)
6:　アイブロウメイク	アイブロウメイク基礎 (眉のプロポーション・描き方)
7:　リップ・ブラッシュオンメイク	リップ・ブラッシュオンメイク基礎 (色の種類・選び方・色の入れ方・メイクブラシの使い方)
8:　SOFT1	ソフトメイク基礎 (ソフトメイクによる印象操作法)
9:　SOFT2	ソフトメイク応用 (かわいいメイクの作り方)
10:　SHARP1	シャープメイク基礎 (シャープメイクによる印象操作法)
11:　SHARP2	シャープメイク応用 (かっこいいメイクの作り方)
12:　成人式メイク	シーズンメイク
13:　SOFT＆SHARP	印象操作メイク応用
14:　スモーキーアイ	トレンドメイク
15:　実技チェック	印象別メイク実技チェック

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います

Ⅴ. 教科書・参考図書

TonyTanaka's　Make-Up　TEXT

Ⅵ. 評価方法と評価基準

印象別メイク実技チェック評価(70%)
学習意欲(30%)【上手い下手ではなく、積極的な姿勢で授業に取り組んでいるのかという点で評価】

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

全授業、必ず洗顔から行う規則となります
「実務経験教員科目」特記事項:自身の肌悩みをきっかけに美容業界へ進路を決め化粧品メーカー勤務、インストラクター職を経て現在はフリーメイクアップアーティストとして活動。授業にはメイクによる印象操作、装いにあったメイクなど女性として生かせる内容にしています。

科目名	科目ナンバリング				
マーケティング論	LP51201	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	講義	単位：	2単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

マーケティング論は応用範囲の広い学問で、企業のみならず、自治体や病院等でも活用されている。本講座では営利会社に注目しつつ、「売れる仕組み」について幅広く学習する予定である。また従来型の講義形式を中心とした授業ではなく、グループワークを主体とした授業展開を考えており、マーケティング論の基礎的考え方を押さえつつ、日常生活で行われている企業活動に着目し、各企業はどのように皆さんたちに「後一つ」商品やサービスを購入してもらうために努力しているのかについて多くの具体例を提供する予定である。自分の頭で考え、アウトプットを行い、全体で情報をシェアしながら講義を進めていく。

Ⅲ．学習成果

①マーケティングの基礎的な考えを習得する。
②企業が行っている様々な努力を浮き彫りにし、自分であればそれをどう活用するのかについてグループワークを通して理解を深められる。
③サービス業全盛の時代におけるマーケティングの在り方について理解し、3期から始まる各メジャーの学びに備える。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:　イントロダクション	予習：シラバスをよく読んでおくこと。 復習：配布資料を再読し、次回に備えること。
2:　マーケティングとは 　4つのP他	予習：コンビニの売れる工夫を一つ見つける。 復習：4つのPについてまとめておくこと。
3:　販売 AIDAモデル他	予習：スーパーのレジの向きを調べてくる。コンビニと比較。 復習：現場の販売員の動きを観察し、AIDAモデルについて再考する。
4:　関係性重視のマーケティング 　ビデオ学習「TDLの戦略」	予習：東京ﾃﾞｨｽﾞﾆｰﾘｿﾞｰﾄの歴史を調べておくこと。 復習：東京ﾃﾞｨｽﾞﾆｰﾘｿﾞｰﾄのマーケティングの特徴をまとめておくこと。
5:　サービスマーケティングとは 　ビデオ学習「サッカーブレイン：サッカー界はやばい」	予習：Jリーグの歴史について調べておくこと。 復習：「サッカー界」の将来が危うい理由を再度チェックしておくこと。
6:　売れる仕組みを考える①　※課題1の提示 　※　グループワーク、ミッション　「旬八の魅力」を探せ。	予習：「旬八」について調べておくこと。 復習：旬八の魅力を複数列挙しておく。
7:　売れる仕組みを考える② 　※　グループワーク、ミッション　「旬八」はなぜ売れるのか？	予習：旬八の魅力について再度確認しておく。 復習：第7回のグループワークのまとめを各自しておくこと。
8:　売れる仕組みを考える③ 　※　グループワーク、ミッション　「旬八」が売れる理由について、プレゼンを行う。	予習：各グループで出た意見をまとめ、プレゼンに備える。 復習：課題1に取り組む。
9:　ブランド力①　※課題1の回収、課題2の提示。 　ビデオ学習　「グリコの戦略」	予習：課題1の完成。 復習：グリコの戦略についてまとめておくこと。
10:　ブランド力② 　シャンプー業界を例に。TSUBKI vs. セグレタ他。	予習：自分が使っているシャンプーの特徴と購入の理由を考えておくこと。 復習：シャンプー業界の特徴をまとめておくこと。
11:　ブランド力③ 　※グループワーク、ミッション　売れる「シャンプー」の秘密を探れ。	予習：売れているシャンプーの特徴を考えておくこと。 復習：第11回のグループワークのまとめを各自しておくこと。
12:　広告宣伝①※課題2の回収、課題3の提示。 　信頼の絆を作る	予習：課題2の完成。 復習：自分の身の周りにある広告記事を3つ用意しておくこと。
13:　広告宣伝② 　関与度と広告の出し方	予習：用意した広告について論評すること。 復習：論評した広告のことを再度考えてみる。
14:　広告宣伝③ 　※グループワーク、ミッション「その広告は伝わっていますか？」	予習：KP法を使って、1つの広告について論評を準備しておくこと。 復習：ほかの人の意見を参考に、課題3の修正を行うこと。
15:　まとめ　※　課題3の回収。	予習：課題3の完成。 復習：第1～14回を振り返り、3期以降の学びに備えること。

＊準備学習についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。

Ⅴ．教科書・参考図書

教科書　なし
参考書　「マーケティング入門」 日本経済新聞社　小川孔輔著
　　「企業を高めるブランド戦略」 講談社　田中洋著
　　「現代広告論」 有斐閣　岸志津江他著

Ⅵ．評価方法と評価基準

・課題提出3回　50%（15%、15%、20%）、学習の意欲（毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等）　50%
・単位認定試験は実施しない。上記の課題等で判定する。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・主にサービス系に進む学生を対象としているが、他の系からの参加者も対応できるプログラムとなっている。
・毎回回収するプリントおよび課題について、必要に応じてコメントをつけて返却を行う。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・上記のシラバスの内容を変更する場合は、事前に授業中に説明を行う。

科目名	科目ナンバリング				
英会話	LP51202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
マーク・トンプソン		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English as it relates to situations where English is used.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will be given.
2:2.1 About Betty and her family.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
3:2.2 About family members and your family.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
4:4.1 About abilities and activities.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
5:4.2 About your free-time activites.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
6:5.1 About permission in public places.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
7:5.2 About your freedoms.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
8:Review of units 2, 4, and 5.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
9:7.1 About locations.	Preview units 1-6 content including vocabulary and grammar. Review lesson content.
10:7.2 About everyday objects and describing your room.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
11:8.1 More about Betty's family.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
12:8.2 More about your family.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
13:Special activities.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
14:Special activities.	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
15:Review	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content.

＊準備学習についての補足説明

Always remember to bring a pencil case, your textbook, and, if possible, an English/Japanese dictionary or an electronic dictionary.

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2nd Ed. 1A Student Book with Online Self-Study (Cambridje U. P.) ISBN: 9781108687416

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!

科目名	科目ナンバリング				
人間環境心理学	LP51203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
望月　宇		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

人間環境心理学とは、人間を取り巻く環境と人間の心理や行動の関連を心理学的に捉える学問である。
社会心理学、認知心理学、発達心理学の知見を基に、人間の心理と環境の相互関係を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

人間の環境の捉え方、環境からの影響を通した人間の発達について、基本的知識を身につけ、社会生活をより適応的になることができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション:人間環境心理学とは	日頃の自己理解と環境理解及び適応についてまとめる
2:人生周期の段階	人生周期の概念や基本的考え方と主な段階・特徴についてまとめる
3:知能・記憶・思考の変化	知能・記憶・思考それぞれの一般的理解、概念と変化について予習
4:認知機能の変化	認知機能の概念や変化とその特徴についてまとめる
5:生産生活・業績・創造性の変化	生産生活・業績・創造性の概念やその変化と特徴についてまとめる
6:対人認知の基本的特徴、それに対するデイスカッション	対人認知の基本的特徴と主な理論についてまとめる
7:対人認知の二過程、それに対するデイスカッション	対人認知の二過程の特徴及び日常生活でのあり方について学習
8:自己①	自己の概念と日常生活でのあり方、捉え方についてまとめる
9:自己②	自己表現の様相及び日常生活でのあり方についてまとめる
10:社会的態度	社会的態度の理解と日常生活でのあり方についてまとめる
11:対人関係の形成、それに対するデイスカッション	対人関係形成の概念と日常生活でのあり方についてまとめる
12:対人関係の維持	対人関係の維持の理解と日常生活でのあり方についてまとめる
13:集団の影響性	集団の影響性の要因と日常生活でのあり方について学習
14:集団関係	集団関係の理解と日常生活でのあり方について学習
15:授業のまとめ	人間を取り巻く環境と人間の心理や行動の関連についてまとめる

＊準備学習についての補足説明
・予習として、授業中与えられた課題を次の授業前までに各自で調べてみる。　・学習内容について、身近な具体例を探しながらより日常に役立つよう活用してみる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　教員作成資料を毎回配布する
参考図書:授業中に紹介する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%　学習の意欲30%
いねむり、私語、スマートフォンの使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業では毎回出来るだけ身近な具体例を紹介し、日常にも役立つよう工夫していきます。
・学習内容を身近なものとして感じることが出来るよう、授業中は理論的な部分と関連がある活動を取り入れ、実際に体験しながら理解を進めていきます。
・映像教材を取り入れて、学習内容をよりイメージしやすく、理解しやすくしていきます。

科目名	科目ナンバリング				
グループ・プロセス	LP51204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義では、まず、対人的コミュニケーションの基本的な特性を押さえた上でノンバーバルコミュニケーションの役割について学ぶ。
次に、私たちが誰でも陥りやすい対人関係の躓きや不適応について、ケース研究を通して学び、より効果的な支援のあり方について学習し身につける。
さらに、グループ・ワークを経験することによって様々な態度の多様性に気づき、お互いの立場の相違を意識しつつも受容しながら、グループとしてのコンセンサスを得る方法について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1　対人的コミュニケーションにおいてノンバーバル・コミュニケーションが果たす役割について説明できる
2　対人関係の躓きや不適応を、これまでとは違った視点から捉え、効果的な支援を実践できる
3　グループ・ワークにおけるコンセンサスの学習内容を活かして、自分も相手も尊重する話し合いのスキルを実生活に応用できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:コミュニケーションのチャネルと危険なコミュニケーションについて	コミュニケーションのチャネルについてまとめる
2:お互いを知るエクササイズ(構成的グループ・エンカウンター)	構成的グループ・エンカウンターのエクササイズについて振り返り表に記入する
3:不適応に対する支援　ケース研究①　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
4:不適応に対する支援　ケース研究②　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
5:不適応に対する支援　ケース研究③　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
6:コンセンサス実習①　正解のあるグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
7:コンセンサス実習②　正解のないグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
8:様々な心の特徴を知る①　質問紙法	心理テスト結果について振り返り表に記入する
9:様々な心の特徴を知る②　交流分析	交流分析について学んだ内容をまとめる
10:心理アセスメントについて視聴覚教材を用いて学ぶ	視聴覚教材の内容をまとめる
11:様々な心の特徴を知る③　描画法	心理テスト結果について振り返り表に記入する
12:アサーションの基礎知識	他者に対する4つの反応パターンの特徴をまとめる
13:共感的理解について考える①　グループ・ワーク	共感的理解について自らの経験を振り返りまとめる
14:共感的理解について考える②	共感、同情、同意の違いについてまとめる
15:まとめ	試験範囲の確認を行い、本講義内容について総復習する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 60%　各授業後の振り返り表 20%　学習の意欲 20%
グループ・ワークおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

本講義は「ピアヘルパー」認定資格取得に役立つ内容である。
各時間、多様なグループ・ワークや意見交換の場が準備されているため、積極的参加が求められる。
各時間の学習内容について振り返り表に記入した内容に関しては、教員が授業中にフィードバックを行う。

科目名	科目ナンバリング				
ピアサポート	LP51205	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

本演習は、『ピアヘルパー』認定資格取得のために必要な知識と技能を身につけることを目的とする。『ピアヘルパー』は、直訳すれば「仲間を助ける人」であり、自分と自分の身近な人々の日常的なサポートに活かせる資格である。本演習では、心理学の理論と方法に基づいて適切な自己表現の仕方や友人の悩みに聞き方についてきちんと学習することで、自らのスキルアップをはかるとともに身近な人々をサポートする力を養う。

Ⅲ．学習成果

1　カウンセリングの諸理論について基礎的な内容を説明できる
2　ヘルピングに必要な言語的技法および非言語的技法を説明できる
3　学んだ知識と技法を日常生活で適切に応用できる
4　ピアヘルパー認定試験に合格する

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:構成的グループエンカウンターについて学ぶ	ピアヘルパーハンドブックのPp.10-15を読んで要点をまとめる
2:構成的グループエンカウンター・エクササイズ	実習後に振り返りレポートを作成する
3:カウンセリングの定義と略史	ピアヘルパーハンドブックのPp.16-21を読んで要点をまとめる
4:カウンセリングの種類	ピアヘルパーハンドブックのPp.22-26を読んで要点をまとめる
5:自己理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.24を読んで要点をまとめる
6:精神分析について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.25を読んで要点をまとめる
7:行動理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.26を読んで要点をまとめる
8:論理療法について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.27を読んで要点をまとめる
9:ピアヘルピングの関連領域とプロセス	ピアヘルパーハンドブックのPp.27-39を読んで要点をまとめる
10:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向	ピアヘルパーハンドブックのPp.40-50を読んで要点をまとめる
11:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向の確認	ピアヘルパーワークブックのPp.8-9に記入し復習する
12:ピアヘルピングの言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.52-60を読んで要点をまとめる
13:ピアヘルピングの言語的技法②	ピアヘルパーハンドブックのPp.60-64を読んで要点をまとめる
14:ピアヘルピングの非言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.65-70を読んで要点をまとめる
15:ピアヘルピングの非言語的技法②	ピアヘルパーワークブックのPp.41-42に記入し復習する
16:対話上の諸問題への対処法	ピアヘルパーハンドブックのPp.71-77を読んで要点をまとめる
17:問題への対処法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.78-84を読んで要点をまとめる
18:問題への対処法②	ピアヘルパーワークブックP.34を読んでそれぞれの違いを復習する
19:ピアヘルパーの心がまえとヘルピングスキルの上達法	ピアヘルパーハンドブックのPp.85-94を読んで要点をまとめる
20:ピアヘルパーの活動許容範囲と留意点	ピアヘルパーハンドブックのPp.98-103を読んで要点をまとめる
21:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　学業領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.104-109を読んで要点をまとめる
22:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅰ（実施後のグループ・ワークを含む）	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
23:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　進路領域　友人領域　グループ領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.110-127を読んで要点をまとめる
24:カウンセリングスキルのまとめ	ピアヘルパーワークドブックのPp.32-33に記入し復習する
25:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　関係修復領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.129-134を読んで要点をまとめる
26:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　心理領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.135-141を読んで要点をまとめる
27:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅱ（実施後のグループ・ワークを含む）	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
28:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅲ（実施後のグループ・ワークを含む）	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
29:ピアヘルパー認定試験直前総復習①	資格認定試験に向けてテキスト前半の復習を行う
30:ピアヘルパー認定試験直前総復習②	資格認定試験に向けてテキスト後半の復習を行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。

Ⅴ．教科書・参考図書

ピアヘルパーハンドブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税
ピアヘルパーワークブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税

Ⅵ．評価方法と評価基準

グループ実習後の振り返りレポート 10%　3回の模擬試験結果 30%　ピアヘルパー認定試験受験 40%　学習の意欲 20%
テキストの読み合わせおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

毎時間テキストの読み合わせを行う。読み手は全員に声が届くことを意識し、聞き手は能動的に聞く態度が求められる。
計3回行うピアヘルパー認定試験対策模擬試験では、全体の正答・誤答傾向のフィードバックを行った上で個人の誤答の確認と修正を行う。
さらに、個人の成績の変化もフィードバックする。
ピアヘルパー資格認定試験を受験すること。

科目名	科目ナンバリング				
フラワーアレンジメント	LP51207	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
橋本　妙子		履修要件他:	クリエイティブデザイン系関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ヨーロッパの宗教的な儀式や病気の治療・魔除けなどに端を発すると伝えられています。日本のいけ花の良さとの融合によりヨーロッパのニューデザインが日本人に強くアピールされフラワーアレンジメントは生活を豊かにする演出方法として取り入れ始め、現在ではあらゆる場面での飾花として無くてはならない存在になりました。授業では季節や行事に合わせたアレンジメント、ブーケやコサージ等の作品を作りながら花の特徴、種類を理解し基本知識を身につける事で自由な発想と創作意欲、感動する喜びを目覚めさせます。同時に、愛しむ心も学んでいきます。

Ⅲ. 学習成果

・個々の表現力・創造力を深める事が出来る。
・花を通して作り出す喜び、感動する心が芽生えて来る。
・基礎知識を学ぶ事で自由な発想が身につく。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: アレンジ(ドーム→半円形) 必要な道具・アレンジの種類・土台作り・花を活ける手順	その日習った専門用語などを次回から活用できる様復習しておく。
2: アレンジ(ホリゾンタル→水平線) 挿し方のポイント・花の水揚げ方法	常日頃から身近に花を意識し感性を磨く努力をする。
3: コサージ(コロニアル→半円形) ワイヤーリング、リボンワーク	
4: アレンジ(トライアンギュラー→三角形) 挿し方のポイント・花の水揚げ方法	
5: ブーケ(ラウンド→半円形、ブートニア) ウェディングブーケについて	
6: アレンジ(フリースタイル) アートフィシャルフラワーを使って	フラワーショップやウィンドウなどを覗いてイメージを考えておく。 書籍なども参考に。
7: 行事の花(クリスマス)	
8: ブーケ(キャスケード→滝の流れのような形) ブーケの種類	
9: アレンジ(お正月飾り　しめ縄等)	
10: アレンジ(お正月)	
11: アレンジ(インバーティドT)	
12: アレンジ(フリースタイル→グリーンアレンジ)	
13: 試験の為の復習	授業で配布したプリントに目を通しておく。
14: 試験(実技・筆記)	アレンジ・コサージ(共に1作品) 筆記
15: アレンジ(フリースタイル) プリザーブドフラワー等を使って	制作 フラワーアレンジでの卒業制作

＊準備学習についての補足説明
必要な場合は授業の中で説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。
教員作成プリントを随時配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・実技試験(試験直後に採点)
・筆記試験
}(50%)、 学習意欲(40%)、 ファイル提出(10%)

いねむり、私語、スマートフォンの使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題はコメントをつけて返却します。
・授業で使用した花を持ち帰りもう一度作品作りをする。
・花の入荷状況により授業内容が変更になる場合があります。
・授業中の私語、スマートフォンの使用は減点の対象です。

科目名	科目ナンバリング				
臨床心理学	LP51206	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
望月　宇		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

臨床心理学とは、科学的な立場に基づき、人間の心理的な適応、健康、発達を援助するための心理学の一領域である。
臨床心理学の基本的知識と理論を学び、人を理解し援助することについて学ぶ。

Ⅲ．学習成果

1　臨床心理学についての基本的知識が身につくことができるようになる。
2　心理検査、心理療法、精神疾患についての正しい理解をすることができるようになる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:オリエンテーション：臨床心理学とは	臨床心理学の定義及びカウンセリングの定義とその関連についてまとめる
2:人格理論	パーソナリティ理論の一般的理解及び主な理論についてまとめる
3:発達理論	発達心理学の一般的理解及び主な理論についてまとめる
4:発達理論　事例①乳児期～児童期、それに対するデイスカッション	心理社会的発達理論の概念及び主な理論についてまとめる
5:発達理論　事例②思春期～成人期、それに対するデイスカッション	乳幼児期・学童期・思春期の発達課題についてまとめる
6:発達理論　事例③成人中期～後期、それに対するデイスカッション	青年期・成人前期・成人後期の発達課題についてまとめる
7:心理療法①	心理療法の一般的理解及び主な心理療法についてまとめる
8:心理療法②	非言語的心理療法を中心に調べてまとめる
9:カウンセリングの基本的構造①	カウンセリングの一般的理解及び主な理論について学習（カウンセリングとは何かについてまとめる）
10:カウンセリングの基本的構造②	カウンセリングの一般的理解及び主な理論について学習（心理カウンセリングの諸技法についてまとめる）
11:人格検査①　質問紙法	心理検査の質問紙法の概念及び主な検査についてまとめる
12:人格検査②　投影法	心理検査の投影法の概念及び主な検査についてまとめる
13:知能検査	知能の定義と日常の一般的理解及び主な検査法についてまとめる
14:発達障害	発達障害の概念及び日常での理解及び主な検査についてまとめる
15:認知症・統合失調症	認知症・統合失調症の概念及び主な症状、治療法についてまとめる

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回2時間程度行うこと。　・予習として、授業中与えられた課題を次の授業前までに各自で調べてまとめる
・学習内容について、身近な具体例を探しながらより日常に役立つよう活用してみる。　・復習として、配布したプリントの内容から要点・キーワードをノートに抜き出す。

Ⅴ．教科書・参考図書

教科書は使用しない　教員作成資料を毎回配布する
参考図書：授業中に紹介する

Ⅵ．評価方法と評価基準

単位認定試験70%　学習の意欲30%
いねむり、私語、スマートフォンの使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・授業では毎回出来るだけ身近な具体例を紹介し、日常にも役立つよう工夫していきます。
・学習内容を身近なものとして感じることが出来るよう、授業中は理論的な部分と関連活動を取り入れ、実際に体験しながら理解を深める。
・映像教材を取り入れて、学習内容をよりイメージしやすく、理解しやすくしていきます。

科目名	科目ナンバリング				
インテリア入門	LP46201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネートを行う際に必要な基礎知識(人間工学・動線・心理特性・色彩計画)について学ぶ。
住宅各室に求められている機能を理解し、適切な家具のレイアウトについて考えていく。

Ⅲ. 学習成果

1.人体寸法とインテリアや建物の関係を正しく理解する。
2.動線と部屋の使いやすさの関係を理解し、家具のレイアウトが行えるようになる。
3.カラースキームの基本を理解し、応用できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:インテリアの歴史(西洋と日本の違い)	気候や文化がインテリアに与える影響についてまとめる
2:家具の歴史(素材と技術の進歩)	現在使っている家具の素材について調べる
3:カラースキーム①(色の基本)	色の3要素についてまとめる
4:カラースキーム②(色の組み合わせ)	色の組み合わせの基本に従ってカラースキームを行う
5:デザインの基本	色と形のバランスについて実際に作品を作ってみる
6:人間工学	人間工学の基礎資料である人体寸法について調べる
7:人体寸法と家具への応用	家具の種類と人間の関わりについてまとめる
8:動作領域と動線	人の動きと住宅内での動きを考える
9:心理特性と家具のレイアウト	様々な場所での家具のレイアウトをまとめる
10:感覚と知覚	錯覚(錯視)についてまとめる
11:室内環境(採光と照明、温熱環境)	体感温度について調べる
12:室内環境(音)	騒音の基準について調べる
13:居室の機能(公的空間)	パブリック空間に求められる機能についてまとめる
14:居室の機能(私的空間)	プライベート空間についてまとめる
15:まとめ	

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うことが望ましい。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を授業中に配布する
参考図書:「インテリアの計画と設計」(彰国社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記の内容について、学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、授業への意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は、全体に対して講評を行い、個別にはコメントを渡す。

科目名	科目ナンバリング				
インテリア販売	LP46202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

インテリア商品（家具・照明・インテリアファブリック・インテリアアクセサリ等）は多く私たちの周りにあふれており、容易に手に入れることが可能になってきました。
インテリア商品の基礎知識を学び、お客様に対して適切なアドバイスや提案ができることを目指して学びます。

Ⅲ．学習成果

1.インテリア商品の種類を知る
2.インテリア商品の基礎知識を持つ
3コミュニケーションをとるための表現方法を身につける

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:インテリア商品の種類と流通	流通について身の回りの例を取り上げまとめる
2:家具（1）家具の種類	自分の部屋にある家具リストを作成する
3:家具（2）脚物家具の特徴と持つべき機能	脚物家具の種類と特徴をまとめる
4:家具（3）箱物家具の特徴と持つべき機能	箱物家具の種類と特徴をまとめる
5:照明器具	光源の種類を調べる
6:ウィンドウトリートメント（1）カーテン・スクリーン	カーテンの種類を調べる
7:ウィンドウトリートメント（2）ローマンシェード・ブラインド	ローマンシェードの事例を見つける
8:住宅設備（1）キッチン	キッチンのレイアウト例と住宅の広さについてまとめる
9:住宅設備（2）サニタリー	トイレ・洗面・浴室が求められる機能についてまとめる
10:インテリアアクセサリー（1）スリーピングリネン	自分の持っているスリーピングリネンについてまとめる
11:インテリアアクセサリー（2）テーブルリネン・バスリネン	テーブルコーディネートの例を挙げリネンの使い方をまとめる
12:インテリアグリーン	観葉植物についてまとめる
13:インテリアオーナメント	季節感のあるオーナメントについて調べる
14:購買心理と接客マナー	自分の購買行動について振り返る
15:まとめ	まとめ

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと

Ⅴ．教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する
参考書：「リビングスタイリスト資格試験　公式テキスト」（社）日本ライフスタイル協会

Ⅵ．評価方法と評価基準

単位認定試験（学習成果1~3の観点から出題）50%、課題30%、授業への意欲20%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

提出課題の講評は全体に対して行う。個別にはコメントを渡す

科目名	科目ナンバリング				
インテリア製図	LP46203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
大坂　志保子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

見本の住宅インテリア図面や模型を使って、製図の基礎を学びます。
また、家具の配置や各所の寸法などインテリアプランニングの基礎を学び、自分で考えたプランを製図で表現します。

Ⅲ．学習成果

1．基本的な住宅インテリア図面が理解できるようになる。
2．自分のまわりのインテリア環境を見直し、より住みやすくなるよう工夫することができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:製図の基礎	広告・雑誌・PCなどを利用して、いろいろなタイプの住宅インテリア図面を比較する
2:　〃	〃
3:平面図（キッチン・リビング・ダイニングルームを例にとって） 住宅模型と平面図を比べながらディスカッションする	自室の平面図（フリーハンド）を作成する
4:　〃	〃
5:展開図（リビングルームを例にとって） 住宅模型と展開図を比べながらディスカッションする	自室の展開図（フリーハンド）を作成する
6:　〃	〃
7:家具の寸法と家具図	いろいろな家具の寸法を測ってみる 家具がどのように造られているか細部を観察する
8:　〃	〃
9:オリジナル家具の製図	〃
10:電気設備図・その他の図面	自宅におけるスイッチやコンセントの位置・数などを調べる
11:自分の部屋をプランしてみよう（家具の配置や各所の寸法について）	インテリアデザインの事例を見て、プランの特徴や自分の意見をまとめる
12:　〃　（平面図と展開図）	〃
13:　〃　（　〃　）	〃
14:　〃　（家具図）	〃
15:全体のまとめと作品集・レポート作成 作品の講評	作品集の表紙のデザインを検討する

＊準備学習についての補足説明
身の回りのインテリアデザインを観察し、演習で学んだ事が実際にはどうなっているのか確認してみる（毎回30分程度）

Ⅴ．教科書・参考図書

教員作成の資料配付

Ⅵ．評価方法と評価基準

課題作品内容80%・学習への意欲（作品づくりへの取り組み姿勢や工夫など）20%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

提出された製図作品については、全体講評の後、個別に対応しながら演習を進めます。
配付資料は整理して、毎回忘れずに持参すること。

科目名	科目ナンバリング				
インテリアプレゼンテーション	LP46204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
香月　知子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

自分らしく暮らす生活の中の住空間を快適にする為に、1つの方法として、インテリアコーディネートがあります。
それを伝える方法としてのプレゼンテーションのやり方を学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　これからの人生の、心身共に影響を与える住環境を、少しでも良くする方法がわかる。
2　自分で考える力や想像力がつき、自分なりの感性を高められる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: インテリアコーディネートとは。 部屋について	自宅の再確認
2:基本となる図面を読む	広告等の建物の図面を読んで理解する。
3:ライティングボード作製	自宅、店舗やホテル等の照明器具観察
4:イメージボード作製	自分の部屋の家具や小物、色使いを考え、どのように暮らしたいか イメージする。
5:パソコン(3D)　操作方法	操作方法再確認。 自分の部屋を考える。
6:パソコン(3D)　ベッドルーム	部屋での暮し方、快適さを考える。
7:パソコン(3D)　L..D.K	住みやすさを考え、将来の家も考えてみる。
8:パソコン(3D)　L.D.K.	プレゼンの表現方法を確認する。
9:パース　(パースグリッドで部屋)	パースとはどういう物かを確認。
10:パース　(パースグリッドで家具、照明、小物)	家具の描き方、色つけの再確認。
11:プレゼンテーションボード作製　(家具)	マンション一戸分のインテリアコーディネートを考えるので、 広告などで図面を参考にしておく。
12:プレゼンテーションボード作製　(内装)	床の仕上げや表現方法を確認。
13:プレゼンテーションボード作製　(窓まわり、イメージ写真)	雑誌やカタログ、パンフレットで部屋のイメージを描いてみる。
14:作品評価	各人の作品評価で、参考にしたい部分と自信になる部分の確認
15:まとめ、作品返却	

＊準備学習についての補足説明
日頃よりインテリアに興味を持ち、雑誌やカタログを見たり、実物を観察する(居心地、雰囲気、カラーなどを感じ何故か考えてみる)

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし(資料配布)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(80%)、　学習への意欲(20%)
いねむり、私語、スマートフォンの使用(授業に関係ない時)、又、授業に参加してない時(他の事をしている時)に際しては
「学習への意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ほぼ毎回、課題提出になるので、遅刻、欠席はしない。毎回、配布資料は持ってくる。
提出した課題は、次回発表したり、最後の日に、全作品をファイルし、各人にコメントして返却する。
「実務経験教員科目」特記事項:ゼネコン設計部勤務経験あり、これからの住まい方を快適にするように、様々な方法で検討し考えていく。

科目名	科目ナンバリング				
CG演習A	LP47201	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
岡崎　富美		履修要件他：	インテリア関連科目		
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

ベクトル画像処理ソフトAdobe　Illustratorを使用し、コンピュータグラフィックスの基本的な技術を学ぶ。
ベクトル画像の特徴であるベジエ曲線による作画と加工、多様な効果について段階的に学んでいく。

Ⅲ．学習成果

1. ベクトル画像の特徴を理解できる。
2. ベクトル画像の作画と加工をIllustratorを使ってできる。
3. 印刷や適当なファイル形式への保存ができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1. Illustratorの基本操作	授業中に学んだ基本操作を覚える。
2. 線（パス）を描き加工する（直線、曲線、ブラシ）・色の変更 メモ帳の作成	メモ帳に必要な機能やあると便利な項目等調べる。
3:　オブジェクトの作成（ツールを使う） グリーティングカードの作成（1）	グリーティングカードの種類を調べる。
4: オブジェクトの編集（整列、ブレンド、透明度の変更） グリーティングカードの作成（2）	ターゲットや使用目的に合わせたカードについてまとめる。
5: 文字の入力 名刺の作成（1）	名刺に記入すべき内容を調べる。
6: 様々な文字入力（パス上文字ツール、エリア内文字ツール） 名刺の作成（2）	名刺を作成する。
7: オブジェクトの合成（1）（パスファインダ） 地図の作成（1）	分かりやすいアクセスマップの例を見つける。
8: オブジェクトの合成（2）（クリッピングマスク、複合パス） 地図の作成（2）	アクセスマップを作ってみる。
9: アピアランスパネルによる加工 暑中見舞いの作成（1）	季節感のあるカード・絵葉書等を見つける
10: 透明度の設定 暑中見舞いの作成（2）	夏の季節にあった部品を作る
11: スウォッチの作成・登録 ロゴマークの作成（1）＊地域でのエコバッグの作成のためのデザイン	テーマに合ったロゴマークを調べる
12: グラデーションツールを使う ロゴマークの作成（2）＊地域でのエコバッグの作成のためのデザイン	環境をテーマにしたロゴマークを考える
13: 3D効果を使う ロゴマークの作成（3）＊地域でのエコバッグの作成のためのデザイン	出力を考えたデザインを考える
14: エコバッグに関するプレゼンテーション（作品発表）を行う ※アクティブラーニング	発表がスムーズに出来るよう内容（皆に見せれるように作品や資料等）をまとめて用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと。
15: 出力データの管理・まとめ	復習

＊準備学習についての補足説明
毎回学んだことをもとに課題を作成し提出すること（課題の作成には1時間程度必要）

Ⅴ．教科書・参考図書

教科書：デザインの学校「これからはじめるIllustratorの本」（技術評論社）
参考図書：「世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書」（技術評論社）

Ⅵ．評価方法と評価基準

課題の提出（80%）締切厳守、授業への意欲（20%）等で総合的な評価をします。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

パソコンの基本的操作ができる方が望ましいです。
各受講者の作業状況や提出課題の内容に応じて、授業担当者から適宜フィードバックします。
実務経験教員科目：教員は、ポスター・チラシ・リーフレット・ロゴマーク・ショップカード等、紙を使用した物をメインで作ってるグラフィックデザイナーです。

科目名	科目ナンバリング				
CG演習B	LP47202	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	3期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他：	インテリア関連科目		
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	○

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

スマートフォンのアプリなどで簡単に画像加工できる時代になりましたが、そのアプリの元になっているプロが使用する
画像編集ソフト「Photoshop」の基本操作を習得し、写真の合成加工、文字データ編集、WEB用画像、グラフィックデザインへの応用など
ビジュアルコミュニケーションにおける基礎的な表現能力を伸ばす授業です。

Ⅲ．学習成果

1　Photoshopの基本的な操作
2　画像編集の基礎学習
3　グラフィックデザイン、ブランディングの考え方を知る
4　プレゼンテーション（課題発表）で伝達力を高める

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 フォトショップの基本的な機能と使用法について	【復習】プリントに沿って基本操作を復習する。（30分程度）
2:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 画像合成の仕方、色の塗り方、保存の仕方等	【復習】プリントに沿って基本操作を復習する。（30分程度）
3:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 レイヤー作成、各種選択ツール等について	【復習】プリントに沿って、パスの作成/レイヤースタイル/エフェクトなどを復習する。
4:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 文字ツールを使用したロゴデザイン制作	【復習】プリントに沿って、パスの作成/レイヤースタイル/エフェクトなどを復習する。
5:【課題2：gifアニメーション】 講義：拡張子について、WEBと印刷の違いについて	【復習】プリントに沿ってドット絵アニメーションを制作する(30分程度)
6:【課題2：gifアニメーション】 スキャニングと画像補正、素材をアニメーションにする方法	【復習】キャラクターのフレームアニメーションを自主制作する（1時間程度）
7:【課題3：WEBバナー広告デザイン2】 支給された素材でバナー広告をデザインする、WEB用画像の書き出し法	【予習】WEBサイトのバナー広告を収集しUSBに保存してくる（30分程度）
8:【課題4：アロマオイルラベルデザイン】 講義：商品開発とマーケティングについて	【予習】実店舗で売場調査（価格調査やカタログ収集）をし、配布するプリントにまとめてレポート提出すること（1～2時間程度）
9:【課題4：アロマオイルラベルデザイン】 文字の編集及び加工等について	【復習】授業内で制作したデザインから数パターン展開してより良いデザインを選別する（1時間程度）
10:【課題4：アロマオイルラベルデザイン】 イラストレーターとの互換性、画像の解像度、画像の保存形式等について	【予習】ラベルデザインからポスターデザインの構想を練る
11:【課題5：アロマオイルポスターデザイン】 ラベル印刷の注意点	【予習】ポスターデザインで使用する背景画像などをWEBのフリー素材などから収集しUSBに保存してくること（1時間程度）
12:【課題5：アロマオイルポスターデザイン】 講義：レイアウトデザインの法則と用語について	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:【課題5：アロマオイルポスターデザイン】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
14:【課題5：アロマオイルポスターデザイン】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:最終日プレゼンテーション（作品発表）**※アクティブラーニング要素**	【予習】発表がスムーズにできるよう内容（作品とテキスト）を用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと（10～30分程度）

＊準備学習についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内で伝達しプリントを配布します。
課題の遅れを解消する為の復習については作業時間を指定しませんが、個々人の学習意欲により復習時間を確保してください。

Ⅴ．教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と指定の教科書を併用

Ⅵ．評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況（80%）、学習の意欲（20%）等で総合的に評価します。
デザインに必要な会話は推奨しますが、過度の私語・スマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

画像加工の基本操作を習得しながら、課題の後半では各学生が普段興味を持っていることをどのようにデザインとして表現するかを個別に指導していきます。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。
・各課題は課題最終日にプレゼンテーション（課題発表）を行い、その場で講評し採点します。
「実務経験教員科目」特記事項：教員はイラストレーター、ジュエリーデザイナー、生活雑貨の企画開発、スマホアプリ開発など、マルチに活動する現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング				
Webデザイン論	LP47203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
松本　典子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、Webサイトの受注から納品までの一連の流れについて学ぶと共に、実際にWebページのデザインと素材作成を行うことを目的としています。
はじめに、クライアントの要望に沿ったデザインを起こすために必要な実務内容や、デザインするために必要なPhotoshopやIllsutratorの基礎スキルを学びます。その後、実際にWebページのデザインを行い、素材の作成を行っています。
授業の終盤では、Webデザイナーとして、今後必要な勉強の仕方や就職活動の仕方についても触れます。

Ⅲ. 学習成果

Webデザイン制作時に必須となるPhotoshop・Illustratorの基礎的な操作の習得。
Webサイトが完成するまでの一連の流れ(クライアントとの関係や案件を通しての他職種との関わり)の理解。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Webデザイナーの魅力とやりがい、Webデザイナーを目指すために必要なスキル 受注からの納品までの工程、この授業で学習する内容、受講上の注意点	授業中に学んだ内容を整理して、 Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
2:Webページデザインの基礎、顧客へのヒアリングからデザインを起こすまで Webサイトに必要なページ構成・機能	授業中に学んだ内容を整理して、 Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
3:グループワーク:ロゴデザイン制作に関する調査・発表	3-4人のグループで一般的なロゴについて調査と発表。 中間課題提出用のロゴデザイン制作に活かす内容にすること。
4:トップページデザイン①(ヘッダー部分の作成1) Illustratorを使いロゴデザインを作成する	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
5:トップページデザイン②(ヘッダー部分の作成2) Illustratorを使いロゴデザインを作成する	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
6:トップページデザイン③(ヘッダー部分の作成3) Photoshopを使いナビゲーションやボタンの作成、文字の配置	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
7:トップページデザイン④(メイン画像部の作成)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
8:トップページデザイン⑤(コンテンツ部の作成)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
9:トップページデザイン⑥(コンテンツ部の作成)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
10:下部ページのデザイン①(下層ページの作成概要) 下層ページ作成の準備・説明	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
11:下部ページ1のデザイン②(サービスページの作成)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
12:下部ページ1のデザイン③(サービスページの作成)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
13:単位認定試験課題(課題の要件定義・デザイン制作) 単位認定試験課題(トップページのメイン画像・下部ページのデザイン)	単位認定試験課題に取り組む。
14:今後の勉強の仕方、就職活動の準備や方法(ポートフォリオの作成、他) 単位認定試験課題(トップページのメイン画像・下部ページのデザイン)	単位認定試験課題に取り組む。
15:Webデザイナーに必要なスキルとキャリア形成 まとめ	単位認定試験課題に取り組む。

＊準備学習についての補足説明
各自の理解不足を解消するため、教科書や授業中に配布する資料を利用して、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

グラフィックデザイン Illustrator & Photoshop(デジタルハリウッド著)技術評論社　2015年10月8日発売分

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出:100%(締め切り厳守)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebクリエート演習と一緒に受講すること。パソコンの基礎的な操作(キーボード入力・マウス操作)ができること。
・各受講者の作業状況や提出課題の内容に応じて、授業担当者から適宜フィードバックします
「実務経験教員科目」特記事項:Webデザイナーとしての実務経験16年以上。現在はシステム開発会社に所属し、Web・ロゴ・UI設計等の各種デザイン制作やアートディレクションを担当。また、個人活動がMicrosoft社に評価されMicrosoft MVP for Microsoft Azureを4期連続受賞。
デザイン関連の業務以外に、Azure(クラウドサービス)の技術に関する情報発信やコミュニティ活動も積極的に行っている。

科目名	科目ナンバリング				
Webクリエート演習	LP47204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
田中　健吾		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、組織や団体が持つような一般的なwebサイトを作成することを目的とする。はじめに、HTMLとCSSを初歩から学び、一般的な規則を理解していく。次に、Webデザイン論で作成したwebページの素材を、HTMLとCSSを用いてwebサイトを構築する。

Ⅲ. 学習成果

・HTMLを理解し、使いこなせるようになる。
・CSSを理解し、使いこなせるようになる。
・一般的な組織や団体が持つような一般的なホームページをHTMLとCSSの範囲内で作成できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Webサイトの現状、受講上の注意点	受講上の注意事項を理解して次回以降の準備をする
2:フォント、文字コード、テキストエディター、Webブラウザ	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
3:HTML①	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
4:HTML②	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
5:HTML③	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
6:ボックスモデルの理解①	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
7:ボックスモデルの理解②	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
8:HTML+CSS①	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
9:HTML+CSS②	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
10:HTML+CSS③	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
11:HTML+CSS④	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
12:HTML+CSS⑤	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
13:復習および質問対応(受講者間で互いの疑問を共有し、解決に取り組む)	これまでの理解不足や作業の遅れを解消する
14:Webサイトのサンプルを作成してみる①	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
15:Webサイトのサンプルを作成してみる②	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
16:Webサイトのサンプルを作成してみる③	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
17:Webサイトのサンプルを作成してみる④	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
18:Webサイトのサンプルを作成してみる⑤	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
19:復習および質問対応(受講者間で互いの疑問を共有し、解決に取り組む)	これまでの理解不足や作業の遅れを解消する
20:スライス	学習した知識・技術を復習し、次回以降の授業に利用可能にする
21:トップページのコーディング①	トップページの制作の遅れを解消する
22:トップページのコーディング②	トップページの制作の遅れを解消する
23:トップページのコーディング③	トップページの制作の遅れを解消する
24:トップページのコーディング④	トップページの制作の遅れを解消する
25:トップページのコーディング⑤	トップページの制作の遅れを解消する
26:トップページのコーディング⑥	トップページの制作の遅れを解消する
27:下層ページの作成①	下層ページの制作を行う
28:下層ページの作成②	下層ページの制作を行う
29:下層ページの作成③	下層ページの制作を行う
30:下層ページの作成④	下層ページの制作を行う

＊準備学習についての補足説明
・出題された練習問題や課題はパソコン室の空き時間を利用して提出期限までに完成させること。
・各自の理解不足を解消するために、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しない。授業中に資料を配付するので、各自でファイリングするなどして資料を整理し、いつでも参照できるようにすること。
・授業中に作成したデータも重要な資料となるので、各自でデータの管理を行い、いつでも参照できるようにすること。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出:100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebデザイン論と一緒に受講すること。
・理解度を確認するために練習問題を出題しますので、各受講生の作業状況に応じて、授業中にコメントしてフィードバックを行います。
・この授業で一番大切なことは、分からないことを授業担当者や同じ受講者に質問して解決できる能力です。
・授業に欠席した場合には授業内容や課題を各自で授業担当者や同じ受講者に確認して、必ず授業内容や課題に対応すること。

科目名	科目ナンバリング				
CGデザイン演習Ⅰ	LP47205	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	4期		
		形態：	演習	単位：	2単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他：			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目：	○	実務経験教員科目：	○

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

2種類の画像処理ソフト（Adobe Illustrator, Adobe Photoshop）の基本的な操作に基づいて、
写真やテクスト等、様々な素材による構成技術を学びます。
商品開発の基礎やデザインの現場に関する内容を講義に取り入れ、知識を深めていきます。
※「CG演習A」「CG演習B」を履修していることが履修条件です※

Ⅲ．学習成果

1　PhotoshopとIllustratorを組み合わせてより実践的な作品制作をする
2　企画会議をグループディスカッションとして取り入れ、コミュニケーション能力を高める
3　企画書から商品展開へとデザインの展開力を高める
4　プレゼンテーション（課題発表）で伝達力を高める

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:【課題1：雑誌の表紙デザイン】 PhotoshopとIllustratorの連動　画像リンクについての実習	【復習】プリントに沿ってイラストレーターでの画像の取り扱いを 復習する（30分程度）
2:【課題1：雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** ラフ画、イメージスケッチ、グループでの企画会議	【予習】既存の雑誌を観察しどのような雑誌をデザインするか グループ内でディスカッションしておく（30分程度）
3:【課題1：雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション	【予習】発表がスムーズにできるようテキストを用意し 発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)
4:【課題2：キャラクターデザイン】 講義：世界の文化背景から見るキャラクターデザインの考察	【予習】身近にあるキャラクターを良く観察して分類分けをし、 配布されたプリントにキャラクターの分布図をまとめる（1時間程度）
5:【課題2：キャラクターデザイン】 イラストからノベルティグッズをつくる方法をレクチャ	【復習】授業内で紹介したオンライングッズ制作サービスを利用し オリジナル画像やキャラクターで雑貨をデザインしてみる（30分）
6:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 手描きのイラストから Illustratorを使ってイラストデザインを仕上げる	【予習】お菓子のパッケージに使用する為のオリジナルキャラクターの 手描きスケッチを準備してくること（10～30分程度）
7:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 絵が描けない人でも Illustratorを使って画像からイラストを作成する方法	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
8:【課題3：お菓子パッケージデザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション（作品発表）	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
9:【課題4：マイショップデザイン】飲食店、美容院、雑貨、アパレル、など、 各自が思い描くショップを企画書としてデザインし、パッケージまでデザイン展開する	【予習】冬季休暇中にデザインに使用する画像収集をすること （USBに保存推奨）
10:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ショップカードデザイン	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
11:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ショップバッグデザイン	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
12:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ハガキ、その他パッケージデザイン	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:講義：就活に役立つポートフォリオ（作品集）の作り方 課題で制作した作品のまとめ方をレクチャします	【復習】授業内で制作した課題作品を就活などに使用できる ポートフォリオとしてまとめる（2時間程度）
14:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:【課題4：マイショップデザイン】※アクティブラーニング要素 最終日プレゼンテーション（作品発表）	【予習】発表がスムーズにできるよう内容（作品とテキスト）を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)

＊準備学習についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内で伝達しプリントを配布します。
課題の遅れを解消する為の復習については作業時間を指定しませんが、個々人の学習意欲により復習時間を確保してください。

Ⅴ．教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と教科書を併用。
教科書はCG演習Bで使用するものと同一です。

Ⅵ．評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況（80%）、学習の意欲（20%）等で総合的に評価します。
デザインに必要な会話は推奨しますが、過度の私語・スマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

アイデアを形にする経験を通して世の中を観察する力や様々な業種に活かせる応用力が身につきます。受講生の個性を発揮できるよう後半はデザインを個別指導します。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。
・「CG演習A」「CG演習B」を履修していること。
・各課題は課題最終日にプレゼンテーション（課題発表）を行い、その場で講評し採点します。
「実務経験教員科目」特記事項：教員はイラストレーター、ジュエリーデザイナー、生活雑貨の企画開発、スマホアプリ開発など、マルチに活動する現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング				
データベース入門演習	LP52201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
中野　豊		履修要件他:	事務系関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

教材に使う Microsoft Access はリレーショナルデータベース(RDB)に分類されるデータベースとして，ビジネス分野で利用されている.
この授業ではビジネス現場でのデータベースの使用方法を理解し，データベースの設計および操作(データの入力，検索，並び替え，出力)の基礎を学ぶ.「情報関連科目」を修得済みの学生を対象にした講義および演習であるので，特に1年生は注意されたい.

Ⅲ. 学習成果

1. データベースの基礎を理解し，Microsoft社のAccessを使ったデータベースの構築を可能にする.
2. Access に限らない，一般的なデータベースの概念の理解を可能にする.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: データベースの概要とその応用例およびAccessの基礎知識	データベースの概念，およびどのような場面で活用されているのか Accessの構造と基本的な操作方法
2: テーブルの作成1	テーブルの役割と作成
3: テーブルの作成2	マスターテーブルおよび売り上げデータのテーブルの作成 インポートによるデータの入力
4: リレーションシップの作成	リレーションの役割と作成
5: クエリの作成(フィールドの加工)1	クエリによるフィールドの編集と仮想テーブルの作成
6: クエリの作成(フィールドの加工)2	演算フィールドの設定t演算フィールドを含む仮想テーブルの作成
7: フォームの作成1	フォームの役割と作成
8: フォームの作成2	フォームの作成と入力時のコントロール
9: クエリの作成(レコードの加工)1	条件に合致したレコードの抽出
10: クエリの作成(レコードの加工)2	レコードの抽出における各種条件の設定
11: レポートの作成1	レポートの構造と役割
12: レポートの作成2	レポートの作成
13: データベースの作成演習1	テキストに従ってデータベース作成の流れを確認
14: データベースの作成演習2	データベースに含まれる各種オブジェクトの役割と作成を確認
15: グループごとに与えられた課題に対してデータベースによる問題解決を目指す	課題に対するデータベースを使った問題解決

＊準備学習についての補足説明
準備学習は，各回45分以上行ってください. Accessのオブジェクトを作成するたびに印刷物，もしくはPDFによる提出を求めます.
データベースは複数のオブジェクトを含むため作成に時間がかかります. 授業の流れを理解できるように予習・復讐を行ってください.

Ⅴ. 教科書・参考図書

「よくわかる Microsoft Access 2013 基礎」FOM出版　￥2,000円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(15%)，課題提出状況(15%)および終了時の実技試験(70%，テキスト持込可)で総合的に判断します

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

科目名	科目ナンバリング				
英語検定対策講座A	LP60201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　茂徳		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

英語検定試験に合格するための英語力を身につける。4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく勉強します。
単語・熟語数の増加，長文読解の思考力の強化，作文の表現力の向上，リスニングの音感の改善，スピーチの論理力の構築を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・英語の4技能に関する基本的な能力を身につけます。
・英語学習の方法を習得します。
・英語検定資格を有し，就職活動および社会で活用します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　英語学習方法の指導(1):①単語・熟語の学習方法 ②読解力と表現力の学習方法	現在の英語力を評価すること。 目標の級数を設定すること。
2:　英語学習方法の指導(2):①リスニングの指導　②スピーチの指導	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
3:　名詞の大切な働き(1):情報の中心 ・コミュニケーションのための表現(1)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
4: 名詞の大切な働き(2):カタマリとしてみる ・コミュニケーションのための表現(2)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
5:　名詞の大切な働き(3):文の流れを追う ・コミュニケーションのための表現(3)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
6:　動詞の大切な働き(1):　他の語との組み合わせ ・コミュニケーションのための表現 (4)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
7: 動詞の大切な働き(2):　日常でよく使う表現 ・コミュニケーションのための表現(5)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
8:　動詞の大切な働き(3):　効果的表現 ・コミュニケーションのための表現(6)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
9: 歴史・文化・社会に関するテーマ(1):テーマとあらすじを推測する ・コミュニケーションのための表現(7)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
10: 歴史・文化・社会に関するテーマ(2):あらすじの中のキーワードを発見する ・コミュニケーションのための表現(8)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
11: 歴史・文化・社会に関するテーマ(3):各段落のトピックスを探す。 ・コミュニケーションのための表現(9)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
12:　Eメールの表現(1):決まり文句 ・コミュニケーションのための表現 (10)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
13:　Eメールの表現(2):人間関係・仕事の手順などの理解 ・コミュニケーションのための表現 (11)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
14:　ライティングの技術向上(1):書き方のポイント ・コミュニケーションのための表現(12)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
15: ライティングの技術向上(2):具体的例の大事さ ・コミュニケーションのための表現(13)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。

＊準備学習についての補足説明
2回目以降の授業では、毎回単語・熟語テストを行いますので、その準備が必要です。(毎日15分～30分の暗唱)

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 2020年度版 英検 準2級 過去6回全問題集CD (旺文社英検書)
2. 毎回補助プリントあり。
3. 主テキスト以外に、個別的に必要があれば適宜指示します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%
単語・熟語試験 25%
授業参加度　25%(積極的な授業参加:毎回，グループでプレゼンテーションを行うので、積極さが求められる)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英作文・読解問題における答案に関しては、添削を通して各自の問題点を指摘し、改善策を指導する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
サービス接遇検定2級対策講座	LP60202	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　則子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

サービス接遇とは、お客様（利用者）に満足を与えるための行動である。この授業では、サービス業に限らず、どのビジネスの場でも必要となる「ものの具体的な考え方・行動の仕方・口の利き方」などが理解できるようになることを目標とする。

サービス接遇検定の試験範囲「サービススタッフの資質」「専門知識」「一般知識」「対人技能」「実務技能」の5つの領域について、2級レベルの知識を習得し、サービス接遇検定2級合格を目指します。

Ⅲ．学習成果

・サービス接遇検定2級に合格する知識を身につけることができる。
・サービス接遇実務について理解でき、一般的なサービス業やビジネスの場で必要な知識、技能を身につけることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:サービスとは何か、サービス接遇検定について サービス接遇検定の問題を解いてみよう	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービス接遇検定の問題を解き、次回提出する。
2:サービススタッフの資質① 必要とされる要件、身だしなみ	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフとしての身だしなみを整える。
3:サービススタッフの資質② 良識ある素直な態度、協調性と忍耐力	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフの資質に関する問題を解く。
4:専門知識① サービスの意義、機能、種類の理解	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフから受けた対応（良い点・悪い点）を書きだす。
5:専門知識② 商業・経済活動と用語の理解	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 専門知識に関する問題を解く。
6:一般知識① 社会常識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 ことわざや慣用句を調べる。
7:一般知識② 時事問題	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 一般知識に関する問題を解く。
8:対人技能① 話し方、服装	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 敬語に関する問題を解く。
9:対人技能② 人間関係、接遇知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 対人技能に関する問題を解く。
10:実務技能① 環境整備、グループワーク：問題に対処する力についての考えをまとめる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 さまざまな現場の環境整備を考える。
11:実務技能② 金品管理、金品搬送	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 さまざまな現場の金品の扱い方を観察して、対応をまとめる。
12:実務技能③ 社交業務、慶弔の知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 実務技能に関する問題を解く。
13:検定実問題①	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 実問題集を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
14:検定実問題②	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 実問題集を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
15:まとめ、過去の問題研究	演習問題から不得意な項目を抽出し、検定試験対策を作る。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページと演習問題は、その都度確認する。

Ⅴ．教科書・参考図書

1．1回で受かる　サービス接遇検定2級・3級テキスト＆問題集　　￥1，200＋税
2．サービス接遇検定実問題集　1．2級　早稲田教育出版　　￥1，500＋税
3．配布プリント

Ⅵ．評価方法と評価基準

1．単位認定試験結果（50%）　2．提出物（35%）　3．学習の意欲（15%）

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

1．6月のサービス接遇検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指す。　2．すでにサービス接遇検定2級を取得した人は、履修できない。
3．検定日程・授業方法等を説明するので、秘書検定に関する資格・検定説明会に必ず出席すること。
4．第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
5．人数を制限することがある。　6．課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ホスピタリティ検定2級対策講座	LP60203	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

あらゆる業界・業種にて注目されているホスピタリティ検定2級の合格を目指します。相手の立場に立って、物事を捉え考え行動する習慣と豊かな倫理観を身につけるため、自己分析により自分を見つめ直します。また、人や組織を発展させるためのコミュニケーションスキルを学ぶことで、自己の成長のみならず、あらゆる人材の育成や組織の発展に結びつける考え方を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・ホスピタリティ検定2級に合格する知識を修得し、ホスピタリティを実践できる。
・相手が求めていることを感じ取り、表現できる。
・日常生活においてホスピタリティマインドを発揮できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　ホスピタリティとは何か、ホスピタリティ検定について グループワーク:「心に残るおもてなし」をテーマとし、グループ討議、その後発表	これまでに心に残った「おもてなし」について自分なりにまとめてくる
2:　ホスピタリティの基本①(ホスピタリティ・マインド、ホスピタリティ・アクション) グループワーク:「ホスピタリティ・マインド」をテーマとし、グループ討議、その後発表	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 「ホスピタリティ・マインド」が実践されている事例を調べてくる
3:　ホスピタリティの基本②(共創、Win-Winの関係、Why的発想) グループワーク:「Win-Winの関係を築くには」をテーマとし、グループ討議、発表	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 「Win-Winの関係」ができている事例を調べてくる
4:　自分を知る　EQ(感情知能指数)の要素	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 EQチェックテストに解答する
5:　自分を知る　TA(交流分析)　心の状態	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 TAチェックテストに解答する
6:　ホスピタリティ・マナー(挨拶・笑顔・返事・身だしなみ) ロールプレイを通じてホスピタリティ・マナーを実体験	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 自分が実践しているホスピタリティ・マナーを書き出す
7:　コミュニケーション(積極的な聴き方、効果的な話し方、言葉づかい) ロールプレイを通じてコミュニケーション力を高める	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 人とコミュニケーションを取る時に大切にしていることをまとめてくる
8:　顧客満足とは何か、クレーム対応で大切なこと	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 お客様として利用したお店などで印象に残った対応を書き出す
9:　よい職場環境の大切さ(従業員満足、差別のない職場、支え合う職場) グループワーク:「将来働いてみたい理想の職場」をテーマとし、グループ討議、発表	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 「ハラスメント」の事例を調べてくる
10:　人材育成とホスピタリティ グループワーク:「ディスニーの人材育成」をテーマとし、グループ討議、その後発表	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 「ディズニーの人材育成」について調べてくる
11:　企業の社会的責任とホスピタリティ	授業の中で指定する教科書の内容を読んで、 企業の経営理念や企業倫理、コンプライアンスについて調べてくる。
12:　ホスピタリティの事例(ホテルから学ぶ)	グループで身近なホスピタリティの事例を調べ、内容をまとめる
13:　プレゼンテーション:各グループ毎に自分たちが考える「ホスピタリティ」の発表	オリジナルのホスピタリティの発表に向けての準備
14:　記述式問題対策	演習問題を解いて、提出する
15:　まとめ	これまでの講義内容でわからないこと、不得意なことを書きだす そして自分なりに検定試験対策を作る

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホスピタリティ検定　公式テキスト＆問題集　2級・3級　2019年度版』 一般社団法人　ホスピタリティ機構　経済法令研究会
参考図書:『レッツ、ホスピタリティ！』野口幸一・戸辺美由紀　経済法令研究会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%、課題(提出物)35%、学習の意欲15%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・受講生は必ず、指定教科書の該当箇所を読んでから本講座に参加してください。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング				
Word検定対策講座	LP60204	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

・日本情報処理検定協会主催のワープロ検定（準2級～初段）の合格のために級別の指導を行います。
・実技試験のみの検定ですので上級の合格を目指すことができます。
・受講者はワープロ検定を受験しなくてはいけません

Ⅲ．学習成果

ワープロ検定に合格することができます。
授業では、毎回入力練習を行いますので正確で速いタイピングのスキルを身につけることができます。
準2級から1級まで受験できるように指導しますが、上級者には初段の指導も行います。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:検定内容の説明	指定のタイピング練習を行い(2回以上)　記録表に記録する
2:タイピング練習・レイアウトの確認	入力宿題①
3:タイピング練習・検定内容の詳細(表作成)	レイアウト宿題①
4:タイピング練習・検定内容の詳細（地図の作成）	入力宿題②
5:タイピング練習・入力練習・「記」書き・申込書の作成方法	入力宿題③
6:タイピング練習・入力練習・前回の入力結果を参考に受験級の決定	レイアウト宿題②
7:タイピング練習・入力練習・級別作成練習	入力宿題④
8:タイピング練習・入力練習・級別作成練習	検定の個人練習を行い　記録表に記録する
9:タイピング練習・入力練習・級別作成練習	検定の個人練習を行い　記録表に記録する
10:タイピング練習・入力練習・級別作成練習	検定の個人練習を行い　記録表に記録する
11:タイピング練習・入力練習・級別作成練習	検定の個人練習を行い　記録表に記録する
12:模擬検定①：検定当日と同じ流れで入力・作成を行う	検定の個人練習を行い　記録表に記録する
13:模擬検定②：検定当日と同じ流れで入力・作成を行う	検定の個人練習を行い　記録表に記録する
14:単位認定試験内容の説明	単位認定試験内容を個人で確認し不明な点は15回目の授業で解決
15:課題集の作成	課題集は提出期限までに提出する

＊準備学習についての補足説明
タイピング練習・検定練習・宿題の完成など1日30分程度はWordを利用する時間を作ってください。
入力・作成結果は個人練習分も記録しておいてください。

Ⅴ．教科書・参考図書

日本情報処理検定協会　級別ワープロ検定問題集　準2級・2級（￥770）　準1級・1級（￥880）　初段（￥1，331）

Ⅵ．評価方法と評価基準

単位認定試験（実技）40%　提出課題　40%　　宿題20%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

検定合格のためには授業中の練習だけではなく授業時間以外の個人練習が必要となります。
提出した課題はチェック・採点後返却します。最終回の授業で作品集にまとめますので保管しておいてください。
課題の提出・未提出に関しては授業ごとに確認できるようにします

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Word検定対策講座	LP60204	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

・日本情報処理検定協会主催のワープロ検定（準2級～初段）の合格のために級別の指導を行います。
・Microsoft　office　Specialist　Word試験の合格のための指導を行います。
・受講者は必ずどちらかの検定を受験してください。

Ⅲ．学習成果

・ワープロ検定もしくはMOS検定に合格することができます。
・どちらの検定受講者も毎回タイピング練習を行いますので正確で速いタイピングのスキルを身に付けることができます。
・ワープロ検定では準2級から1級までの検定が受験可能なように指導します。（上級者には初段の指導を行います。）

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:検定内容の説明 それぞれの検定の過去の問題を参考にどちらの検定を受験するか決定する	指定のタイピング練習を行い(2回以上)　記録表に記録する
2:タイピング練習・レイアウトの確認(ワープロ検定) タイピング練習・模擬練習問題①（MOS検定）	入力宿題①（ワープロ検定） 授業内容の復習を行う：模擬問題①（MOS検定）
3:タイピング練習・検定内容の詳細(表作成) タイピング練習・模擬練習問題②（MOS検定）	レイアウト宿題①（ワープロ検定） 授業内容の復習を行う：模擬問題②（MOS検定）
4:タイピング練習・検定内容の詳細（地図の作成）（ワープロ検定） タイピング練習・模擬練習問題③（MOS検定）	入力宿題②（ワープロ検定） 授業内容の復習を行う：模擬問題③（MOS検定）
5:タイピング練習・入力練習・「記」書き・申込書の作成方法（ワープロ検定） タイピング練習・模擬練習問題④（MOS検定）	入力宿題③（ワープロ検定） 授業内容の復習を行う：模擬問題④（MOS検定）
6:タイピング練習・入力練習・前回の入力結果を参考に受験級の決定 入力練習・模擬練習問題⑤（MOS検定）	レイアウト宿題②（ワープロ検定） 授業内容の復習を行う：模擬問題⑤（MOS検定）
7:タイピング練習・入力練習・級別作成練習（ワープロ検定） タイピング練習・模擬テスト①②（MOS検定）	入力宿題④（ワープロ検定） 模擬テスト①②が時間内に合格できるよう個人練習（MOS検定）
8:タイピング練習・入力練習・級別作成練習（ワープロ検定） タイピング練習・模擬テスト③④（MOS検定）	検定の個人練習を行い　記録表に記録する 模擬テスト③④が時間内に合格できるよう個人練習（MOS検定）
9:タイピング練習・入力練習・級別作成練習（ワープロ検定） タイピング練習・模擬テスト⑤⑥（MOS検定）	検定の個人練習を行い　記録表に記録する 模擬テス⑤⑥が時間内に合格できるよう個人練習（MOS検定）
10:タイピング練習・入力練習・級別作成練習（ワープロ検定） タイピング練習・模擬テスト⑦・過去問題に挑戦（MOS検定）	検定の個人練習を行い　記録表に記録する 模擬テスト⑦が時間内に合格できるよう個人練習（MOS検定）
11:タイピング練習・入力練習・級別作成練習（ワープロ検定） タイピング練習・過去問題に挑戦（MOS検定）	検定の個人練習を行い　記録表に記録する 過去問題が時間内に合格できるよう個人練習（MOS検定）
12:模擬検定①：検定当日と同じ流れで入力・作成を行う(ワープロ検定) タイピング練習・過去問題に挑戦（MOS検定）	検定の個人練習を行い　記録表に記録する 過去問題が時間内に合格できるよう個人練習（MOS検定）
13:模擬検定②：検定当日と同じ流れで入力・作成を行う(ワープロ検定) 入力練習・過去問に挑戦・指示に従い不得意分野をクリア（MOS検定）	検定の個人練習を行い　記録表に記録する 過去問題が時間内に合格できるよう個人練習（MOS検定）
14:単位認定試験内容の説明	単位認定試験内容を個人で確認し不明な点は15回目の授業で解決
15:課題集の作成	課題集は提出期限までに提出する

＊準備学習についての補足説明
タイピング練習・検定練習・宿題の完成など1日30分程度はWordを利用する時間を作ってください。
ワープロ検定の入力・作成結果は個人練習分も記録しておいてください。

Ⅴ．教科書・参考図書

日本情報処理検定協会　級別ワープロ検定問題集　準2級・2級（￥770）　準1級・1級（￥880）　初段（￥1，331）
日経BP社　MOS攻略問題集第2版　￥1，800＋税

Ⅵ．評価方法と評価基準

単位認定試験（実技）40%　提出課題　40%　　宿題20%

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

検定合格のためには授業中の練習だけではなく授業時間以外の個人練習が必要となります。
提出した課題はチェック・採点後、返却します。（返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。）
課題の提出・未提出に関しては授業ごとに確認できるようにします。

科目名	科目ナンバリング				
秘書検定2級対策講座	LP60205	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　則子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

秘書検定の試験範囲「必要とされる資質」「秘書の職務知識」「一般知識」「マナー・接遇」「技能」の5つの領域について、2級レベルの知識を習得し、秘書検定2級合格を目指す。

Ⅲ．学習成果

・秘書検定2級に合格する知識を身につけることができる。

・社会人として必要な基本知識やビジネスマナーを身つけることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:秘書とは何か、秘書検定について 秘書検定の問題を解いてみよう	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 秘書検定の過去問題①を解き、次回提出する。
2:秘書に必要とされる資質 秘書にふさわしい身だしなみ	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 講義内容の演習問題を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
3:秘書としての職務知識 秘書の機能と役割、上司からの指示・命令の受け方と報告	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 講義内容の演習問題を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
4:秘書としての一般知識① ビジネス用語の知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 新聞などから分からない言葉を抽出し、意味を調べる。
5:秘書としての一般知識② カタカナ用語、略語	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 講義内容の演習問題を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
6:秘書としてのマナー・接遇① 敬語、来客対応の言葉遣い、電話応対	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 敬語の問題を解く。
7:秘書としてのマナー・接遇② 慶弔のマナー、来客対応	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 講義内容の演習問題を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
8:郵便物・文書の取り扱い方 社内文書の種類と書き方	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 社内文書を作成する。
9:会議の準備、カタログなどの整理、スケジュール管理	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 講義内容の演習問題を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
10:社外文書・社交文書の種類と書き方	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 講義内容の演習問題を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
11:記述問題対策：マナー・接遇① 敬語、電話応対の応用	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 過去問題②を解く。
12:記述問題対策：マナー・接遇② 慶弔のマナー（グループワークで応用課題に取り組み、発表する）	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 過去問題③を解く。
13:記述問題対策：技能① グラフ作成、社内外で使用される用語	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 演習問題（直前模擬試験）を解く。
14:記述問題対策：技能② 手紙、伝言メモなどの文書作成、ファイリング	今までに配布したプリント、提出課題をファイリングする。 演習問題（本試験）を解く。
15:まとめ、過去問題の研究	演習問題から不得意な項目を抽出し、検定試験対策を作る。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページと演習問題は、その都度確認する。

Ⅴ．教科書・参考図書

1．秘書検定2級に面白いほど受かる本　株式会社KADOKAWA　￥1，400＋税
2．秘書検定2級 新クリアテスト　早稲田教育出版　￥1，000＋税
3．配布プリント

Ⅵ．評価方法と評価基準

1．単位認定試験結果（50%）　2．提出物（35%）　3．学習の意欲（15%）

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

1．2月の秘書検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指す。　2．すでに秘書検定2級を取得した人は、履修できない。
3．検定日程・授業方法等を説明するので、秘書検定に関する資格・検定説明会に必ず出席すること。
4．第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
5．人数を制限することがある。　6．課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング				
英語検定対策講座B	LP60206	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　茂徳		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

英語検定試験に合格するための実践的な英語力を身につける。4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく勉強します。
単語・熟語数の増加，長文読解の思考力の強化，作文の表現力の向上，リスニングの音感の改善，スピーチの論理力の構築を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・英語の4技能に関する実践的能力を身につけます。
・英語学習の方法を習得します。
・英語検定資格を有し，就職活動および社会で活用します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　社会情報に関する表現(1):経済活動(1) ・コミュニケーションのための表現(1)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
2:　社会情報に関する表現(2):経済活動(2) ・コミュニケーションのための表現(2)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
3:　社会情報に関する表現(3):経済活動(3) ・コミュニケーションのための表現(3)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
4:　社会情報に関する表現(4):社会参画活動(1) ・コミュニケーションのための表現(4)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
5:　社会情報に関する表現(5):社会参画活動(2) ・コミュニケーションのための表現(5)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
6:　社会情報に関する表現(6):社会環境問題(1) ・コミュニケーションのための表現(6)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
7:　社会情報に関する表現(7):社会環境問題(2) ・コミュニケーションのための表現(7)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
8:　社会情報に関する表現(8):社会環境問題(3) ・コミュニケーションのための表現(8)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
9:　医療に関する表現(1):病気 ・コミュニケーションのための表現(9)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
10:　医療に関する表現(2):栄養 ・コミュニケーションのための表現(10)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
11:　医療に関する表現(3):運動 ・コミュニケーションのための表現(11)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
12:　調査研究に関する表現(1):心理的問題 ・コミュニケーションのための表現(12)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
13:　調査研究に関する表現(2):ジェンダー問題 ・コミュニケーションのための表現(13)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
14:　インターネットに関する表現(1):グローバル化 ・コミュニケーションのための表現(14)	単語・熟語の暗唱を毎日継続して行うこと。
15:　インターネットに関する表現(2):生活に関する影響 ・コミュニケーションのための表現(15)	

＊準備学習についての補足説明
授業では、毎回単語・熟語テストを行いますので、その準備が必要です。(毎日15分～30分の暗唱)

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 2020年度版 英検 **2級** 過去6回全問題集CD (旺文社英検書)
2. 毎回補助プリントあり。
3. 主テキスト以外に、個別的に必要があれば適宜指示します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%
単語・熟語試験 25%
授業参加度　25%(積極的な授業参加:毎回，グループでプレゼンテーションを行うので、積極さが求められる)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英作文・読解問題における答案に関しては、添削を通して各自の問題点を指摘し、改善策を指導する。

科目名	科目ナンバリング				
Excel検定対策講座	LP60207	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
三尾　直美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般をマスターし、種々の検定試験にも対応できる実力を身につける。

Ⅲ. 学習成果

MOS(Microsoft Excel Specialist)取得レベルは完全にマスターする。
また、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級のレベルは完全マスターし、2級レベルの技能も、一通り、学ぶ。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　模擬問題(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
2:　模擬問題(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
3:　模擬問題(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
4:　模擬問題(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
5:　模擬問題(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
6:　模擬問題(本番モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
7:　プレゼンテーション　クラス全体に対して、問題の解説をする	プレゼンテーションの準備と反省
8:　プレゼンテーション　クラス全体に対して、問題の解説をする	プレゼンテーションの準備と反省
9:　Excel検定3級練習問題(集計表、グラフの作成)	3級練習問題の復習
10:　Excel検定3級練習問題(集計表、グラフの作成)	3級練習問題の復習
11:　Excel検定2級練習問題(ピボットテーブル)	ピボットテーブルなど、発展的問題の復習
12:　Excel検定2級練習問題(ゴールシーク等)	ゴールシークなど、発展的問題の復習
13:　Excel検定2級練習問題(総合)	2級練習問題の復習
14:　Excel検定2級練習問題(総合)	2級練習問題の復習
15:　Excel検定2級練習問題(総合)	2級練習問題の復習

＊準備学習についての補足説明
十分できなかった問題は、自分で、再度復習する。1時間前後で、復習できると思われる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

日経BP社　MOS攻略問題集2013 第2版　￥1,800＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回の課題提出50%　　試験 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

MOS(Microsoft Excel Specialist)、または、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級または2級を受験することを、単位取得の条件とする。

科目名	科目ナンバリング				
地域創生入門	LP61201	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2018年度にライフプランニング総合学科内で活動する学生組織として「Koran Girls」を立ち上げた。設立の主な目的は、学内外で企画されたプログラムへ参加し、それぞれの課題をクリアすることにあるが、真の目的は、社会で通用する学生の育成にある。本学科は、地域総合学科として短大基準協会より正式に認められている学科であり、地域で活躍する人材の育成が重要であると考えている。そこで、この授業を通して、地域で活躍する人材の基礎スキルを高め、夏休み以降本格的に始まる各プログラムへと参加するための橋渡しを行う予定である。

Ⅲ. 学習成果

①マインドセット(「Koran Girls」のクレドの理解等)の重要性を理解し、自らの行動指針となるように訓練を行う。
②PDCAサイクルの経験値を増やし、プロジェクトを回すことを経験する。
③ビジネスマナー(名刺の作成、アポ入れ、メール文の書き方等)について実践を通して学ぶ。
④各地域で活躍するために必要な情報収集の仕方を学び、リーダー及びフォロワーの役割について理解する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Koran Girlsのクレドの説明と今後の予定の確認	予習:　説明会資料を読み返しておくこと。 復習:　行動日誌の記入
2: ファシリテーションについて①	予習:　事前配布資料を読んでおくこと。 復習:　行動日誌の記入
3: ファシリテーションについて②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
4: チーム分け並びに今後のスケジュールの確認	予習:　希望するプログラムをある程度絞っておくこと。 復習:　行動日誌の記入
5: 各グループ内での活動内容の検討①	予習:　名刺の作成とビジネスマナー関連資料を読んでおくこと 復習:　行動日誌の記入
6: 各グループ内での活動内容の検討②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
7: プレゼンテーションについて①	予習:　グループ内での検討内容をまとめておく。 復習:　行動日誌の記入
8: プレゼンテーションについて②	予習:　プレゼンの再チャレンジ/レポートの書き方の解説 復習:　振り返りレポートの作成・提出
9:	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習についての補足説明
①授業開始後、「行動日誌」を毎日つけ、授業の前日に担当者へ提出する。翌日の授業の際に「行動日誌」を返却する。
②「行動日誌」を元に、「振り返りレポート」を書き、提出する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:なし　※授業内で必要な資料は配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本講座を受講できるのは、「Koran Girls」へ入りたい学生のみである。
②2020年度は、20名を上限として募集する。定員を超えた場合は後日選抜を行う。選抜方法については後日お知らせする。
③3期からはじまる「地域創生演習」並びに5期からはじまる「地域創生論」は、本講座の受講生のみ受講できる。
④授業期間外にも活動を行う予定であるので、参加が可能な学生に受講してもらいたい。

科目名	科目ナンバリング				
地域創生演習	LP61202	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2期よりはじまった「地域創生入門」の内容を踏まえて、各グループで実施するプログラムの確認や、全体で行うプログラムについて検討する。
本講座では、チームビルディング、リーダーシップ、フォロワーシップの育成を主眼とし、学内外の方々と共に各プログラムを実施し、再度「行動日誌」及び「振り返りレポート」を作成しながら、成長実感できる内容を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①チームビルディングについて学び、スケジュール管理の手法や予算管理などについて学習する。
②リーダーシップについて全体で検討し、全体とグループで動く際の違いや同じ部分を理解する。
③フォロワーシップの重要性を共有し、一人一人が自らの特徴を活かした活動を行う。
④地域創生入門で学んだ内容を復習し、体得する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　イントロダクション(夏季休暇中の報告・発表等)	予習:　夏季休暇中の活動をまとめておく 復習:　今後の計画を作成する
2:　チームビルディングについて①	予習:　事前配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
3:　チームビルディングについて②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
4:　各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
5:　各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
6:　各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
7:　発表	予習:　発表資料の準備 復習:　「振り返りレポート」の作成
8:　リーダーシップとフォロワーシップについて①	予習:　事前配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
9:　リーダーシップとフォロワーシップについて②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
10:　各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
11:　各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
12:　各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
13:　振り返りレポートの作成①	予習:　これまでの内容の確認、情報整理 復習:　行動日誌の記入
14:　振り返りレポートの作成②	予習:　これまでの内容の確認、情報整理 復習:　行動日誌の記入
15:　まとめ　プレゼンテーション(各グループ)	予習:　プレゼンテーション資料の作成 復習:　「振り返りレポート」の作成

＊準備学習についての補足説明
①授業開始後、「行動日誌」を毎日つけ、授業の前日に担当者へ提出する。翌日の授業の際に「行動日誌」を返却する。
②「行動日誌」を元に、「振り返りレポート」を書き、提出する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:なし　※授業内で必要な資料は配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本講座を受講できるのは、「地域創生入門」を受講した学生のみである。
②2020年度は、20名を上限として募集する。欠員が出たときのみ追加募集を行う。
③5期からはじまる「地域創生論」は、本講座の受講生のみ受講できる。
④授業期間外にも活動を行う予定であるので、参加が可能な学生に受講してもらいたい。

科目名	科目ナンバリング				
インターンシップ	LP62101	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科のインターンシップは、従来のこの就業体験を通して社会人としての基礎力を学ぶということ以外に、その就労により賃金を受け取る有償のインターンシップとして学生の生活支援も目的とする。更に、内定を得た企業が実施する在学中の研修も、この科目の適用範囲とする。

Ⅲ. 学習成果

1 就業体験を通して社会や組織の仕組みを知り、説明できる
2 就職への意識を高め、具体的なキャリアプランを描くことができる
3 社会人としてのマナーや言葉遣いを身につけ実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1 説明会参加(7月実施) 2 事前指導 3 就業(90時間以上) 4 報告書提出	この科目は、入学時よりしっかりした履修計画をたてて、すべての履修科目について真摯に取り組むことが受講条件となる。 また、あらゆる規則や時間を遵守する習慣を身につけることも就業体験には重要な資質となるため、これらを意識した学生生活を心がけること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

事前説明会においてプリント等を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

企業からの評価 55% 報告書 30% 学習の意欲 15%を目安として、総合的に評価する。
インターンシップ参加の動機や今後の就職活動への意欲等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目は学校が窓口となるインターンシップとは異なり、希望する企業の了解が得られない場合は履修ができないので、担当教員によく相談すること。
報告書の内容については、担当教員がフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング				
海外研修	LP62102	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学科で定めた国で研修を行う。そのための事前オリエンテーション、研修後のレポートなどもこの科目に含まれる研修項目である。

Ⅲ. 学習成果

1 異文化を理解し、その背景について説明できる
2 現地での外国人との交流を通して、外国語を含むコミュニケーションの能力を獲得できる
3 比較文化的視点から、互いの文化の特徴と違いを説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
①訪問国 学科で協議し、決定する。 ②研修期間 別途通知。11月または12月に3泊4日程度を予定。 ③費用 別途通知。 ④事前オリエンテーションおよび研修先研究 a. 訪問国紹介 b. 研修内容紹介 c.パスポート取得指導 d. 研修組織編成 e. 訪問国研究 f. 海外旅行諸注意	訪問国についての情報を本、新聞、雑誌、インターネット等で積極的に収集することは研修の充実につながるので、可能な限り実践すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

訪問国に関する資料および事前学習用のプリントを配布。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

研修50% 事前オリエンテーションの参加と必要書類提出期限の厳守20% 研修後のレポート20% 学習の意欲10%を目安として、総合的に評価。
研修先における行事への積極的な参加、訪問先での積極的なコミュニケーション等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

研修後の提出レポートは担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅠ	LP62103	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅡ	LP62104	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅢ	LP62105	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅣ	LP62106	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅤ	LP62107	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅥ	LP62108	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	2期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他：			
専任教員		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅠ	LP62209	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅡ	LP62210	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅢ	LP62211	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅣ	LP62212	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅤ	LP62213	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅥ	LP62214	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅠ	LP62103	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	4期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅡ	LP62104	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅢ	LP62105	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	4期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅣ	LP62106	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	4期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他：			
専任教員		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅤ	LP62107	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	4期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他：			
専任教員		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
地域チャレンジⅥ	LP62108	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
		開講時期：	4期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他：			
		アクティブラーニング科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ．本科目と学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ．概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ．学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が育成できる。
2 学外の人との活動において、正しいマナーや言葉づかいを身につけ実践できる。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解を深めることができる。

Ⅳ．授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ．教科書・参考図書

説明会などにおいて各プログラムに関するプリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ．評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ．その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅠ	LP62209	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅡ	LP62210	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅢ	LP62211	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅣ	LP62212	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅤ	LP62213	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング				
検定チャレンジⅥ	LP62214	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
		開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定合格を目指すことで、目標設定と目標達成に向けた計画的な学習習慣が身につく。
2 自己啓発力を育成できる。
3 自らの学習の進捗度と履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・検定によっては直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

検定の種類に応じて担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。